
安芸市
子育て支援に関するアンケート調査
報告書

令和6年3月

目次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査の実施について.....	1
(3) 配布件数.....	1
(4) 有効回答件数及び回答率.....	1
(5) 留意点.....	1
2. 回答者の属性.....	2
(1) 居住地域.....	2
(2) 対象児童の年齢・学年、きょうだいの人数.....	2
(3) 調査票の回答者.....	3

就学前児童調査

1. あて名のお子さんご家族の状況について.....	5
2. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	6
3. あて名のお子さんの保護者の就労状況について.....	12
4. 育児休業や短時間勤務制度について.....	22
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	27
6. 病気の際の対応について.....	34
7. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について.....	40
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について.....	44
9. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について.....	54
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	63
11. 児童の虐待について.....	69
12. 生活状況や家計などについて.....	71
13. 子育て全般について.....	73

小学生児童調査

1. あて名のお子さんご家族の状況について.....	81
2. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	82
3. あて名のお子さんの保護者の就労状況について.....	84
4. 病気の際の対応について.....	93
5. 毎日の生活について.....	98
6. 放課後の過ごし方について.....	106
7. 児童の虐待について.....	122
8. 生活状況や家計などについて.....	124
9. 子育て全般について.....	126

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、令和7年度から令和11年度までの「第3期安芸市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、今後の教育・保育サービスや、子育て支援施策の充実を目指すために、子育ての実態やニーズの把握を目的に、「子育て支援に関するアンケート調査」を実施しました。

(2) 調査の実施について

	就学前児童調査	小学生児童調査
(1) 調査対象	令和6年1月1日現在、市内に在住する次の児童の保護者 ・就学前児童（0～5歳）の保護者 ※ただし同一世帯に就学前児童の兄弟姉妹がいる場合は1人を無作為抽出	令和6年1月1日現在、市内に在住する次の児童の保護者 ・小学校1年生～3年生の保護者 ※ただし同一世帯に小学生の兄弟姉妹がいる場合は1人を無作為抽出
(2) 調査方法	保育所・幼稚園を通しての配布回収 一部郵送による配布回収	小学校を通しての配布回収
(3) 調査期間	令和6年2月9日～令和6年2月26日	

(3) 配布件数

	就学前児童調査	小学生児童調査
配布数	349件	236件

(4) 有効回答件数及び回答率

	就学前児童調査	小学生児童調査
回収数	214件	169件
有効回答数	214件	169件
有効回答率	61.3%	71.6%

(5) 留意点

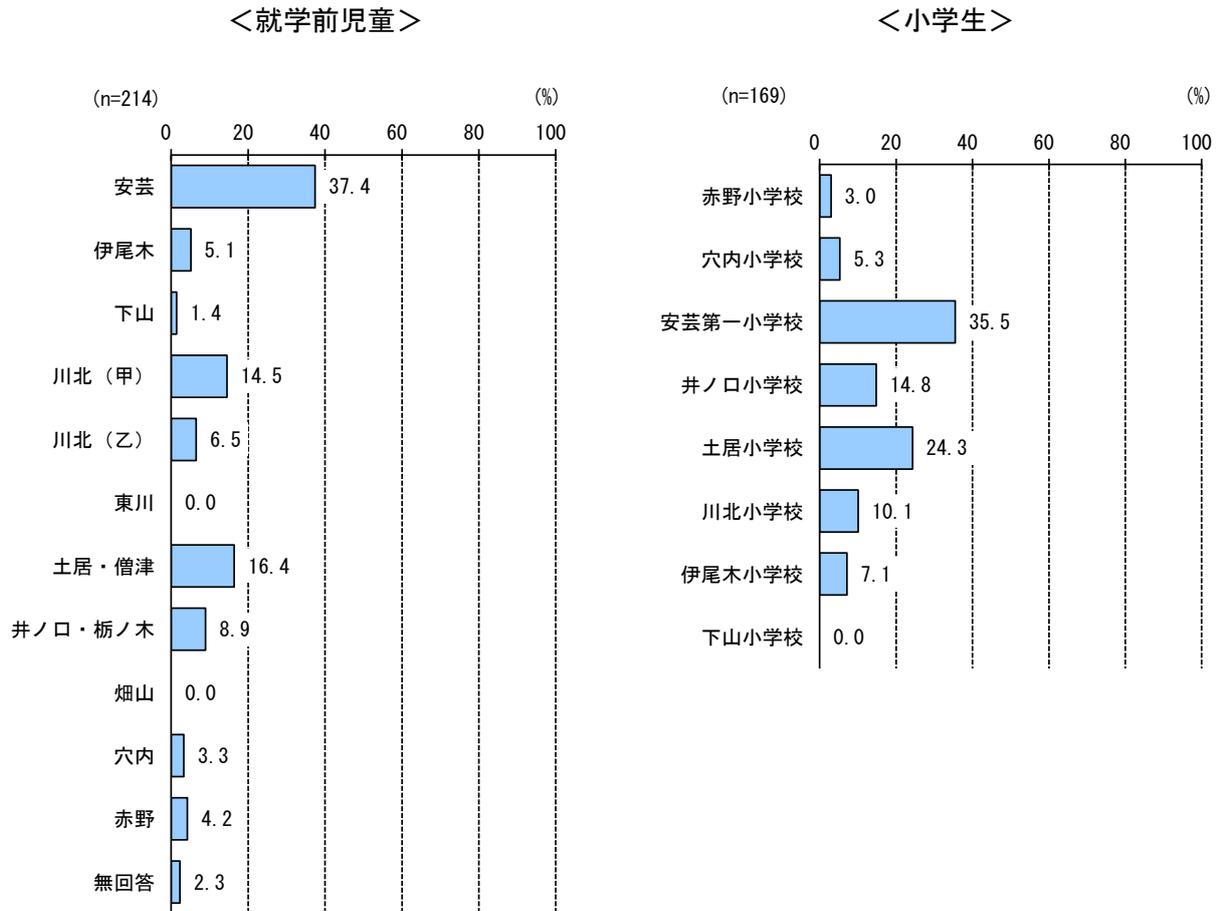
分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで) と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
4. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしています。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。

2. 回答者の属性

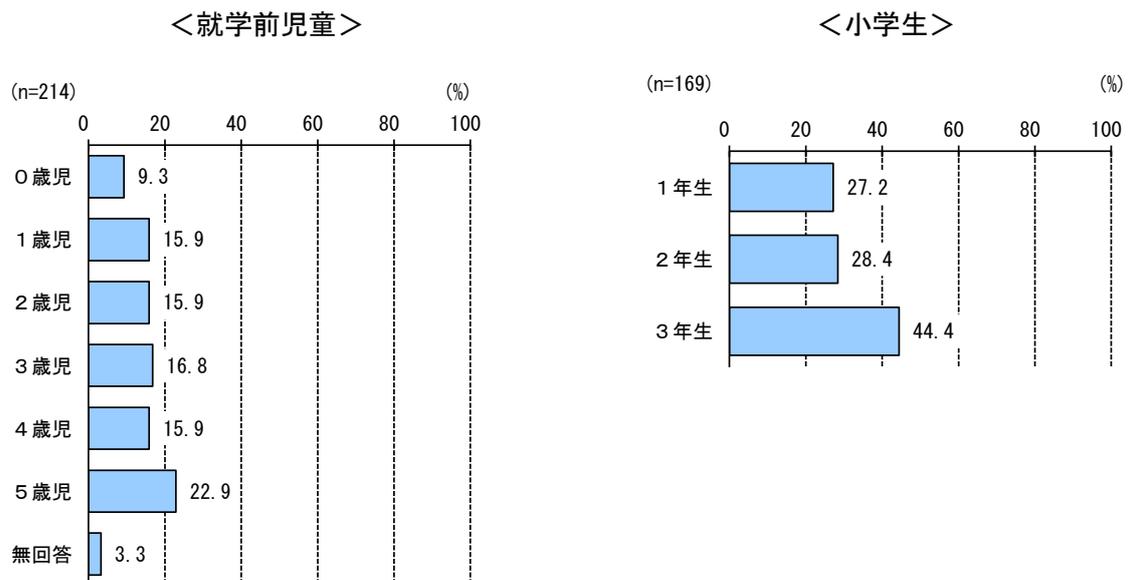
(1) 居住地域

【居住地区】



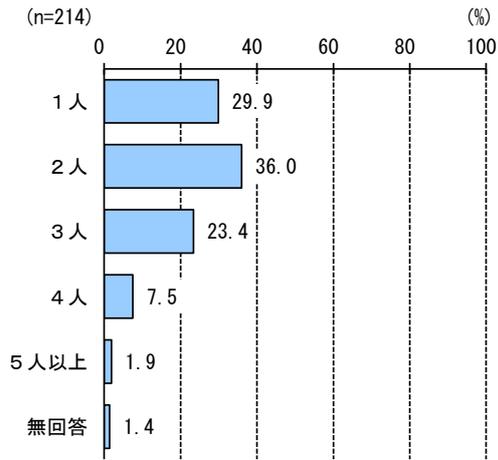
(2) 対象児童の年齢・学年、きょうだいの人数

【対象児童の年齢・学年】

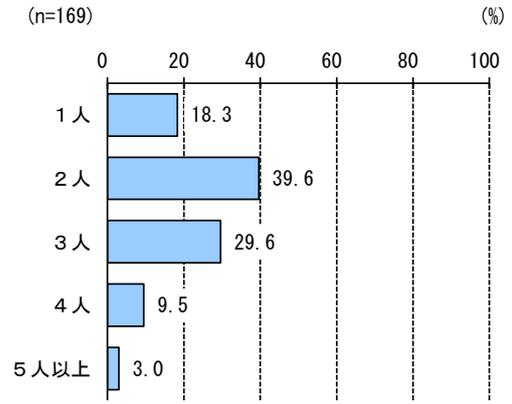


【きょうだいの人数】

＜就学前児童＞

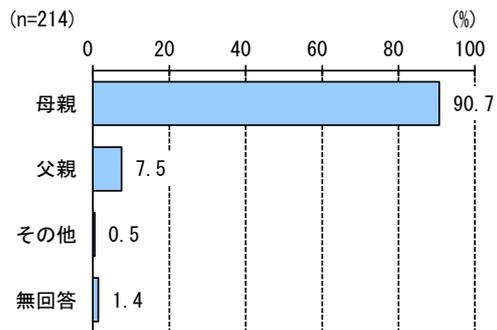


＜小学生＞

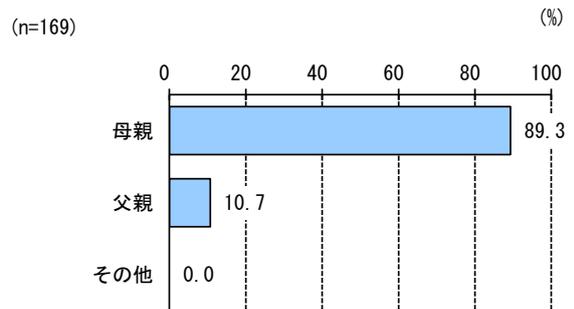


(3) 調査票の回答者

＜就学前児童＞



＜小学生＞



就学前児童調査

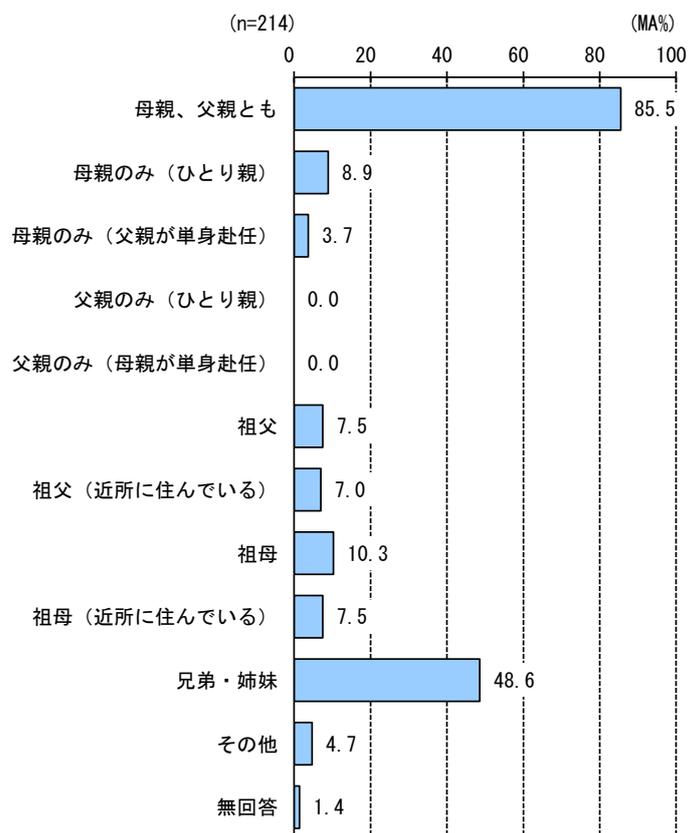
1. あて名のお子さんをご家族の状況について

問4 あて名のお子さんと一緒に住んでいる方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

○ 子どもの同居者について、「母親、父親とも」が 85.5%で最も多く、次いで「兄弟・姉妹」が 48.6%、「祖母」が 10.3%となっています。

【子どもの同居者 (MA)】



問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

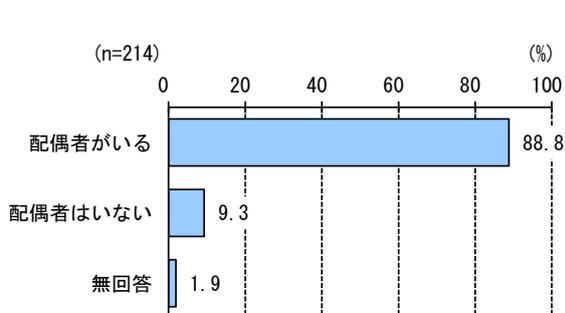
【全体】

○ 配偶関係について、「配偶者がいる」が88.8%、「配偶者はいない」が9.3%となっています。

【子どもの年齢】

○ 「配偶者がいる」は4歳児が76.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【配偶関係】



単位：%

	母数 (n)	配偶関係		
		配偶者がいる	配偶者はいない	無回答
全体	214	88.8	9.3	1.9
子どもの年齢	0歳児	90.0	10.0	-
	1歳児	91.2	8.8	-
	2歳児	97.1	2.9	-
	3歳児	△100.0	-	-
	4歳児	▼76.5	△23.5	-
	5歳児	87.8	12.2	-

2. 子どもの育ちをめぐる環境について

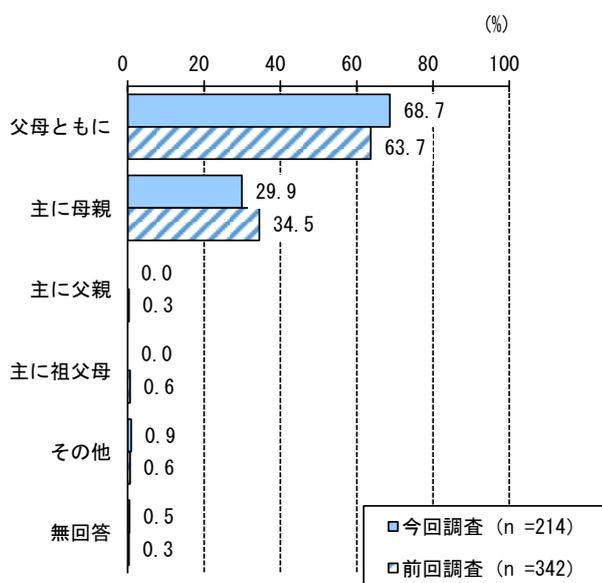
問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

○ 主に子育てを行っている人について、「父母ともに」が68.7%で最も多く、次いで「主に母親」が29.9%となっています。

○ 前回調査と比較すると、「父母ともに」が5ポイント上昇し、「主に母親」が4.6ポイント低下しています。

【主に子育てを行っている人】

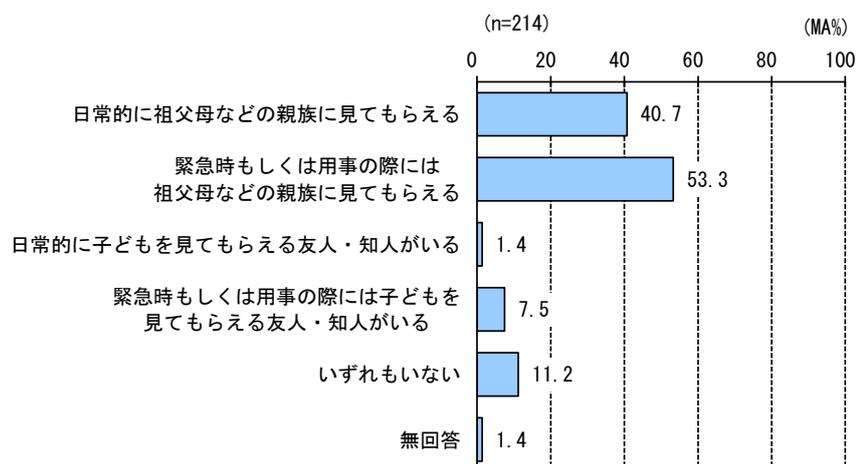


問8 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

○ 子どもを見てもらえる親族・知人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に見てもらえる」が53.3%で最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族に見てもらえる」が40.7%、「いずれもない」が11.2%となっています。

【子どもを見てもらえる親族・知人(MA)】

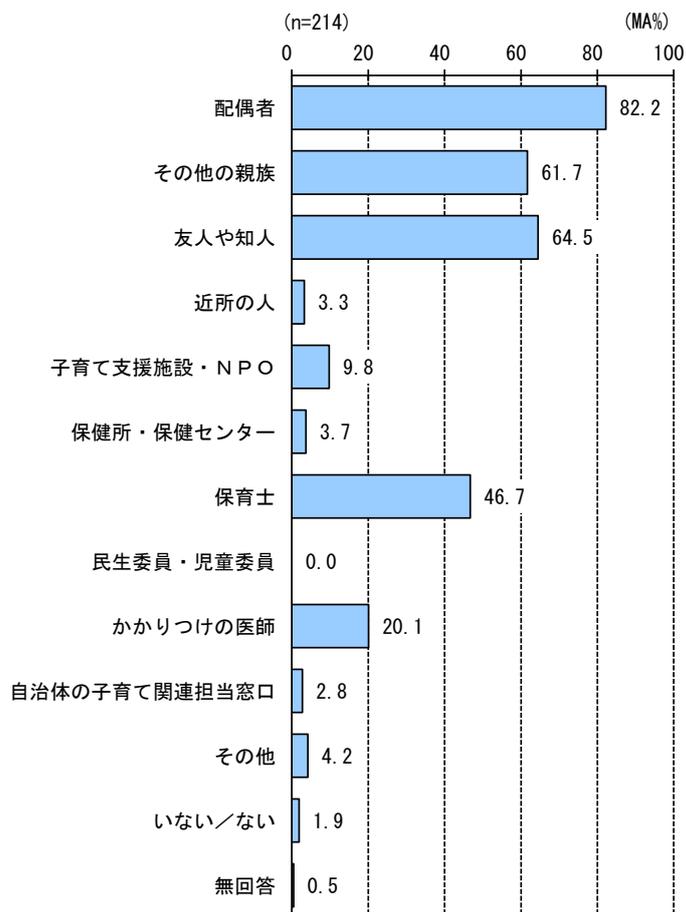


問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる先（人・場所など）はありますか。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

○ 子育ての相談先について、「配偶者」が82.2%で最も多く、次いで「友人や知人」が64.5%、「その他の親族」が61.7%となっています。

【子育ての相談先 (MA)】



問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

■預かりの場の充実について

緊急時に預かってもらえる環境
用事や短時間の息抜き目的で気軽に預けられる場所
用事がある際は見てもらえる方はいますが、どうしても見てもらえない時もあるので1才未満の子でも預かってもらいたい（短時間で良いので!）。一時保育使おうと思っても使えなかったの。
体調を崩した時に（自分が）受け入れてもらえる施設があったら嬉しい。今は主人や祖父母にみてもらえるが、皆仕事してるので自分が体調を崩すことで迷惑かけてしまう様になるから。
短時間預かって（仕事関係なく）もらえる場所が欲しい。事前面談等フルタイムで仕事していると時間が取りづらい。土曜日 etc に1人の時間が少しでもほしい。
面倒を見てもらう時間、園児の人数に対しての保育士の人数が少ない、土曜日でも保育園に小さい子を預けられる環境
土日祝に預かって貰える場所や、土日祝に子育て世代が集まれる様な場所があれば嬉しい。土日祝に夫が仕事がある事が多いので1人で小さい子供を2人連れ出すのは結構大変。でも自宅内で過ごすのも子供達が限界になってくるので、安芸市に気軽に連れて行ける場所があればいいなと思います。
土曜日の1日保育。
当日や急でもOKな一時預かり
土、日、祝日等に預けられる（料金安く）施設

■保護者の負担軽減のサポートについて

母親が息抜きできる、自分を大切にしても良いと思えるような何かサポートがあれば1人で抱え込まず、しんどい思いをする人が減ると思う。また、父親に対しても、母親の負担度、育児、家事の分担の必要性等もっと意識を変えられる様な何かがあって欲しい。息詰まって1人で抱え、しんどい中、更に虐待を疑われ通報されたりしたら母親のメンタルが追い込まれてしまうと思います。
保育園や学校のPTA会の負担が大きい。子供を育てる上で不用な事だと思います。
保護者会の時など、子供を見てくれる人がほしい。熱が出た時など、保育を休んだ時に見てくれる所がほしい。
子育ては、母親だけでなく、父親、地域の人みんなでするものだという教育。母親が働いている場合、就業先での休みの取り易さや理解。学校給食や学用品等の無償化。フルタイムで働きながら、家事、子育て、介護、その他地域活動など・・・とてもとても時間がないです！母親のお休みの休暇とか作ってほしいです。子育てしていくために必要なお金を、普通に働いて普通に頂きたい。国のトップの人は私欲のために何億というお金を使って、何のおとがめもなしで・・・おかしいと思う。そのお金は私達の税金です。そのお金を子供達のために使ってほしい。
お買い物代行や調理代行
母親が自由な時間を取れるよう協力してもらえると、もっと子育てしやすいと思います。
ひとり親や核家族の世帯へのサポート

■相談先の充実について

支援センターのように、無料で遊べる場で他のお母さん方が先生と関わると、ストレス発散にもなる。
子供が一才までは、高知市に住んでました。高知市は、新生児訪問とは別に、有料ですが（2019年当時1回2,000円で2時間で、2回までだったかな？）助産師さんが自宅に訪問してくれる制度があり、利用しました。近くに友達や知り合いも居らず、初めての育児だったので、色んな事を教えてもらって助かりました。安芸市に同様の制度があるか分かりませんが、話し相手にもなってくれて、気分転換になったのをとても覚えてます。病院の母乳外来や、市役所の保健師さんに相談に行ったりもしましたが、出掛ける準備をして、荷物（オムツ、着替え etc・・・）を持って外出するのはとても大変でした。自宅に訪問なので普段の様子をみてもらえて（お風呂の入れ方など）とても助かった記憶があります。人に（環境にも）よるとは思いますが、新生児中の育児が大変だったので、そんな制度があれば良いなと思います。
困り事の話聞いてくれたり、適切な助言をしてくれたりするとありがたい。
保育士さんの講演のような機会（その後相談）があればいいです。また、子育てに行き語った時に、話を聞いてくれ、アドバイスをくれるようなサポートがあればいいです。

保育所、学校、医療機関などで話ができる体勢を整えてもらいたい。今もあるのかもしれないが、気軽にいつでも何でも親が行きやすい、話をしやすい場所ってあるのかな？と思って、3人の子育てをしてきました。
子供への声掛け、いっぱい話しかけてほしい。子供の発達に心配な所がある場合は、保護者の相談できる人がいると良いと思います。

■保育所の人員配置や報酬の見直し、保育環境の充実について

まずは子育てをサポートしてくれる保育や学校などの先生達や行政担当者さんに十分な報酬（お給料アップ）があること、人員配置人数を増やす事（雇用人数を減らさない）が急務と認識しています。
①安芸市は教育面に関して、特に魅力があるサポートがあるとは言い難いので、公文学童のような勉学に励む事が出来る学童があれば良いのではないかな。②発達障害に悩む子供が多い中、保育園で加配をつけることが難しい。様々な安芸市内の行政機関に相談するものの「加配は不可」とのことで、今後のサポートの流れや手立ても不透明な状態。最終、自身で病院のサポートを受け保育園と連携を行っている状況。もう少し、発達に不安のある子供（親）に対して、サポート体制を整えるべきだと思う。今後、年々増加していく問題だからこそ、就学前に出来るサポートをしてあげてほしい。就学後、子供・親・教員と負担を感じる場面を減らしてあげてほしい（自身は病院サポート、保育園サポートが手厚いが、悩みを抱えている方々が多い）。
児童保育の受け入れを増やして欲しい。
子育てと仕事が両立できるような仕組みにしてもらいたい。7:30に預けられる保育所が2ヶ所というは少ないと思う。今時8時以降に登園させられる家庭は少ないのでは？
保育所の開始と終了の時間を一緒に出来れば良いと思う。
通園バス

■病児・病後児保育の充実について

病気の時、預かってくれる場がほしい。
病児、病後児保育の充実
病児保育の充実（家庭内で感染が広がる頻度と回数が多く仕事がほとんどできない。病児保育の申込をするも予約がいっぱいや食欲、発熱の状態など預かりできない場合が多い。病児保育の定員を増やしてほしいです）。
病児保育をもっと充実させてほしい（平日、土曜終日）。
病児保育があれば、仕事を休まず働きやすい。自分のやり方が合っているのか間違っているのか分からなくなる。

■金銭的サポート・補助金等について

金銭的サポート、同じ年代の子どもと多く関わられるようなサポートがほしいです。
金銭的なサポート（クーポンなどがあるととても助かったのだ）。
補助金制度があれば助かると思います。
物価も上がって生活が苦しい人へのサポート（子供が病気の時に仕事を休まないといけないなど）。

■学童保育の充実について

学童保育をしてもらえる場が増えて欲しい。
仕事をする上で、もう少し、子供達を見てくれる所や学童の数を増やしてほしい。
親が就労している場合は、希望者全員が保育や学童へ入れるようにしてもらいたい。

■子どもの遊び場の確保について

雨の日に遊べる所がほしい（室内）（TSUTAYAの所は変わりがなくあきる）。
子供が遊べる場所（公園や施設）を増やしてほしい……。支援センター、ナス公園、安芸のつたやしかない。
市内の公園を整備して、週末遊ばせられるようにしてほしいです。

■職場環境について

子供の病気の時に、仕事を簡単に休む事ができるような制度などあればいいなと思います。

男性の育休がもっと普及するべきだと思います。妻が育休中と言えど子育ては2人でするものであり、元々うちも主人が育休を取得できると聞いていたのに、実際1日も取れませんでした。それは主人の職場での人が足りず休み枠が無かった為です（地方公務員です）。それに加え残業も多く、休日出勤も多く、休みの日に手助けしてもらおうとも疲労しているのが目に見えて分かるので言い出せず私も3人の子育て、家事を1人でしている状況です。もっと職場が休みやすい環境を作るべき。

■地域づくり・近所関係について

近所の方など、地域の方達からの見守りなどが有ればいいかなと思います。声かけや、おはようなどの挨拶が気軽に出来るような町であれば、自然に親としても子育てがしやすいのでは??と考えます。

皆が母と子を否定する事なく話を定期的に来れる場を作り、信頼関係が生まれればそれだけで良いと思います。私は早いうちからサポートを受けていて、子供を理解してくれる人がたくさん増えていったので感謝しています。

■イベントの開催について

家族で参加できるイベントを増やす。

よりよい子育て、教育のための情報提供やイベント、勉強の機会を提供してくれると良い。子供に豊かな体験をさせたい。

■産後ケアについて

産後のケア施設へ気軽に行けるようなサポート

■その他

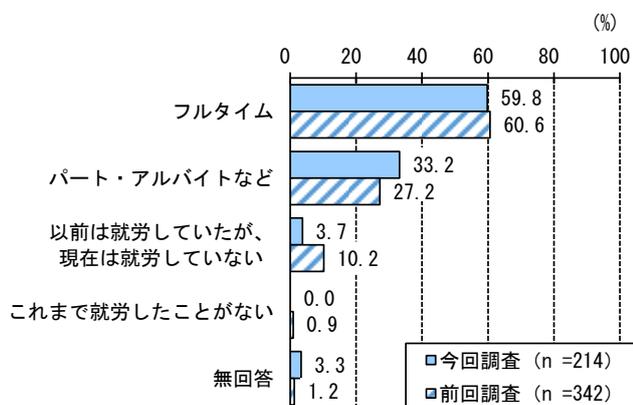
現状で良いと思います。

3. あて名のお子さんの保護者の就労状況について

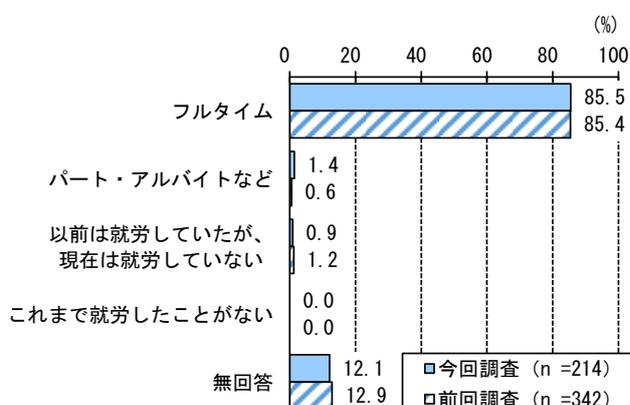
問11 現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をご記入ください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

- 【全体】**
- 母親の現在の就労状況について、「フルタイム」が 59.8%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」が 33.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 3.7%となっています。
 - 母親の現在の就労状況について、前回調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 6.5 ポイント低下し、「パート・アルバイトなど」が6ポイント上昇しています。
 - 父親の現在の就労状況について、「フルタイム」が 85.5%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」が 1.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 0.9%となっています。
 - 父親の現在の就労状況について、前回調査との大きな差はみられませんでした。
- 【子どもの年齢（母親）】**
- 「フルタイム」は0歳児が 65.0%、1歳児が 67.6%、4歳児が 64.7%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 「パート・アルバイトなど」は0歳児が 15.0%、1歳児が 20.6%と他の区分に比べて少なくなっています。
 - 「以前は就労していたが、現在は就労していない」は0歳児が 10.0%、1歳児が 8.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【子どもの年齢（父親）】**
- 「フルタイム」は3歳児が 100.0%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 「パート・アルバイトなど」は5歳児が 2.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【現在の就労状況（母親）】



【現在の就労状況（父親）】



	母数 (n)	現在の就労状況（母親）					現在の就労状況（父親）						
		フルタイム	パート・アルバイトなど	就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	フルタイム	パート・アルバイトなど	就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答		
全体	214	59.8	33.2	3.7	-	3.3	214	85.5	1.4	0.9	-	12.1	
子どもの年齢	0歳児	20	65.0	▼15.0	10.0	-	10.0	20	85.0	-	-	-	15.0
	1歳児	34	67.6	▼20.6	8.8	-	2.9	34	82.4	2.9	-	-	14.7
	2歳児	34	52.9	38.2	2.9	-	5.9	34	85.3	2.9	2.9	-	8.8
	3歳児	36	55.6	38.9	5.6	-	-	36	△100.0	-	-	-	-
	4歳児	34	64.7	35.3	-	-	-	34	79.4	-	-	-	20.6
5歳児	49	55.1	40.8	-	-	4.1	49	79.6	2.0	2.0	-	16.3	

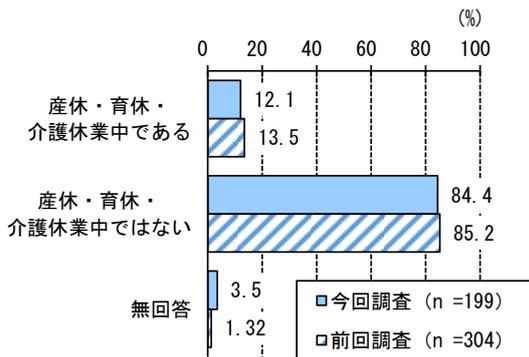
(問11で「フルタイム」「パート・アルバイトなど」と答えた方のみ回答。)

問11-1 就労している方は、現在、産休・育休・介護休業中ですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

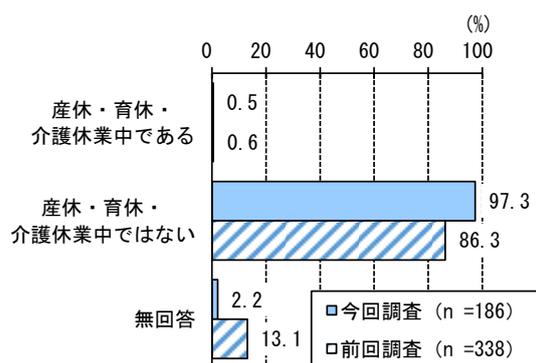
【全体】

- 母親の休業状況について、「産休・育休・介護休業中である」が12.1%、「産休・育休・介護休業中ではない」が84.4%となっています。
- 父親の休業状況について、「産休・育休・介護休業中である」が0.5%、「産休・育休・介護休業中ではない」が97.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、父親では「産休・育休・介護休業中ではない」が11ポイント上昇しています。

【休業状況（母親）】



【休業状況（父親）】



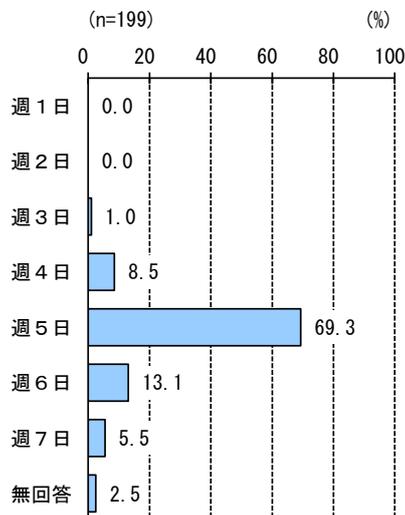
問11-2 ①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、③家を出る時間、④帰宅時間をすべてご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

①1週あたりの「就労日数」

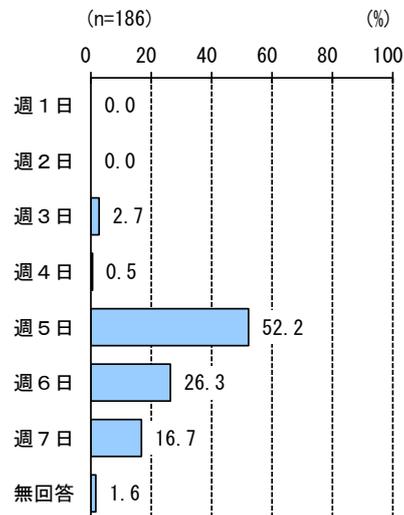
【全体】

- 母親の就労日数について、「週5日」が69.3%で最も多く、次いで「週6日」が13.1%、「週4日」が8.5%となっています。
- 父親の就労日数について、「週5日」が52.2%で最も多く、次いで「週6日」が26.3%、「週7日」が16.7%となっています。

【就労日数（母親）】



【就労日数（父親）】



② 1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」

【全体】

- 母親の就労時間について、「8時間」が38.7%で最も多く、次いで「7時間」が16.6%、「6時間」が15.6%となっています。
- 父親の就労時間について、「8時間」が55.4%で最も多く、次いで「10時間以上」が22.6%、「9時間」が15.6%となっています。

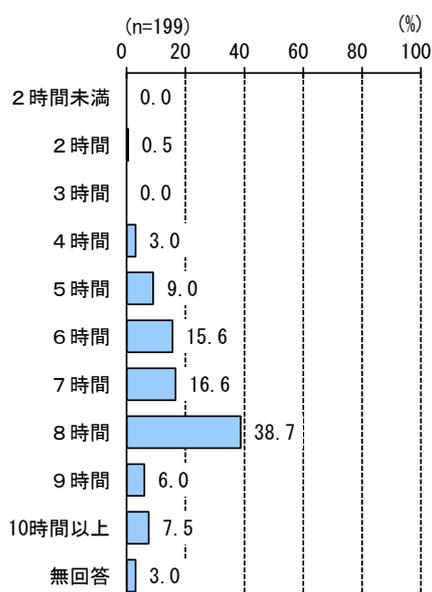
【就労状況（母親）】

- フルタイム（休業中含む）では、「8時間」が59.4%で最も多く、次いで「7時間」が15.6%、「10時間以上」が11.7%、パート・アルバイト等（休業中含む）では、「6時間」が39.4%で最も多く、次いで「5時間」が25.4%、「7時間」が18.3%となっています。

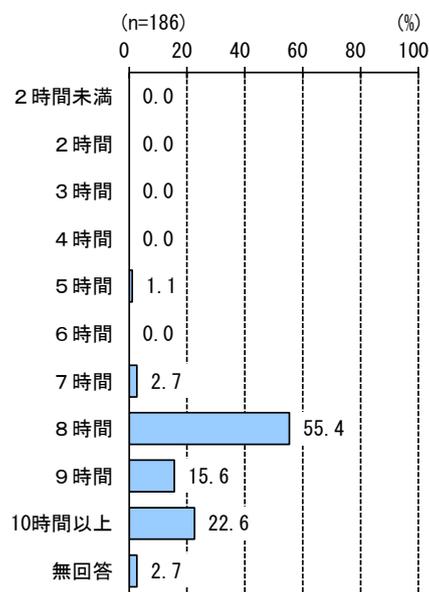
【就労状況（父親）】

- フルタイム（休業中含む）では、「8時間」が56.3%で最も多く、次いで「10時間以上」が23.0%、「9時間」が15.8%、パート・アルバイト等（休業中含む）では、「5時間」が66.7%で最も多くなっています。

【就労時間（母親）】



【就労時間（父親）】



単位：%

		母数 (n)	就労時間（母親）										
			2時間未満	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間以上	無回答
全体		199	-	0.5	-	3.0	9.0	15.6	16.6	38.7	6.0	7.5	3.0
就労状況（母親）	フルタイム（休業中含む）	128	-	-	-	-	▼ 2.3	15.6	△ 59.4	9.4	11.7	1.6	
	パート・アルバイト等（休業中含む）	71	-	1.4	-	8.5	△ 25.4	△ 39.4	18.3	▼ 1.4	-	5.6	

単位：%

		母数 (n)	就労時間（父親）										
			2時間未満	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間以上	無回答
全体		186	-	-	-	-	1.1	-	2.7	55.4	15.6	22.6	2.7
就労状況（父親）	フルタイム（休業中含む）	183	-	-	-	-	-	-	2.7	56.3	15.8	23.0	2.2
	パート・アルバイト等（休業中含む）	3	-	-	-	-	△ 66.7	-	-	-	-	-	33.3

③家を出る時間

【全体】

- 母親の家を出る時間について、「8時」が58.3%で最も多く、次いで「7時」が19.1%、「9時」が15.1%となっています。
- 父親の家を出る時間について、「7時」が36.6%で最も多く、次いで「8時」が36.0%、「6時」が18.8%となっています。

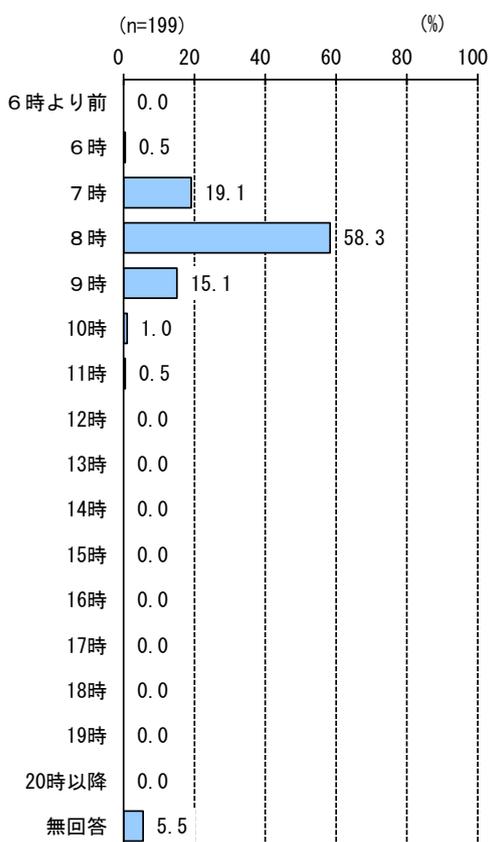
【就労状況（母親）】

- フルタイム（休業中含む）では、「8時」が60.2%で最も多く、次いで「7時」が28.1%、「9時」が9.4%、パート・アルバイト等（休業中含む）では、「8時」が54.9%で最も多く、次いで「9時」が25.4%、「7時」「10時」が2.8%となっています。

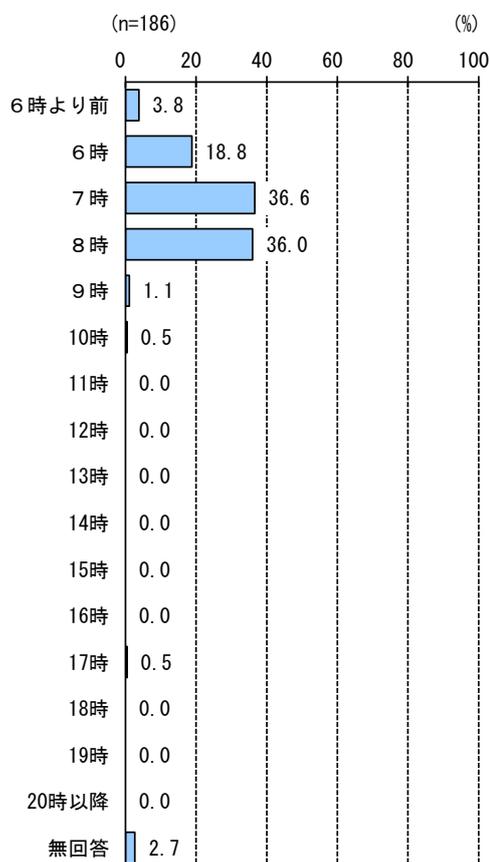
【就労状況（父親）】

- フルタイム（休業中含む）では、「7時」が37.2%で最も多く、次いで「8時」が36.1%、「6時」が19.1%、パート・アルバイト等（休業中含む）では、「8時」「17時」が33.3%で最も多くなっています。

【家を出る時間（母親）】



【家を出る時間（父親）】



単位：％

		母数 (n)	家を出る時間（母親）								
			6時 より 前	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時
全体		199	-	0.5	19.1	58.3	15.1	1.0	0.5	-	-
就労状況 (母親)	フルタイム (休業中含む)	128	-	0.8	28.1	60.2	9.4	-	-	-	-
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	71	-	-	▼ 2.8	54.9	△ 25.4	2.8	1.4	-	-

単位：％

		母数 (n)	家を出る時間（母親）							無 回 答
			14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時 以降	
全体		199	-	-	-	-	-	-	-	5.5
就労状況 (母親)	フルタイム (休業中含む)	128	-	-	-	-	-	-	-	1.6
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	71	-	-	-	-	-	-	-	12.7

単位：％

		母数 (n)	家を出る時間（父親）								
			6時 より 前	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時
全体		186	3.8	18.8	36.6	36.0	1.1	0.5	-	-	-
就労状況 (父親)	フルタイム (休業中含む)	183	3.8	19.1	37.2	36.1	1.1	0.5	-	-	-
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-

単位：％

		母数 (n)	家を出る時間（父親）							無 回 答
			14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時 以降	
全体		186	-	-	-	0.5	-	-	-	2.7
就労状況 (父親)	フルタイム (休業中含む)	183	-	-	-	-	-	-	-	2.2
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	3	-	-	-	△ 33.3	-	-	-	33.3

④帰宅時間

【全体】

- 母親の帰宅時間について、「18時」が39.2%で最も多く、次いで「17時」が25.1%、「16時」が10.6%となっています。
- 父親の帰宅時間について、「18時」が36.0%で最も多く、次いで「17時」が22.0%、「19時」が17.2%となっています。

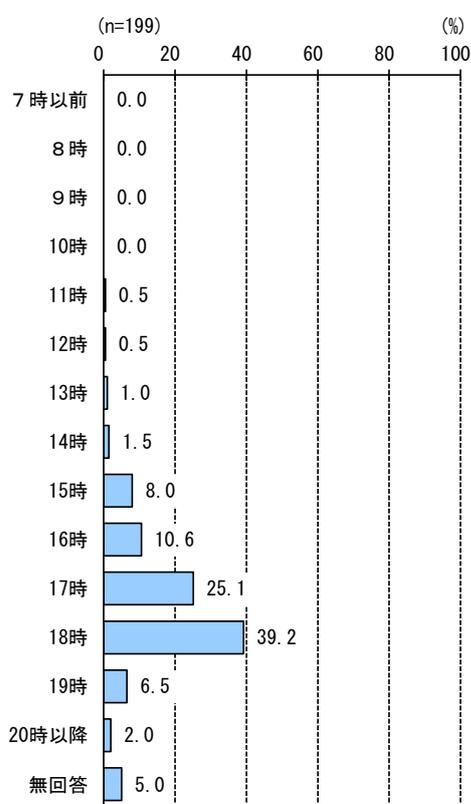
【就労状況（母親）】

- フルタイム（休業中含む）では、「18時」が54.7%で最も多く、次いで「17時」が25.0%、「19時」が9.4%、パート・アルバイト等（休業中含む）では、「17時」が25.4%で最も多く、次いで「15時」が21.1%、「16時」が19.7%となっています。

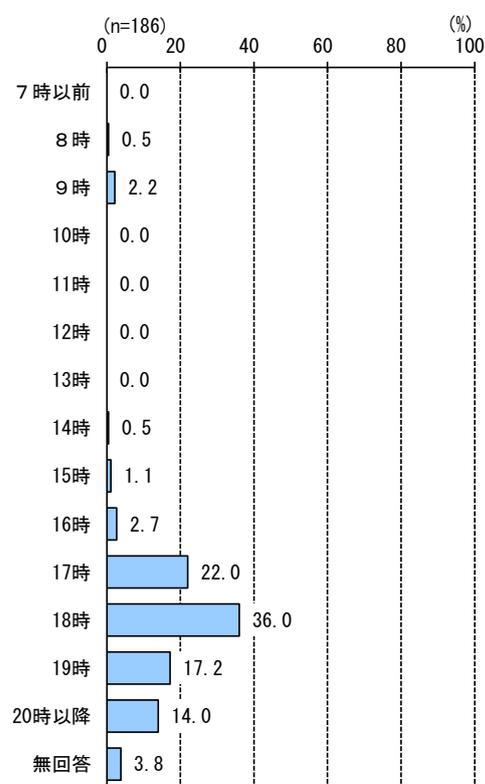
【就労状況（父親）】

- フルタイム（休業中含む）では、「18時」が36.6%で最も多く、次いで「17時」が22.4%、「19時」が17.5%、パート・アルバイト等（休業中含む）では、「16時」「20時以降」が33.3%で最も多くなっています。

【帰宅時間（母親）】



【帰宅時間（父親）】



単位：%

		母数 (n)	帰宅時間（母親）														
			7時以前	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	無回答
全体		199	-	-	-	-	0.5	0.5	1.0	1.5	8.0	10.6	25.1	39.2	6.5	2.0	5.0
就労状況（母親）	フルタイム（休業中含む）	128	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	5.5	25.0	△ 54.7	9.4	3.1	1.6
	パート・アルバイト等（休業中含む）	71	-	-	-	-	1.4	1.4	2.8	4.2	△ 21.1	19.7	25.4	▼ 11.3	1.4	-	11.3

単位：%

		母数 (n)	帰宅時間（父親）														
			7時以前	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	無回答
全体		186	-	0.5	2.2	-	-	-	-	0.5	1.1	2.7	22.0	36.0	17.2	14.0	3.8
就労状況（父親）	フルタイム（休業中含む）	183	-	0.5	2.2	-	-	-	-	0.5	1.1	2.2	22.4	36.6	17.5	13.7	3.3
	パート・アルバイト等（休業中含む）	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 33.3	-	-	-	△ 33.3	33.3

(問11で「パート・アルバイトなど」と答えた方のみ回答。)

問11-3 パート・アルバイトなどからフルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

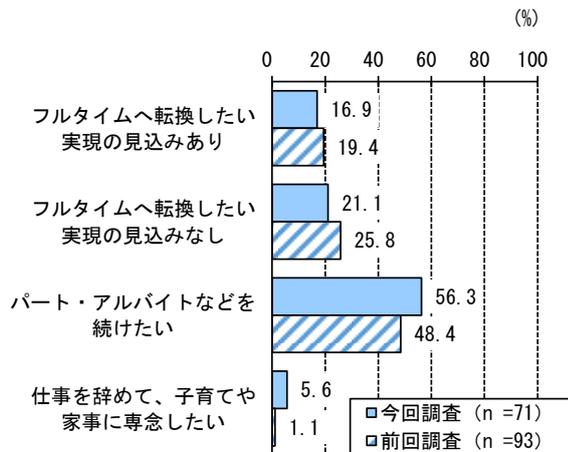
【全体】

- 母親のフルタイムへの転換希望について、「パート・アルバイトなどを続けたい」が 56.3%で最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい、実現の見込みなし」が 21.1%、「フルタイムへ転換したい、実現の見込みあり」が 16.9%となっています。
- 母親のフルタイムへの転換希望について、前回調査と比較すると、「パート・アルバイトなどを続けたい」が 7.9 ポイント上昇しています。
- 父親のフルタイムへの転換希望について、「パート・アルバイトなどを続けたい」が 66.7%で最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい、実現の見込みなし」が 33.3%となっています。

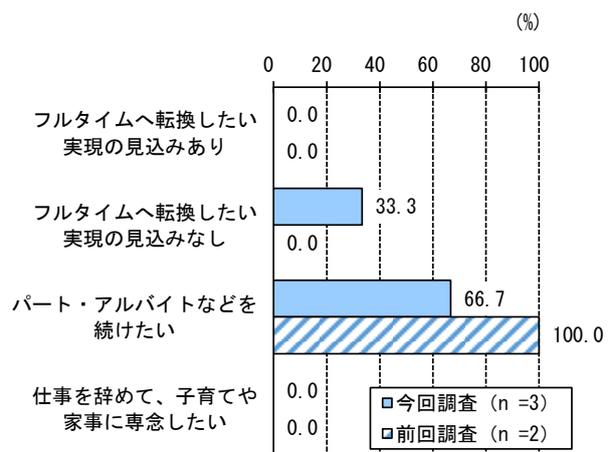
【子どもの年齢（母親）】

- 「フルタイムへ転換したい、実現の見込みあり」は 0 歳児が 100.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「フルタイムへ転換したい、実現の見込みなし」は 5 歳児が 30.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「パート・アルバイトなどを続けたい」は 4 歳児が 41.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「仕事を辞めて、子育てや家事に専念したい」は 3 歳児が 14.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【フルタイムへの転換希望（母親）】



【フルタイムへの転換希望（父親）】



単位：%

単位：%

	母数 (n)	フルタイムへの転換希望（母親）				フルタイムへの転換希望（父親）			
		実現の見込みあり	実現の見込みなし	パート・アルバイトなどを続けたい	仕事を辞めて、子育てや家事に専念したい	実現の見込みあり	実現の見込みなし	パート・アルバイトなどを続けたい	仕事を辞めて、子育てや家事に専念したい
全体	71	16.9	21.1	56.3	5.6	3	33.3	66.7	-
子どもの年齢	0歳児	3	△ 100.0	-	-	-	-	-	-
	1歳児	7	14.3	14.3	△ 71.4	-	1	△ 100.0	-
	2歳児	13	15.4	23.1	53.8	7.7	1	-	△ 100.0
	3歳児	14	-	21.4	64.3	14.3	-	-	-
	4歳児	12	△ 33.3	16.7	▼ 41.7	8.3	-	-	-
	5歳児	20	▼ 5.0	30.0	65.0	-	1	-	△ 100.0

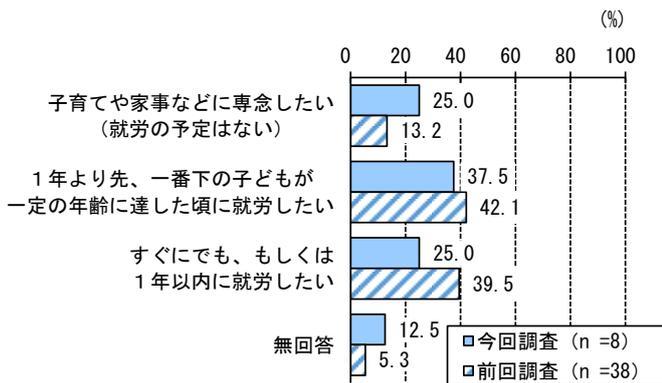
(問11で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と答えた方のみ回答。)

問12 就労したいという希望はありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

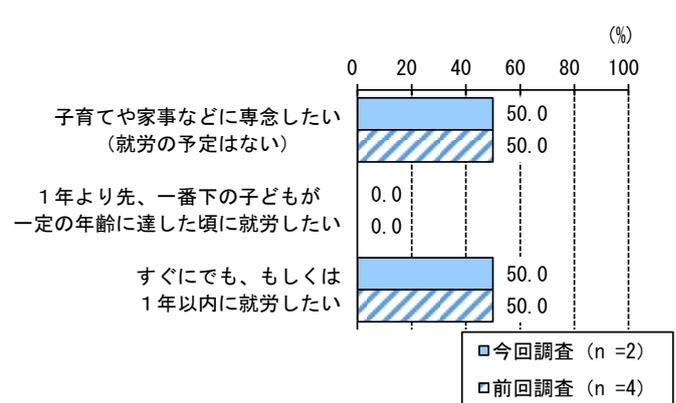
【全体】

- 母親の就労希望について、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」が37.5%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.0%となっています。
- 父親の就労希望について、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が50.0%で最も多くなっています。

【就労希望(母親)】



【就労希望(父親)】



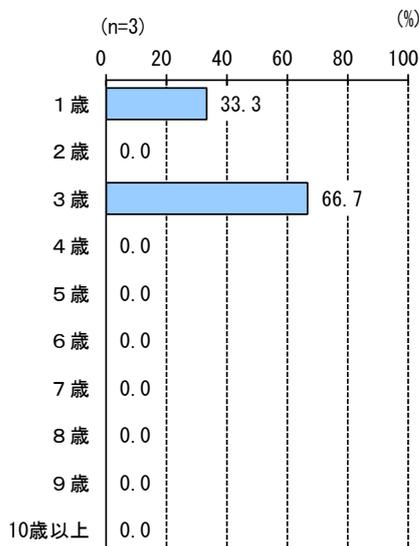
(問12で「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」と答えた方のみ回答。)

問12-1 一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいですか。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

【全体】

- 母親が就労したいと思っている時期(子どもの年齢)について、「3歳」が66.7%で最も多く、次いで「1歳」が33.3%となっています。

【就労したい時期(子どもの年齢)(母親)】



【就労したい時期(子どもの年齢)(父親)】



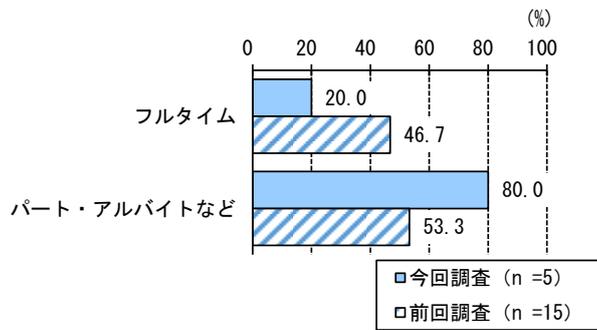
(問12で「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた方のみ回答。)

問12-2 希望する就労形態はどれですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

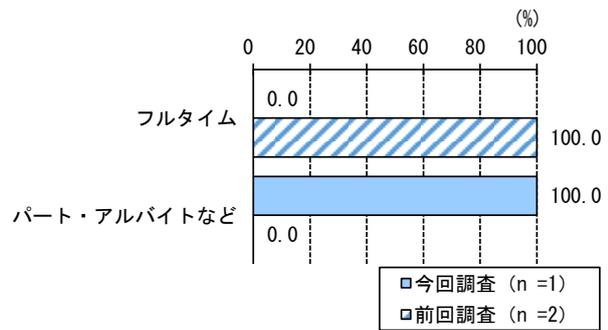
【全体】

○ 母親の希望する就労形態（母親）について、「フルタイム」が20.0%、「パート・アルバイトなど」が80.0%となっています。

【希望する就労形態（母親）】



【希望する就労形態（父親）】



(問12で「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた方のみ回答。)

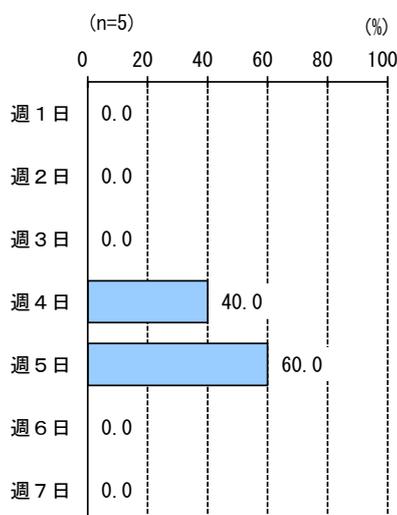
問12-3 希望する就労形態について、①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間」をすべてご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

① 1週あたりの希望の就労日数

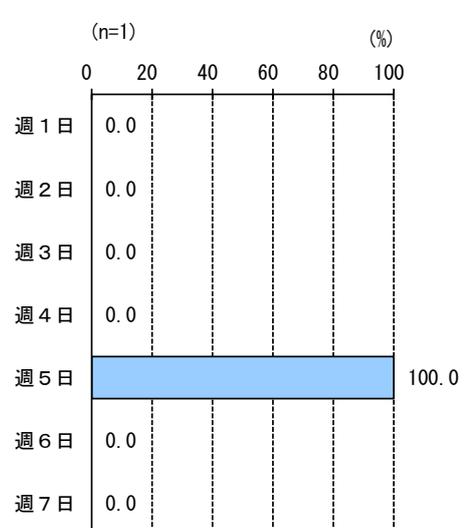
【全体】

○ 希望の就労日数（母親）について、「週5日」が60.0%で最も多く、次いで「週4日」が40.0%となっています。

【希望の就労日数（母親）】



【希望の就労日数（父親）】

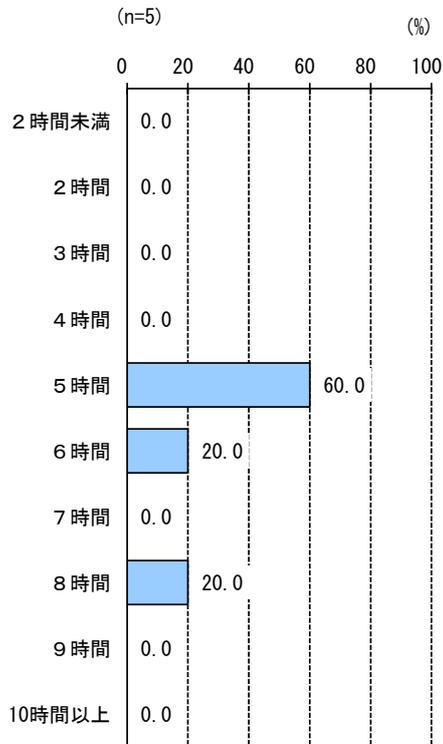


② 1日あたりの希望の就労時間

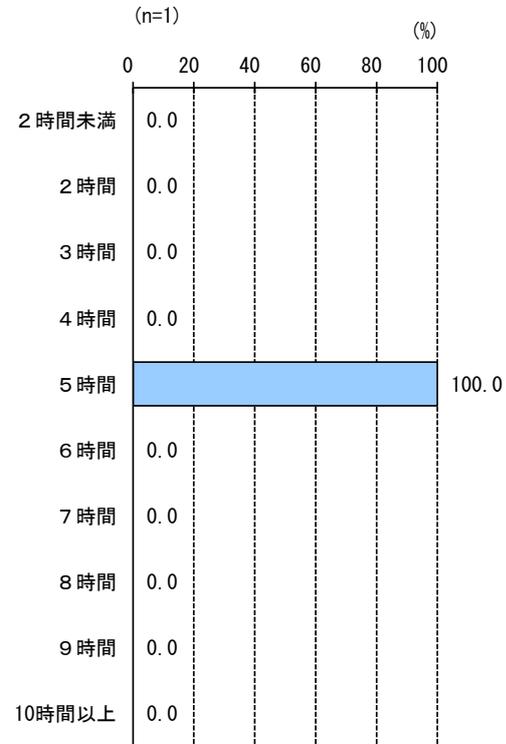
【全体】

- 希望の就労時間（母親）について、「5時間」が60.0%で最も多く、次いで「6時間」「8時間」が20.0%となっています。

【希望の就労時間（母親）】



【希望の就労時間（父親）】



4. 育児休業や短時間勤務制度について

問13 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 母親の育児休業の取得状況について、「取得した（取得中である）」が58.9%で最も多く、次いで「取得しなかった」「働いていなかった」が19.6%となっています。
- 父親の育児休業の取得状況について、「取得しなかった」が75.2%で最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が10.3%、「働いていなかった」が2.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、母親、父親ともに「取得した（取得中である）」が上昇しており、母親では7.1ポイント、父親では8ポイント上昇しています。

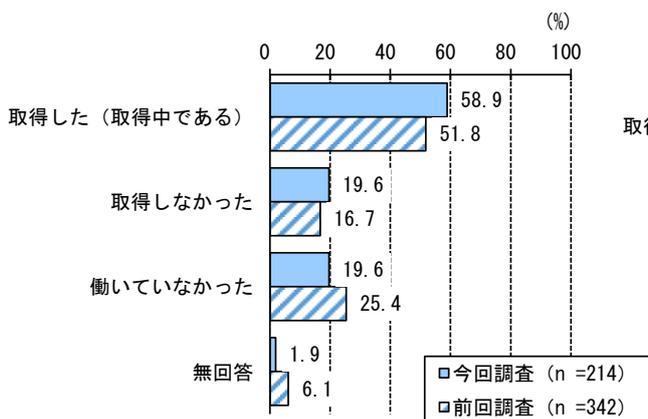
【子どもの年齢（母親）】

- 「取得した（取得中である）」は0歳児が80.0%、1歳児が82.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「取得しなかった」は3歳児が36.1%と他の区分に比べて多くなっています。

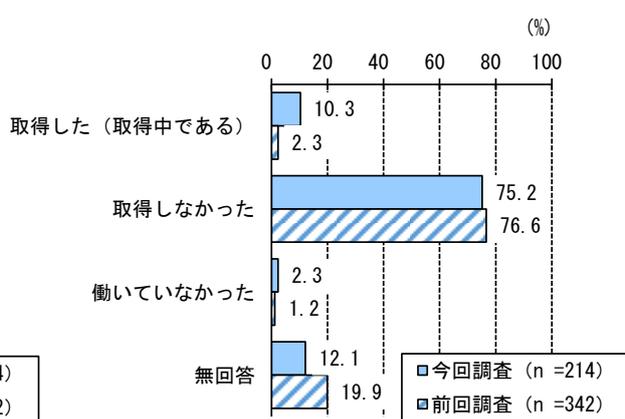
【子どもの年齢（父親）】

- 「取得した（取得中である）」は0歳児が35.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【育児休業の取得状況（母親）】



【育児休業の取得状況（父親）】



		育児休業の取得状況（母親）				育児休業の取得状況（父親）					
		母数 (n)	(取得した)	取得しなかった	働いていなかった	無回答	母数 (n)	(取得した)	取得しなかった	働いていなかった	無回答
全体		214	58.9	19.6	19.6	1.9	214	10.3	75.2	2.3	12.1
子どもの年齢	0歳児	20	△ 80.0	10.0	10.0	-	20	△ 35.0	▼ 45.0	10.0	10.0
	1歳児	34	△ 82.4	▼ 5.9	11.8	-	34	△ 20.6	67.6	-	11.8
	2歳児	34	58.8	23.5	14.7	2.9	34	2.9	82.4	5.9	8.8
	3歳児	36	▼ 41.7	△ 36.1	19.4	2.8	36	11.1	83.3	-	5.6
	4歳児	34	50.0	26.5	23.5	-	34	2.9	76.5	-	20.6
5歳児	49	53.1	14.3	28.6	4.1	49	2.0	79.6	2.0	16.3	

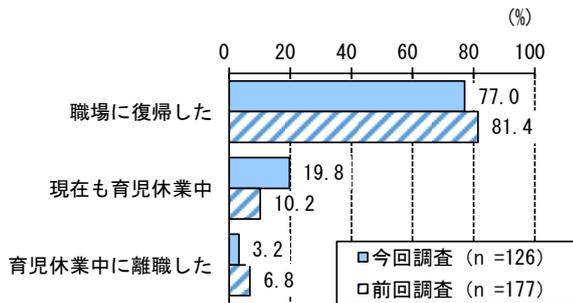
(問13で「取得した(取得中である)」と答えた方のみ回答。)

問14 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

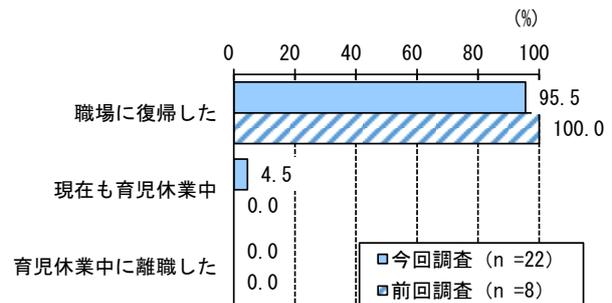
【全体】

- 母親の職場への復帰状況について、「職場に復帰した」が77.0%で最も多く、次いで「現在も育児休業中」が19.8%、「育児休業中に離職した」が3.2%となっています。
- 父親の職場への復帰状況について、「職場に復帰した」が95.5%で最も多く、次いで「現在も育児休業中」が4.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、母親では「現在も育児休業中」が9.6ポイント上昇しています。

【職場への復帰状況(母親)】



【職場への復帰状況(父親)】



(問14で「職場に復帰した」と答えた方のみ回答。)

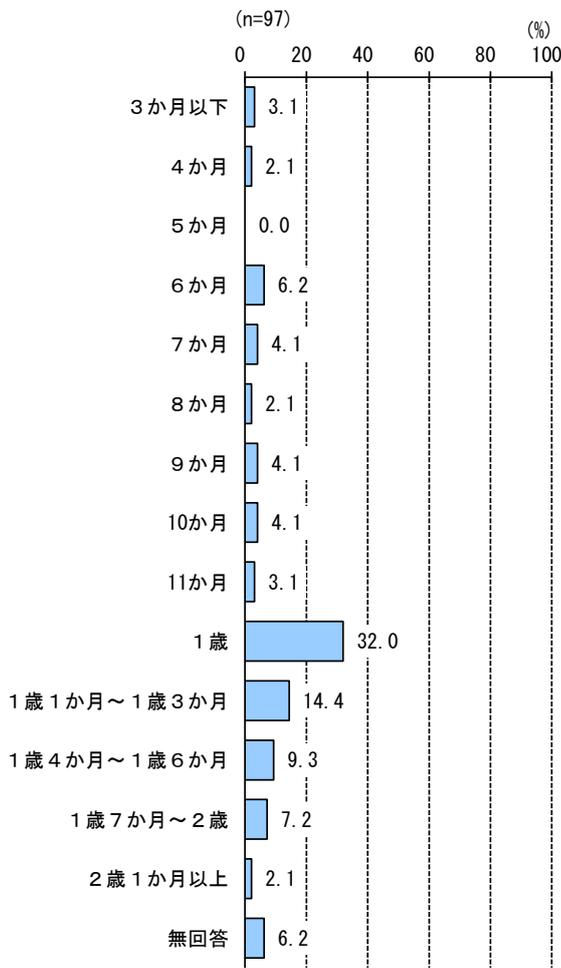
問14-1 お子さんが何歳何か月のときに育児休業から職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで休暇を取りたかったですか。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

①職場復帰の時期について (母親)

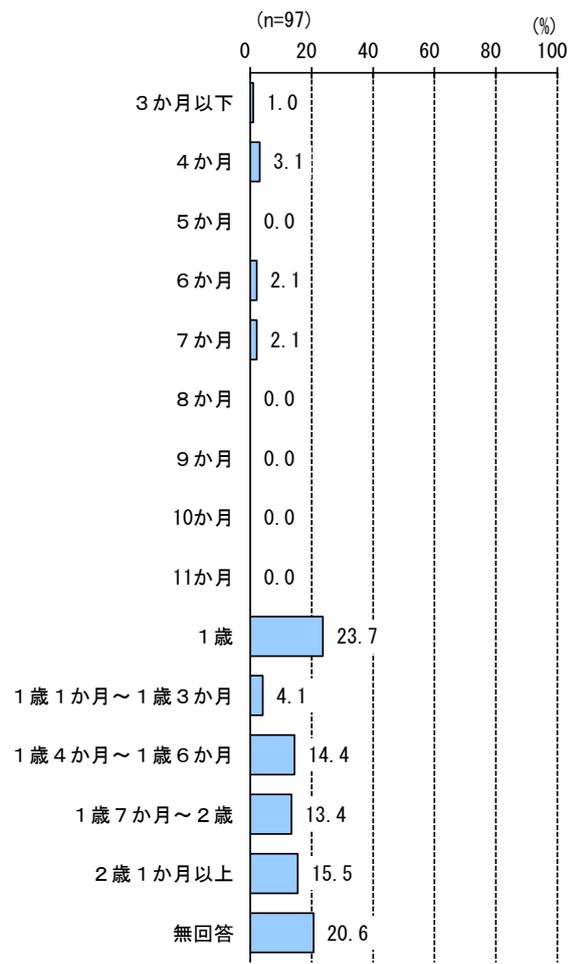
【全体】

○ 母親の職場復帰の時期について、「希望より早く復帰」が 47.4%で最も多く、次いで「希望どおり復帰」が 26.8%、「希望より遅く復帰」が 5.2%となっています。

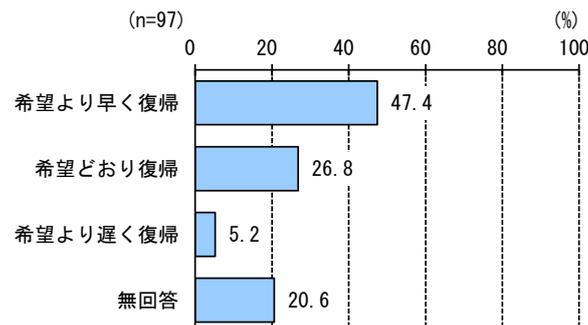
【復帰したときの子どもの年齢 (母親)】



【復帰を希望していた年齢 (母親)】



【復帰状況 (母親)】

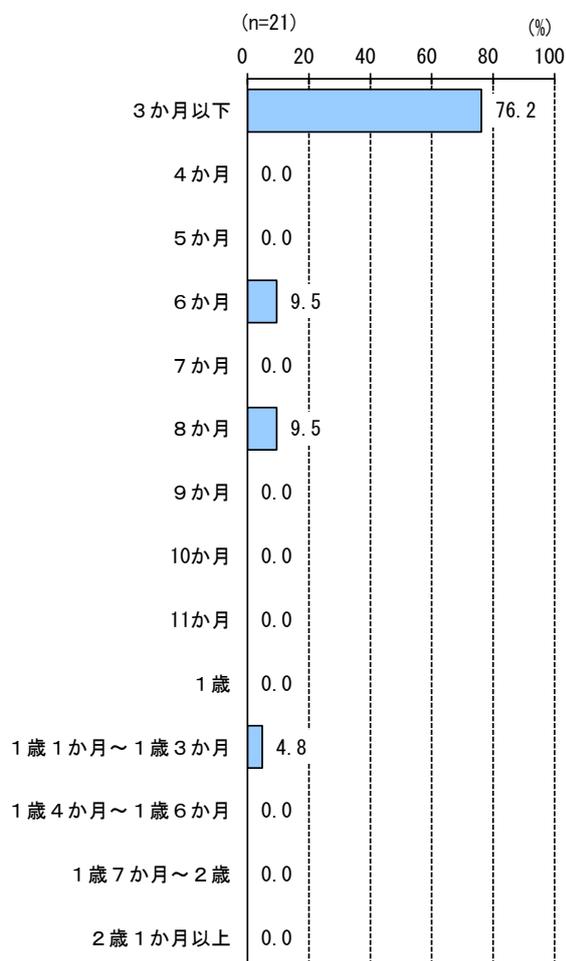


②職場復帰の時期について（父親）

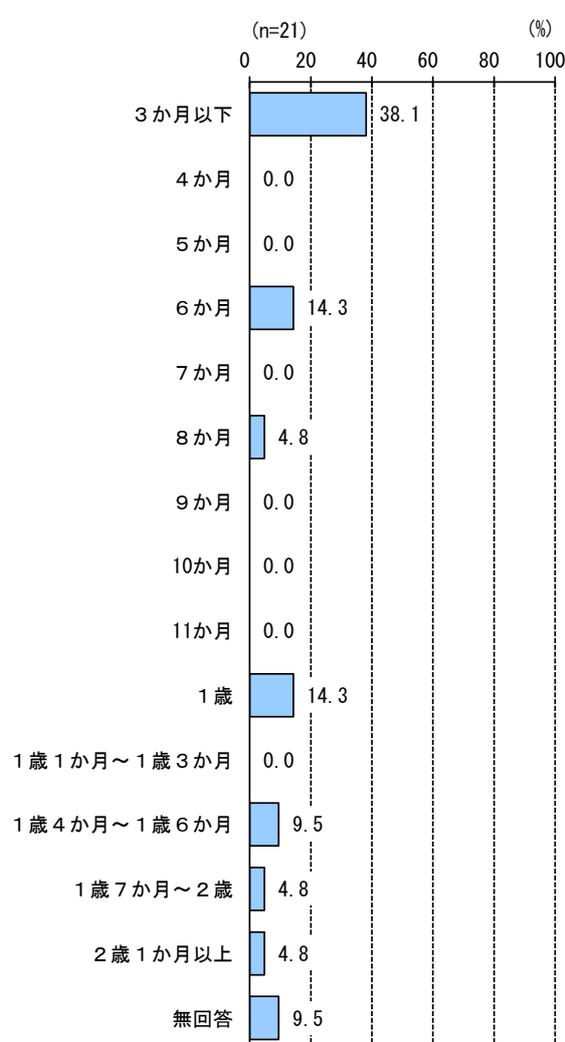
【全体】

- 父親の職場復帰の時期について、「希望より早く復帰」が 57.1%で最も多く、次いで「希望どおり復帰」が 33.3%となっています。

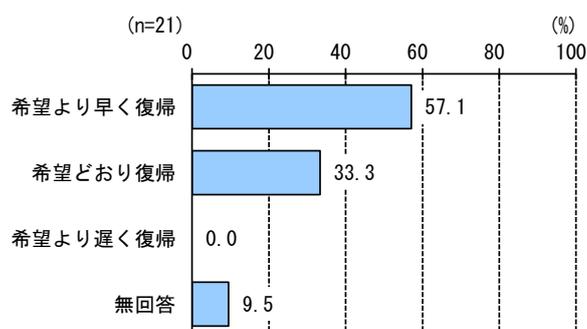
【復帰したときの子どもの年齢（父親）】



【復帰を希望していた年齢（父親）】



【復帰状況（父親）】



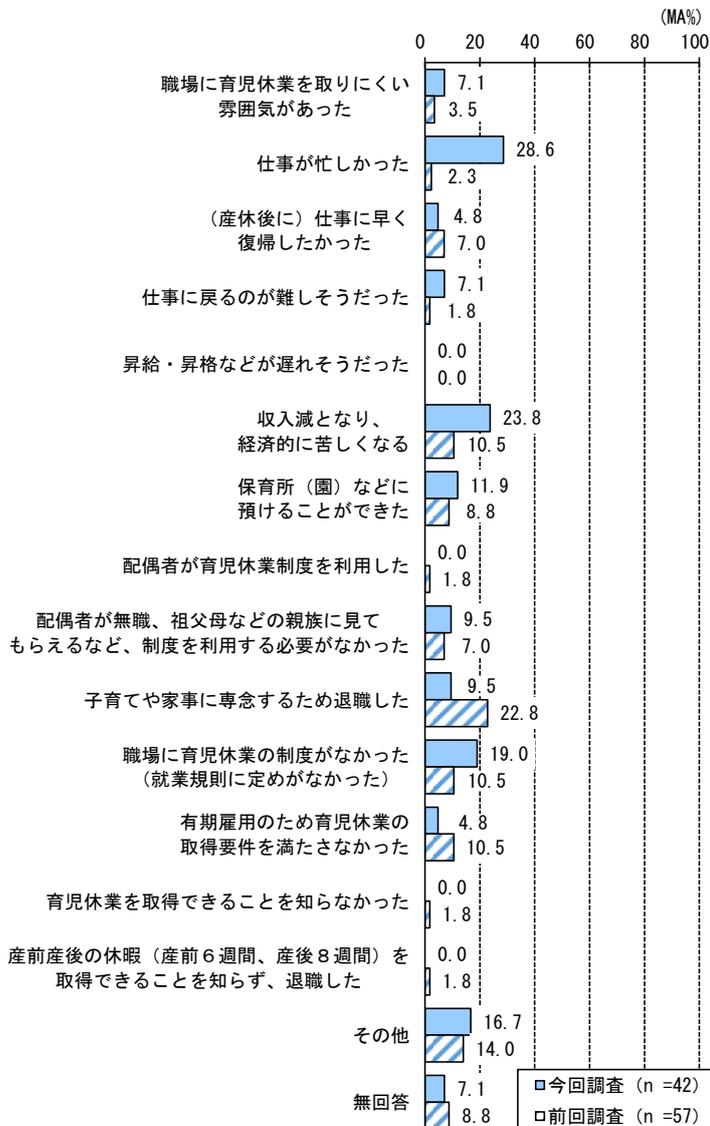
(問13で「取得しなかった」と答えた方のみ回答。)

問15 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しなかった理由を、以下の選択肢からご記入ください。(それぞれ、あてはまる番号すべてを、以下の記入欄に記入)

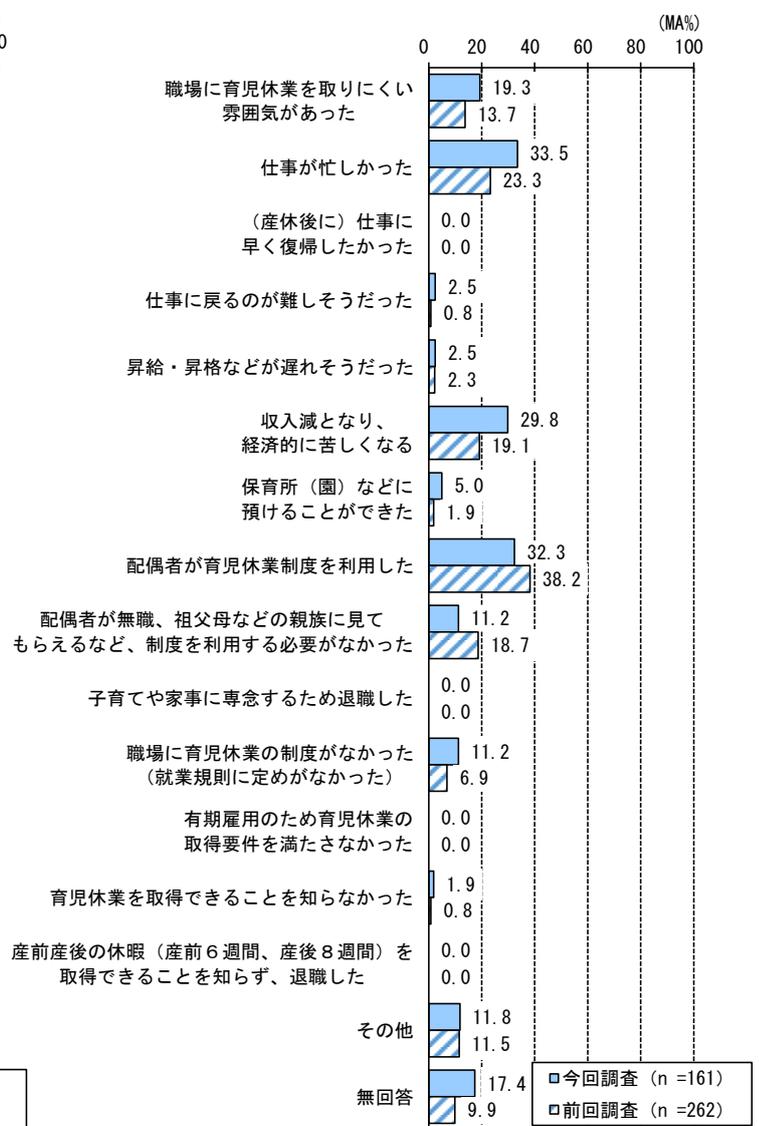
【全体】

- 取得しなかった理由（母親）について、「仕事が忙しかった」が 28.6%で最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 23.8%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 19.0%となっています。
- 取得しなかった理由（父親）について、「仕事が忙しかった」が 33.5%で最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が 32.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 29.8%となっています。
- 前回調査と比較すると、母親、父親ともに「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 10 ポイント以上上昇し、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が 10 ポイント以上低下しています。

【取得しなかった理由（母親）(MA)】



【取得しなかった理由（父親）(MA)】



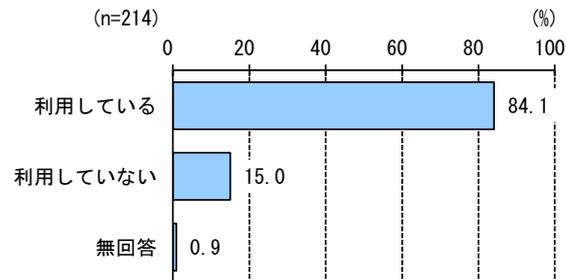
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問16 あて名のお子さんは、平日に幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業を利用していますか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 定期的な教育・保育事業の利用状況について、「利用している」が84.1%、「利用していない」が15.0%となっています。

【定期的な教育・保育事業の利用状況】



(問16で「利用している」と答えた方のみ回答。)

問16-1 あて名のお子さんは、平日にどのような事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

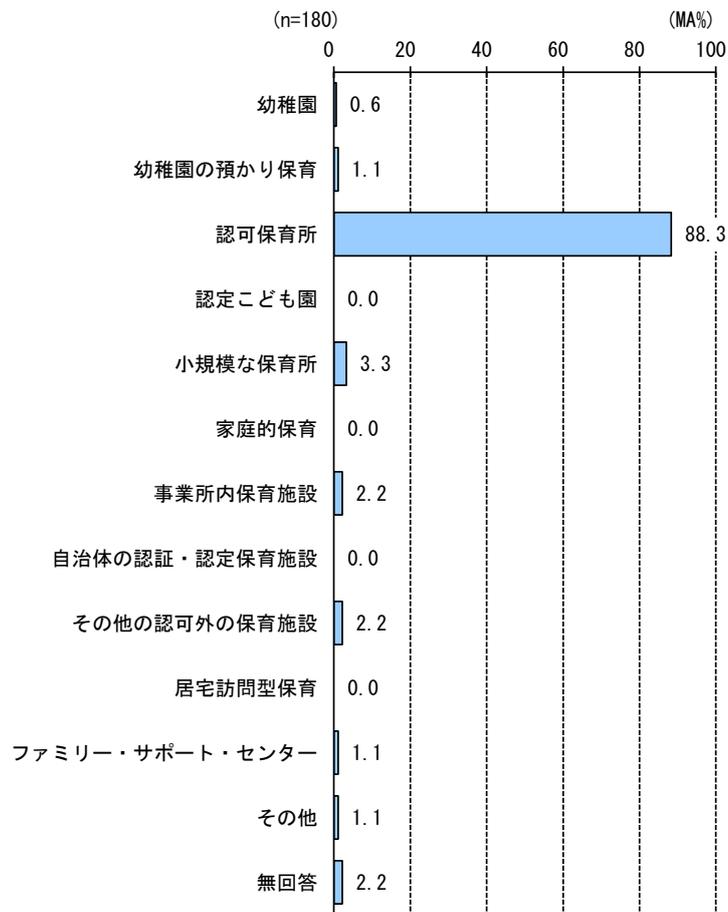
【全体】

○ 定期的に利用している事業について、「認可保育所」が 88.3%で最も多く、次いで「小規模な保育所」が 3.3%、「事業所内保育施設」「その他の認可外の保育施設」が 2.2%となっています。

【子どもの年齢】

○ どの年齢でも「認可保育所」が最も多く、1歳児では、次いで「事業所内保育施設」が12.0%と他の区分より多くなっています。

【定期的に利用している事業 (MA)】



単位：%

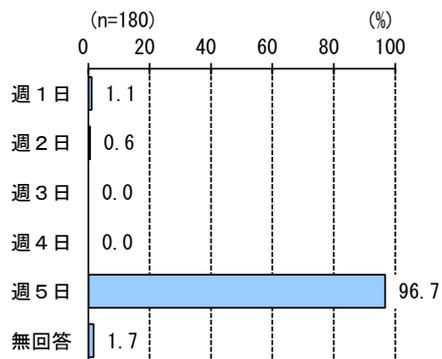
	母数 (n)	定期的に利用している事業 (MA)												
		幼稚園	預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育所	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	180	0.6	1.1	88.3	-	3.3	-	2.2	-	2.2	-	1.1	1.1	2.2
子どもの年齢	0歳児	2	-	△100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1歳児	25	-	80.0	-	4.0	-	12.0	-	4.0	-	-	4.0	-
	2歳児	31	3.2	-	80.6	-	6.5	-	3.2	-	6.5	-	-	3.2
	3歳児	34	-	5.9	85.3	-	2.9	-	-	-	-	-	2.9	2.9
	4歳児	34	-	-	91.2	-	2.9	-	-	-	2.9	-	-	2.9
	5歳児	47	-	-	95.7	-	2.1	-	-	-	-	-	-	2.1

問16-2 平日に利用している事業について、(1) 現在及び(2) 希望の、① 1週あたりの利用日数、② 1日あたりの利用時間をすべてご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

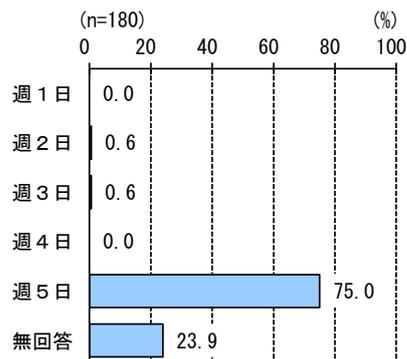
① 1週あたりの利用日数

【全体】
 ○ 現在の利用日数について、「週5日」が96.7%で最も多く、次いで「週1日」が1.1%、「週2日」が0.6%となっています。
 ○ 希望の利用日数について、「週5日」が75.0%で最も多く、次いで「週2日」「週3日」が0.6%となっています。

【現在の利用日数】



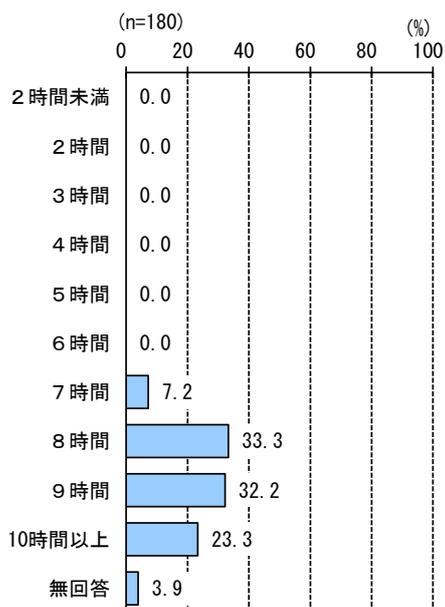
【希望の利用日数】



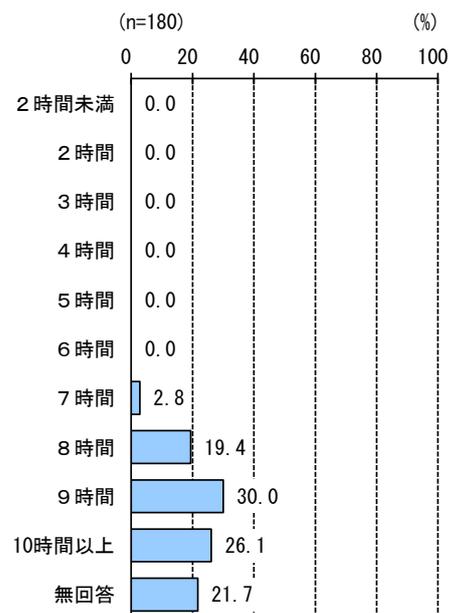
② 1日あたりの利用時間

【全体】
 ○ 現在の利用時間について、「8時間」が33.3%で最も多く、次いで「9時間」が32.2%、「10時間以上」が23.3%となっています。
 ○ 希望の利用時間について、「9時間」が30.0%で最も多く、次いで「10時間以上」が26.1%、「8時間」が19.4%となっています。

【現在の利用時間】



【希望の利用時間】

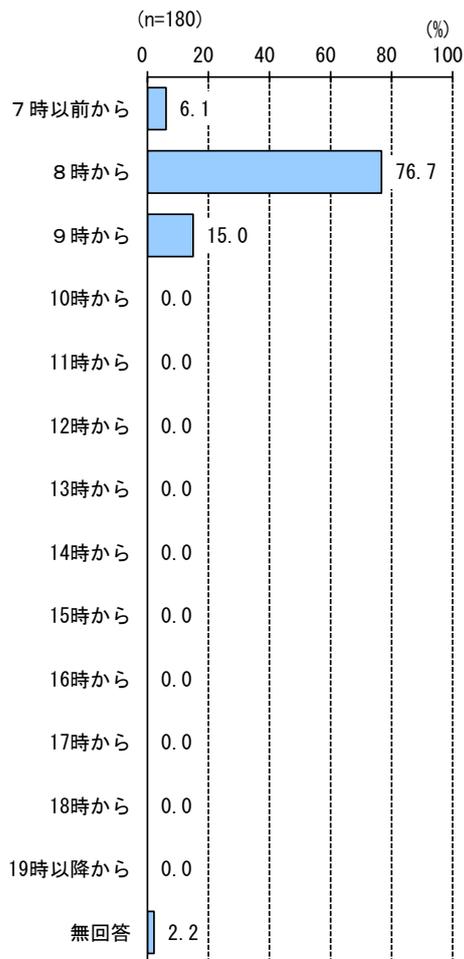


②. 1 利用開始時間

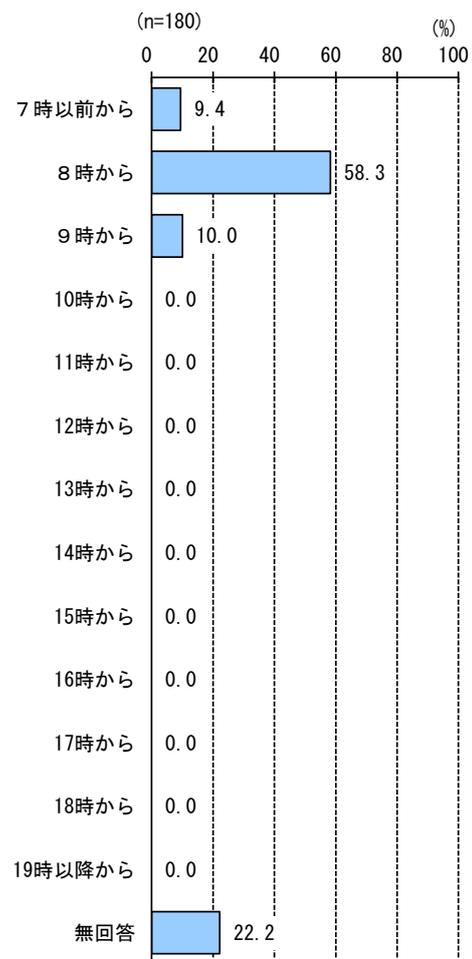
【全体】

- 現在の利用開始時間について、「8時から」が76.7%で最も多く、次いで「9時から」が15.0%、「7時以前から」が6.1%となっています。
- 希望の利用開始時間について、「8時から」が58.3%で最も多く、次いで「9時から」が10.0%、「7時以前から」が9.4%となっています。

【現在の利用開始時間】



【希望の利用開始時間】

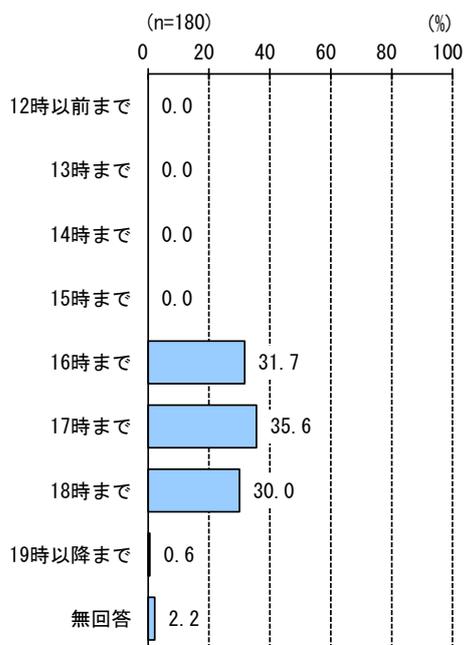


②. 2 利用終了時間

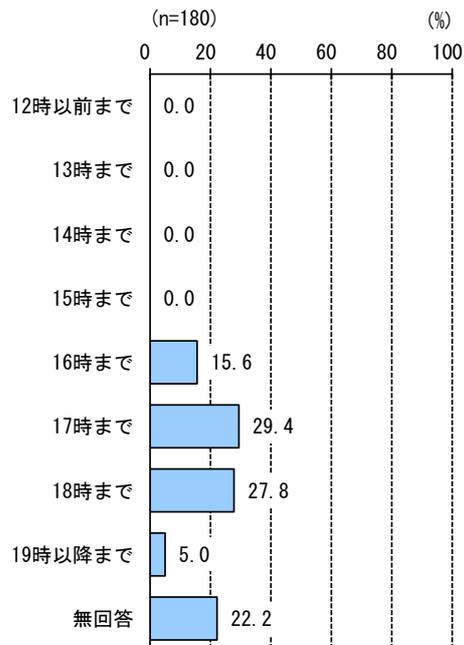
【全体】

- 現在の利用終了時間について、「17 時まで」が 35.6%で最も多く、次いで「16 時まで」が 31.7%、「18 時まで」が 30.0%となっています。
- 希望の利用終了時間について、「17 時まで」が 29.4%で最も多く、次いで「18 時まで」が 27.8%、「16 時まで」が 15.6%となっています。

【現在の利用終了時間】



【希望の利用終了時間】

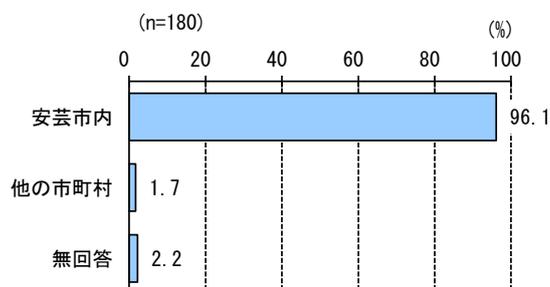


問16-3 現在、利用している事業の実施場所はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 利用している事業の実施場所について、「安芸市内」が 96.1%、「他の市町村」が 1.7%となっています。

【利用している事業の実施場所】



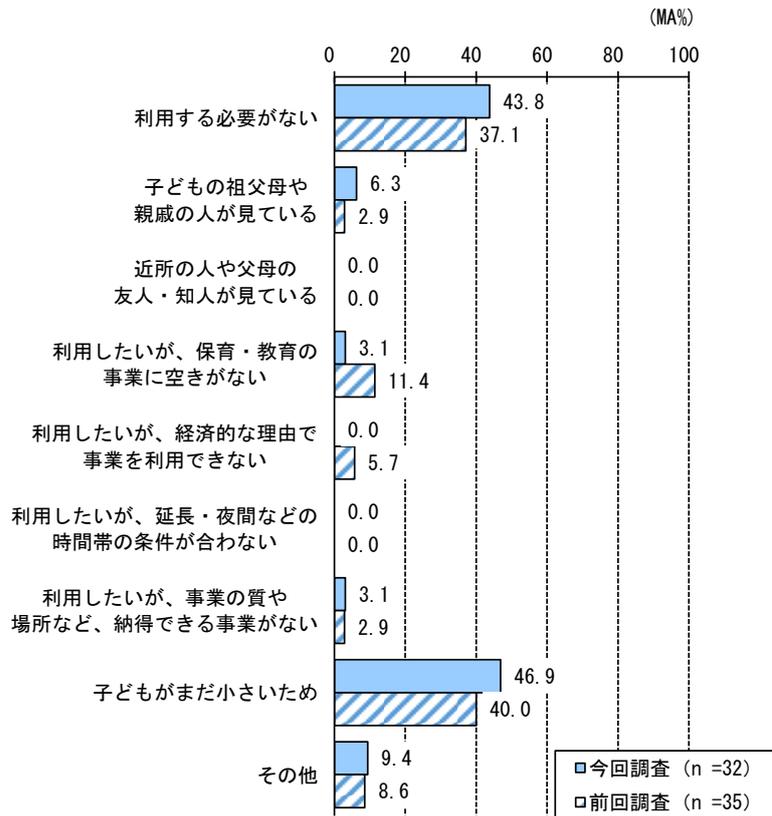
(問16で「利用していない」と答えた方のみ回答。)

問17 平日に定期的に事業を利用していない理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため」が 46.9%で最も多く、次いで「利用する必要がない」が 43.8%、「子どもの祖父母や親戚の人が見ている」が 6.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が 8.3 ポイント低下しています。

【利用していない理由 (MA)】



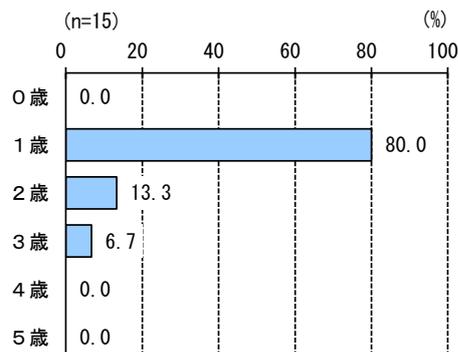
(問17で「子どもがまだ小さいため」と答えた方のみ回答。)

問17-1 子どもが何歳になった頃に利用したいですか。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

【全体】

- 利用したい時期 (子どもの年齢) について、「1歳」が 80.0%で最も多く、次いで「2歳」が 13.3%、「3歳」が 6.7%となっています。

【利用を開始したい時期 (子どもの年齢)】



問18 現在の利用の有無にかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

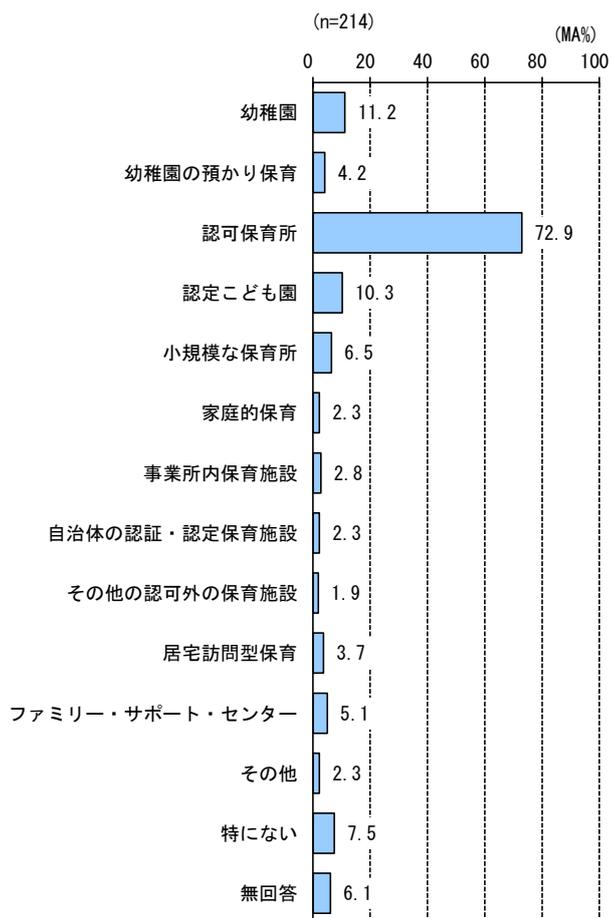
【全体】

- 定期的に利用したい事業について、「認可保育所」が 72.9%で最も多く、次いで「幼稚園」が 11.2%、「認定こども園」が 10.3%となっています。

【子どもの年齢】

- 0歳児では、「幼稚園」「認可保育所」「認定こども園」「小規模な保育所」「居宅訪問型保育」が他の区分に比べて多くなっています。

【定期的に利用したい事業（平日）（MA）】



	母数 (n)	定期的に利用したい事業 (MA)							
		幼稚園	育 幼稚園の預かり保	認可保育所	認定こども園	小規模な保育所	家庭的保育	事業所内保育施設	
全体	214	11.2	4.2	72.9	10.3	6.5	2.3	2.8	
子どもの年齢	0歳児	20	△ 30.0	5.0	△ 95.0	△ 30.0	△ 20.0	-	10.0
	1歳児	34	8.8	2.9	79.4	11.8	5.9	-	2.9
	2歳児	34	8.8	-	▼ 61.8	-	-	-	-
	3歳児	36	13.9	5.6	63.9	13.9	8.3	5.6	5.6
	4歳児	34	11.8	5.9	67.6	8.8	2.9	2.9	-
5歳児	49	6.1	4.1	75.5	8.2	8.2	4.1	2.0	

	母数 (n)	定期的に利用したい事業 (MA)							
		認定自治体保育施設	自治体の認証・認可外の施設	その他の認可外の施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	特にない	無回答
全体	214	2.3	1.9	3.7	5.1	2.3	7.5	6.1	
子どもの年齢	0歳児	20	5.0	-	△ 15.0	10.0	-	-	-
	1歳児	34	5.9	-	2.9	8.8	2.9	8.8	5.9
	2歳児	34	-	5.9	-	-	2.9	8.8	11.8
	3歳児	36	5.6	5.6	8.3	5.6	8.3	5.6	-
	4歳児	34	-	-	-	8.8	-	8.8	8.8
5歳児	49	-	-	2.0	-	-	10.2	6.1	



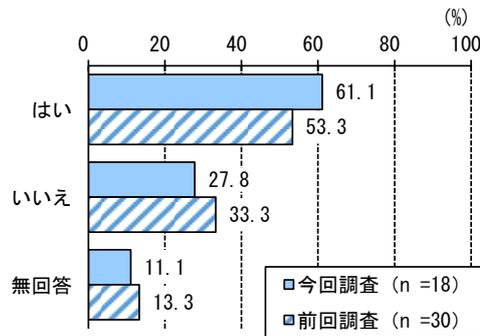
(問18で「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」、それ以外事業の両方に○をつけた方のみ回答。)

問18-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 幼稚園の利用希望について、「はい」が61.1%、「いいえ」が27.8%となっています。
- 前回調査と比較すると、「はい」が7.8ポイント上昇しています。

【幼稚園の利用希望】



6. 病気の際の対応について

(問16で「利用している」と答えた方のみ回答。)

問19 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

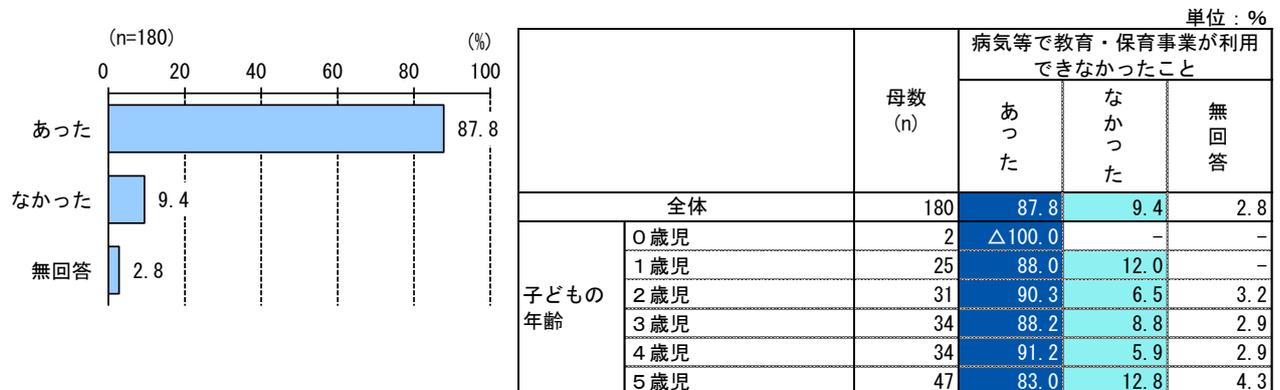
【全体】

- 病気等で教育・保育事業が利用できなかったことについて、「あった」が87.8%、「なかった」が9.4%となっています。

【子どもの年齢】

- 「あった」は0歳児、2歳児、4歳児で90%を超えています。
- 「なかった」は1歳児が12.0%、5歳児が12.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと】

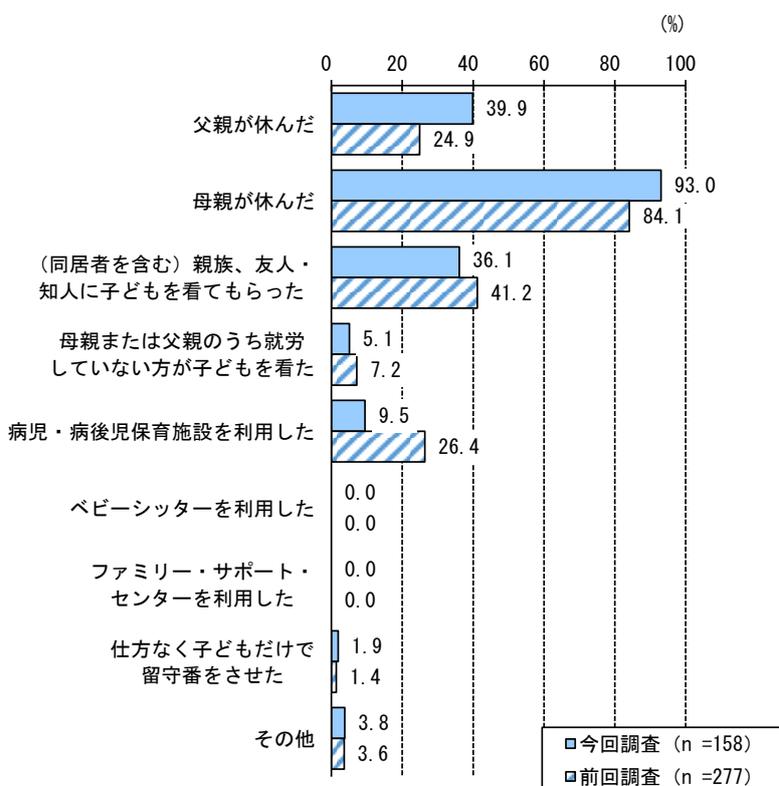


問19-1 通常の教育・保育事業が利用できなかった時に、①実際に取った対処法と、②対処した際の日数（年間）をすべてご記入ください。

①対処法

- 【全体】
- 対処法について、「母親が休んだ」が93.0%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が39.9%、「(同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもを看てもらった」が36.1%となっています。
- 【就労状況（母親）】
- 「父親が休んだ」はフルタイム（休業中含む）が43.3%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 「母親が休んだ」は就労していないが50.0%と他の区分に比べて少なくなっています。
 - 「(同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもを看てもらった」はフルタイム（休業中含む）が41.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【対処法(MA)】



単位：%

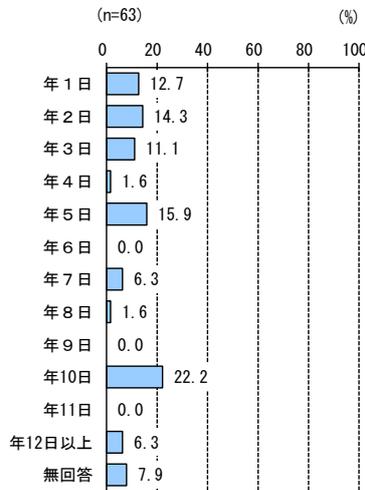
	母数 (n)	対処法(MA)									
		父親が休んだ	母親が休んだ	子親(同居者を含む)子どもを看てもらった	就労または父親のうち	病児・病後児保育施設	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	
全体	158	39.9	93.0	36.1	5.1	9.5	-	-	1.9	3.8	
就労状況(母親)	フルタイム(休業中含む)	97	43.3	92.8	41.2	3.1	10.3	-	-	3.1	5.2
	パート・アルバイト等(休業中含む)	53	34.0	98.1	28.3	5.7	9.4	-	-	-	-
	就労していない	4	▼ 25.0	▼ 50.0	▼ 25.0	△ 50.0	-	-	-	-	-

②対処した日数（年間）

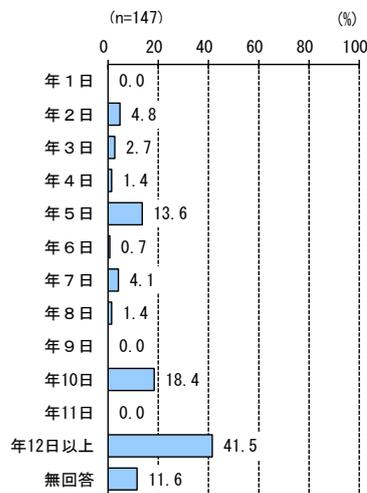
【全体】

○ 対処した方法別の年向日数について、回答結果は以下の通りとなっています。

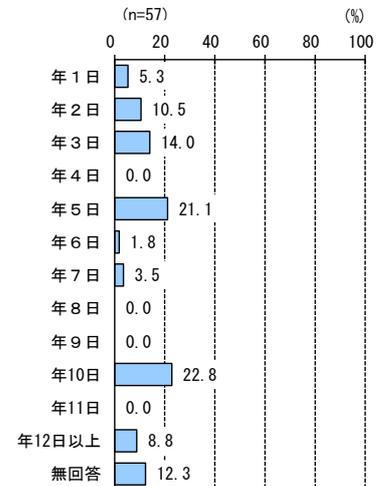
【父親が休んだ】



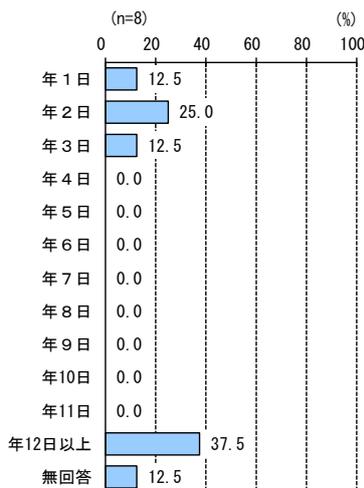
【母親が休んだ】



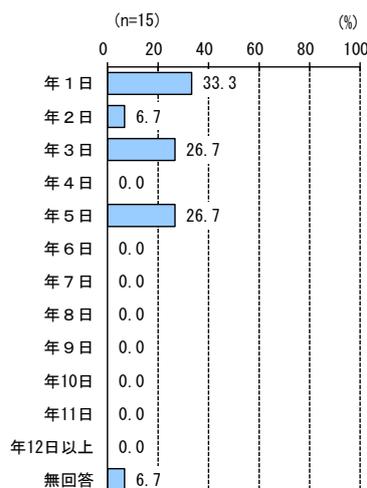
【親族、友人・知人に子どもをみてもらった】



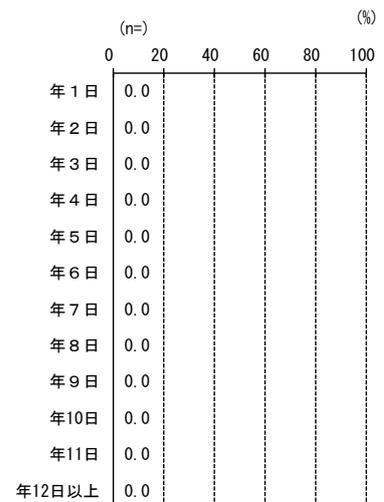
【母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた】



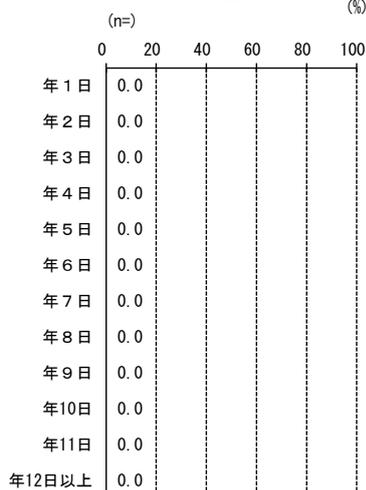
【病児・病後児の保育を利用した】



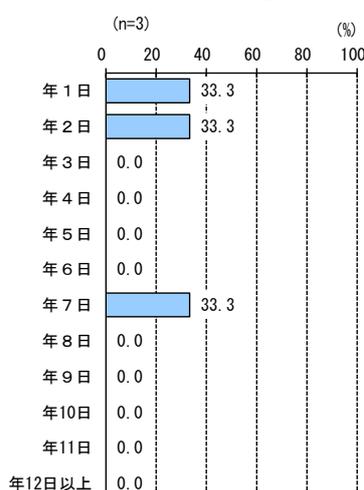
【ベビーシッターを利用した】



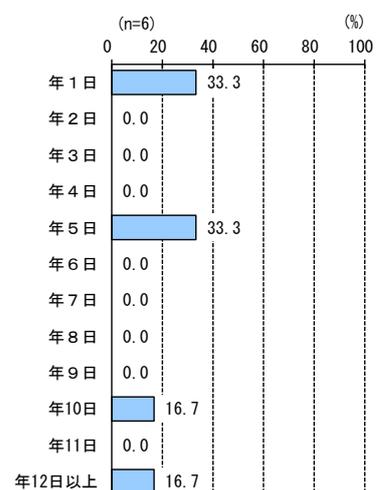
【ファミリー・サポート・センターを利用した】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】



【その他】



(問19-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」と答えた方のみ回答。)

問20 母親または父親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思いましたか。(あてはまる番号1つに○)

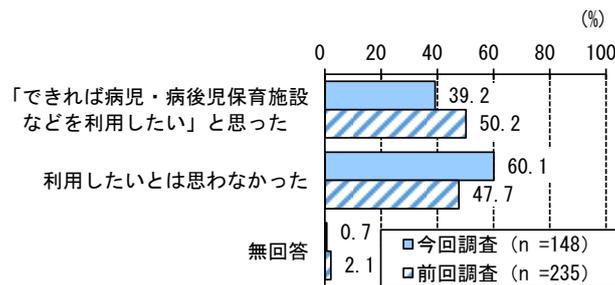
【全体】

- 病児・病後児保育施設の利用意向について、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」が39.2%、「利用したいとは思わなかった」が60.1%となっています。
- 前回調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」が11ポイント低下し、「利用したいとは思わなかった」が12.4ポイント上昇しています。

【子どもの年齢】

- 「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」は0歳児、1歳児、2歳児が50.0%以上となっています。

【病児・病後児保育施設の利用意向】



単位：%

	母数 (n)	病児・病後児保育施設の利用意向			
		「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った	「利用したいとは思わなかった」	無回答	
全体	148	39.2	60.1	0.7	
子どもの年齢	0歳児	2	△100.0	-	-
	1歳児	19	△52.6	▼42.1	5.3
	2歳児	27	△51.9	▼48.1	-
	3歳児	28	▼28.6	△71.4	-
	4歳児	29	34.5	65.5	-
5歳児	38	31.6	68.4	-	

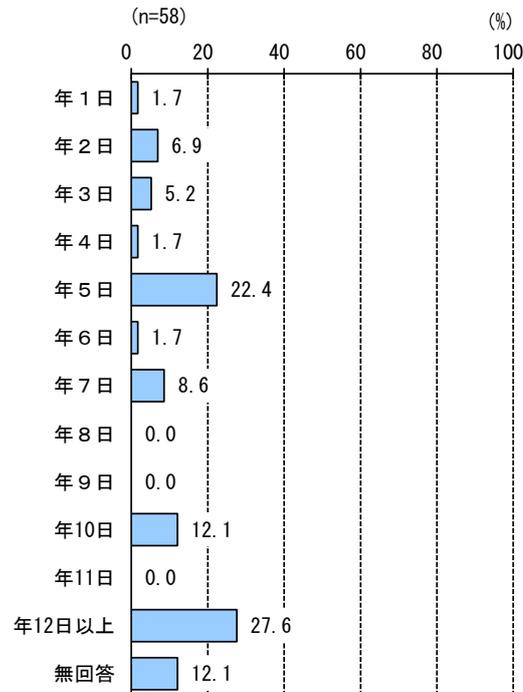
(問20で「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と答えた方のみ回答。)

問20-1 病児・病後児のための保育施設などを何日間利用したいと思われましたか。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

【全体】

○ 希望する病児・病後児保育施設の利用日数について、「年12日以上」が27.6%で最も多く、次いで「年5日」が22.4%、「年10日」が12.1%となっています。

【希望する病児・病後児保育施設の利用日数】

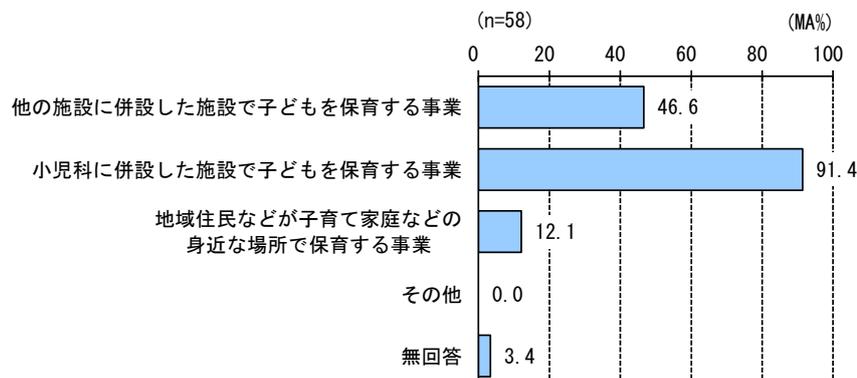


問20-2 あて名のお子さんが病気やケガで、通学できない時に、病児・病後児のための保育施設などへ預ける場合、どの事業形態が望ましいと思えますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

○ 希望する事業形態について、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が91.4%で最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が46.6%、「地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業」が12.1%となっています。

【希望する事業形態(MA)】



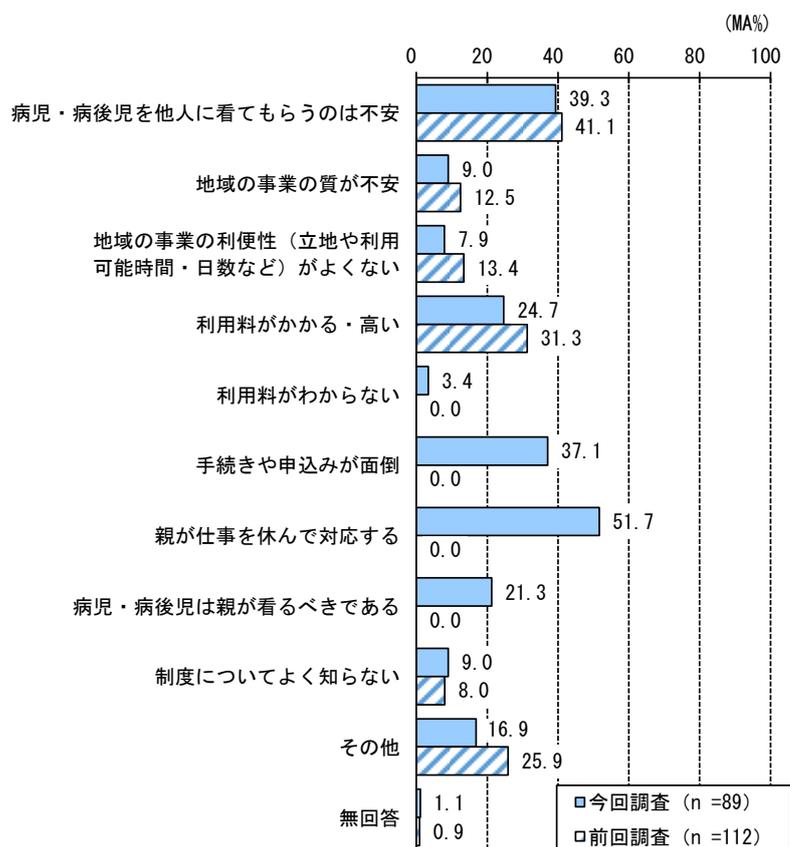
(問20で「利用したいとは思わなかった」と答えた方のみ回答。)

問20-3 病児・病後児のための保育施設などを利用したいとは思わなかった理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

○ 利用したくない理由について、「親が仕事を休んで対応する」が 51.7%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 39.3%、「手続きや申込みが面倒」が 37.1%となっています。

【利用したくない理由(MA)】



※「利用料がわからない」「手続きや申込みが面倒」「親が仕事を休んで対応する」「病児・病後児は親が看るべきである」は今回調査より追加した選択肢。

7. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問21 あて名のお子さんについて、(1) 土曜日と(2) 日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業を利用したいですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

①土曜日の利用希望

【全体】

- 土曜日の利用希望について、「利用する必要はない」が 38.3%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 34.6%、「ほぼ毎週利用したい」が 24.8%となっています。

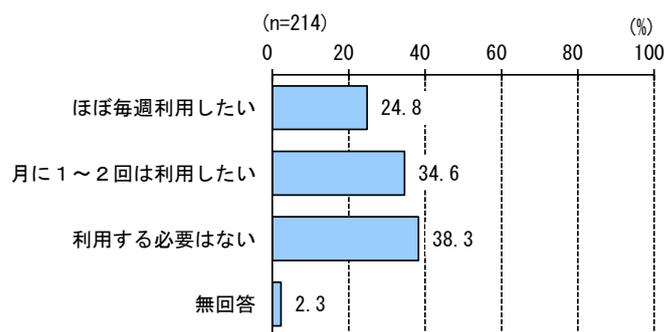
【子どもの年齢】

- 「ほぼ毎週利用したい」は0歳児が 30.0%、2歳児が 32.4%、4歳児が 29.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「月に1～2回は利用したい」は0歳児が 25.0%、2歳児が 29.4%、4歳児が 32.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「利用する必要はない」は5歳児が 42.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【就労状況(母親)】

- 「ほぼ毎週利用したい」はパート・アルバイト等(休業中含む)が 16.9%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「月に1～2回は利用したい」は就労していないが 12.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「利用する必要はない」は就労していないが 62.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【土曜日の利用希望】



単位：%

	母数 (n)	土曜日の利用希望				
		ほぼ毎週利用したい	利用にしたい2回は	利用する必要はない	無回答	
全体	214	24.8	34.6	38.3	2.3	
子どもの年齢	0歳児	20	30.0	25.0	40.0	5.0
	1歳児	34	20.6	41.2	38.2	-
	2歳児	34	32.4	29.4	32.4	5.9
	3歳児	36	19.4	38.9	38.9	2.8
	4歳児	34	29.4	32.4	35.3	2.9
	5歳児	49	16.3	40.8	42.9	-
就労状況(母親)	フルタイム(休業中含む)	128	29.7	34.4	35.2	0.8
	パート・アルバイト等(休業中含む)	71	16.9	38.0	40.8	4.2
	就労していない	8	25.0	▼ 12.5	△ 62.5	-

②日曜日・祝日の利用希望

【全体】

- 日曜日・祝日の利用希望について、「利用する必要はない」が 61.2%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 20.1%、「ほぼ毎週利用したい」が 5.6%となっています。

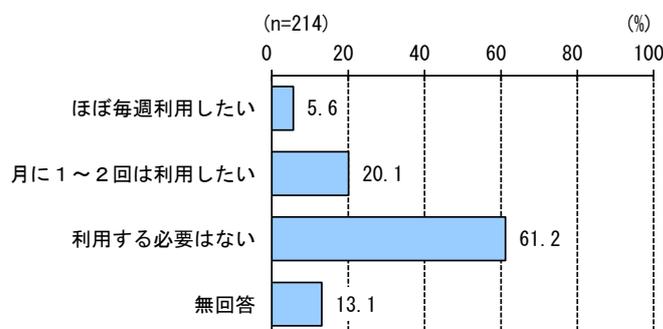
【子どもの年齢】

- 「ほぼ毎週利用したい」は5歳児が 2.0%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「月に1～2回は利用したい」は1歳児が 26.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「利用する必要はない」は0歳児が 65.0%、2歳児が 64.7%、5歳児が 67.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【就労状況（母親）】

- 「ほぼ毎週利用したい」は就労していないが 12.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「月に1～2回は利用したい」は就労していないが 12.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「利用する必要はない」はフルタイム（休業中含む）が 60.2%と他の区分に比べて少なくなっています。

【日曜日・祝日の利用希望】



単位：%

	母数 (n)	日曜日・祝日の利用希望				
		ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	利用する必要はない	無回答	
全体	214	5.6	20.1	61.2	13.1	
子どもの年齢	0歳児	20	10.0	20.0	65.0	5.0
	1歳児	34	5.9	26.5	58.8	8.8
	2歳児	34	-	20.6	64.7	14.7
	3歳児	36	5.6	22.2	58.3	13.9
	4歳児	34	8.8	17.6	55.9	17.6
	5歳児	49	2.0	14.3	67.3	16.3
就労状況（母親）	フルタイム（休業中含む）	128	7.0	21.1	60.2	11.7
	パート・アルバイト等（休業中含む）	71	2.8	18.3	63.4	15.5
	就労していない	8	12.5	12.5	62.5	12.5

(問21で「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と答えた方のみ回答。)

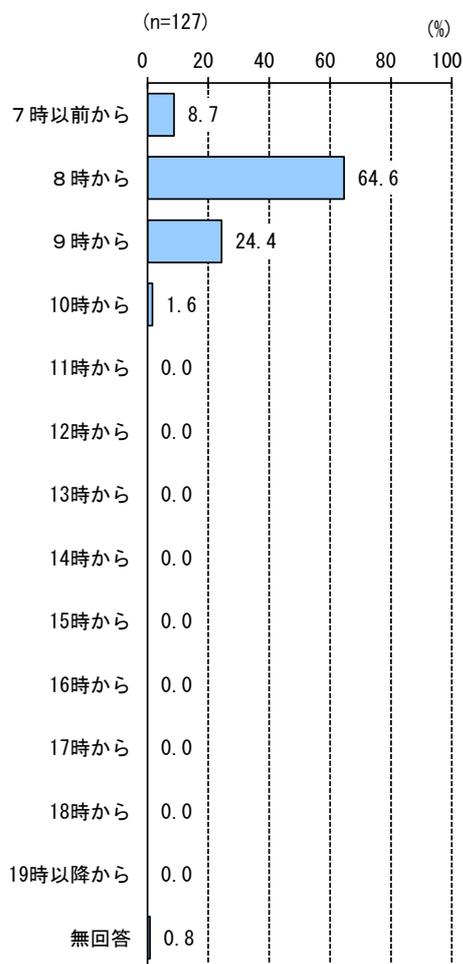
問21-1 (1) 土曜日と(2)日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業を利用したい時間帯をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

①土曜日の利用希望時間帯

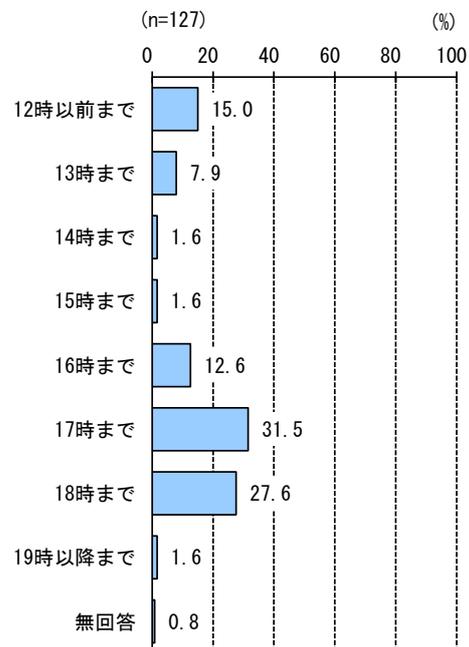
【全体】

- 土曜日の希望時間帯（開始時刻）について、「8時から」が64.6%で最も多く、次いで「9時から」が24.4%、「7時以前から」が8.7%となっています。
- 土曜日の希望時間帯（終了時刻）について、「17時まで」が31.5%で最も多く、次いで「18時まで」が27.6%、「12時以前まで」が15.0%となっています。

【土曜日の希望時間帯（開始時刻）】



【土曜日の希望時間帯（終了時刻）】

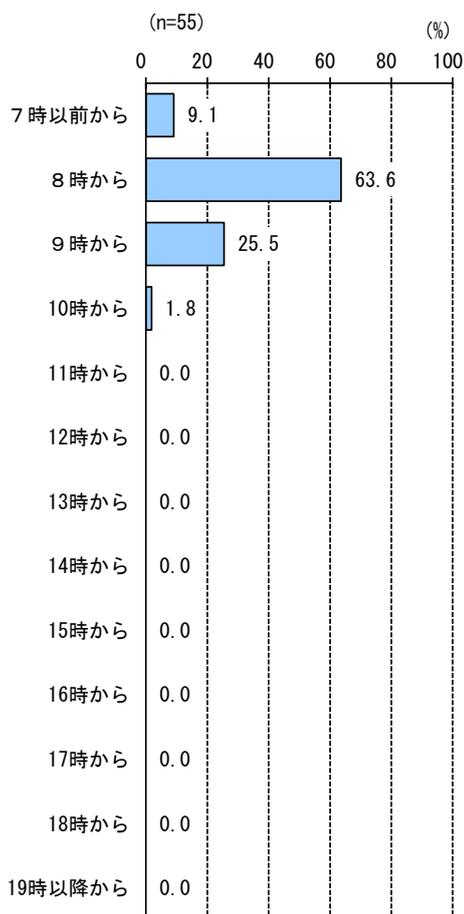


②日曜日・祝日の利用希望時間帯

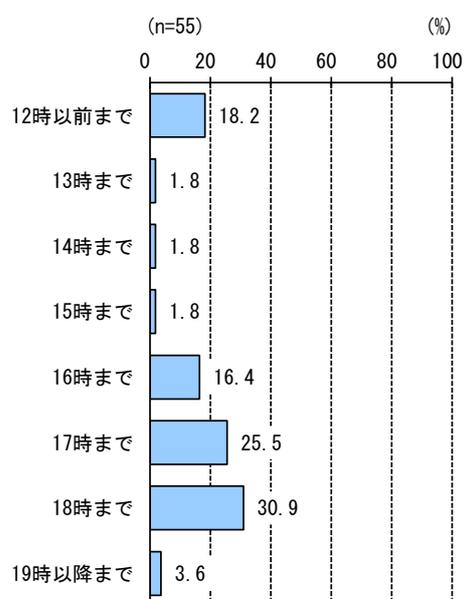
【全体】

- 日曜・祝日の希望時間帯（開始時刻）について、「8時から」が63.6%で最も多く、次いで「9時から」が25.5%、「7時以前から」が9.1%となっています。
- 日曜・祝日の希望時間帯（終了時刻）について、「18時まで」が30.9%で最も多く、次いで「17時まで」が25.5%、「12時以前まで」が18.2%となっています。

【日曜・祝日の希望時間帯（開始時刻）】



【日曜・祝日の希望時間帯（終了時刻）】



8. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問22 あて名のお子さんについて、この1年間で、私用、保護者の通院、不特定の就労などの目的で、①不定期的に利用している教育・保育事業と、②利用している日数（年間）をすべてご記入ください。

①不定期的に利用している教育・保育事業

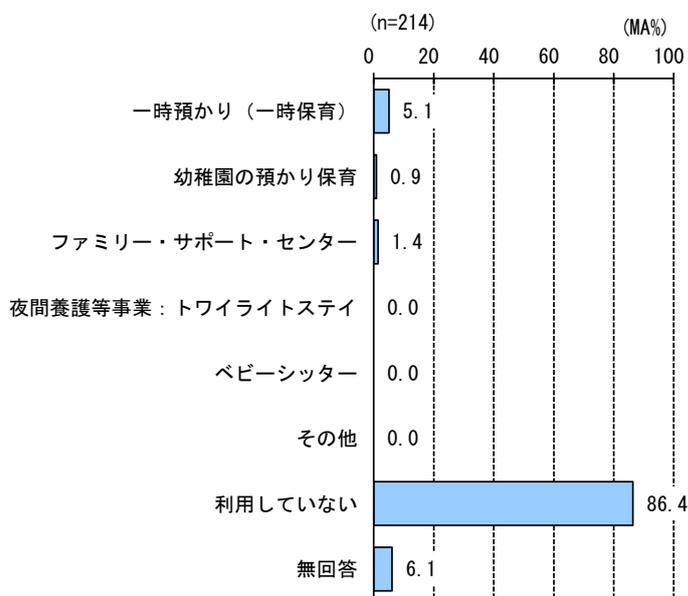
【全体】

- 不定期的に利用している教育・保育事業について、「利用していない」が 86.4%で最も多く、次いで「一時預かり（一時保育）」が 5.1%、「ファミリー・サポート・センター」が 1.4%となっています。

【就労状況（母親）】

- 「一時預かり（一時保育）」は就労していないが 37.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「利用していない」は就労していないが 62.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【不定期的に利用している教育・保育事業(MA)】



単位：%

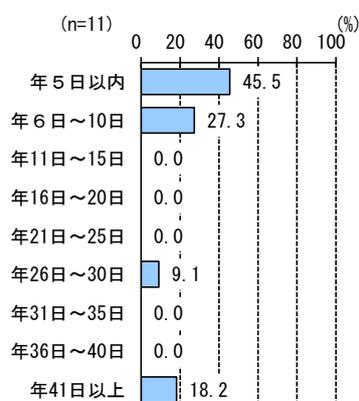
	母数 (n)	不定期的に利用している教育・保育事業(MA)							
		（一時預かり保育）	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	トワイライトステイ等事業	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全体	214	5.1	0.9	1.4	-	-	-	86.4	6.1
就労状況（母親）	フルタイム（休業中含む）	3.9	0.8	2.3	-	-	-	89.1	3.9
	パート・アルバイト等（休業中含む）	4.2	1.4	-	-	-	-	84.5	9.9
	就労していない	△ 37.5	-	-	-	-	-	▼ 62.5	-

②利用している日数（年間）

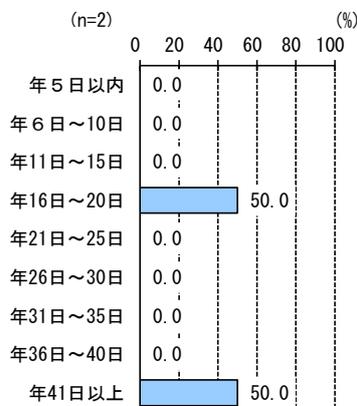
【全体】

○ 事業別の利用日数について、回答結果は以下の通りとなっています。

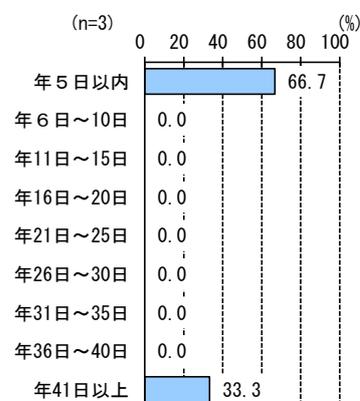
【一時預かりの日数】



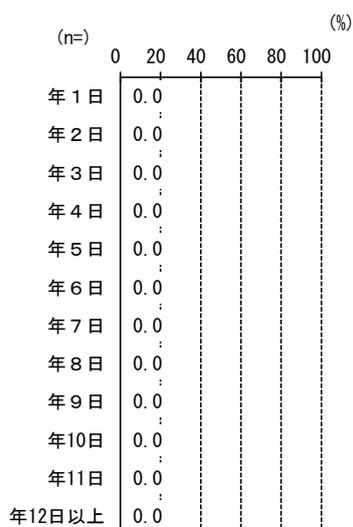
【幼稚園の預かり保育の日数】



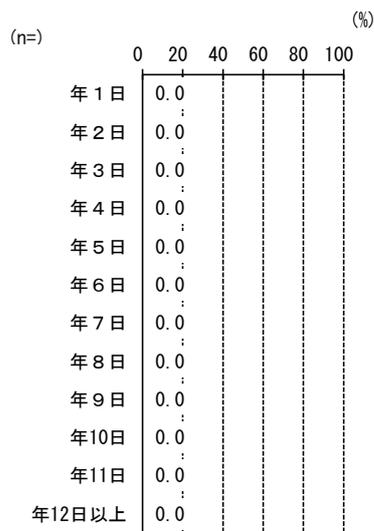
【ファミリー・サポート・センターの日数】



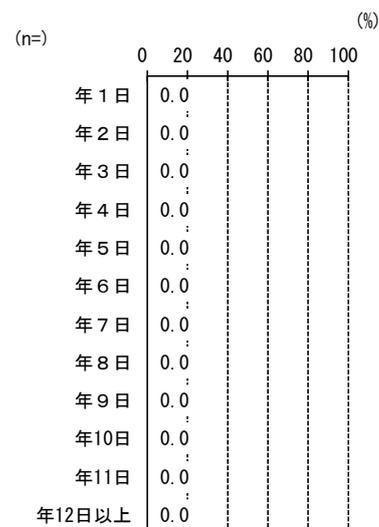
【夜間養護等事業： トワイライトステイの日数】



【ベビーシッターの日数】



【その他の日数】



問23 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、一時的に教育・保育事業を利用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 一時的な教育・保育事業の利用意向について、「利用したい」が37.9%、「利用する必要はない」が58.4%となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用したい」が9.2ポイント上昇しています。

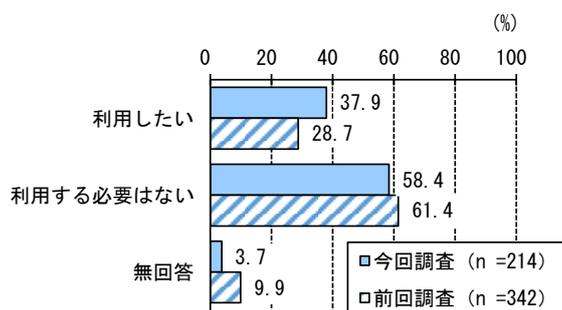
【子どもの年齢】

- 「利用したい」は1歳児が67.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【就労状況（母親）】

- 「利用したい」は就労していないが75.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「利用する必要はない」は就労していないが25.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【一時的な教育・保育事業の利用意向】



単位：%

	母数 (n)	一時的な教育・保育事業の利用意向		
		利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	214	37.9	58.4	3.7
子どもの年齢	0歳児	△ 50.0	50.0	-
	1歳児	△ 67.6	▼ 29.4	2.9
	2歳児	32.4	58.8	8.8
	3歳児	30.6	63.9	5.6
	4歳児	38.2	58.8	2.9
	5歳児	▼ 18.4	△ 79.6	2.0
就労状況 (母親)	フルタイム (休業中含む)	39.8	57.0	3.1
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	31.0	64.8	4.2
	就労していない	△ 75.0	▼ 25.0	-

(問23で「利用したい」と答えた方のみ回答。)

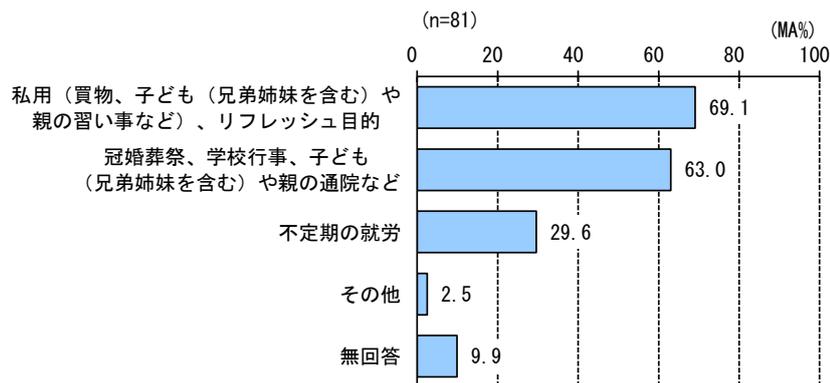
問23-1 ①一時的に教育・保育事業を利用する目的と、②目的別に利用したい日数(年間)をすべてご記入ください。

①一時的に教育・保育事業を利用する目的

【全体】

- 一時的に教育・保育事業を利用する目的について、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事など)、リフレッシュ目的」が69.1%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院など」が63.0%、「不定期の就労」が29.6%となっています。

【一時的に教育・保育事業を利用する目的(MA)】

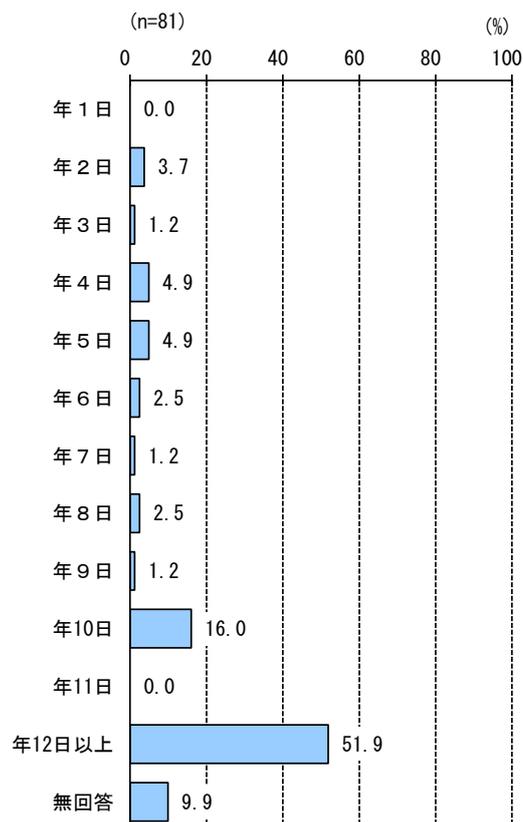


②. 1一時的に教育・保育事業を利用したい日数(年間)

【全体】

- 一時的に教育・保育事業を利用したい日数(年間)について、「年12日以上」が51.9%で最も多く、次いで「年10日」が16.0%、「年4日」「年5日」が4.9%となっています。

【一時的に教育・保育事業を利用したい日数(年間)】

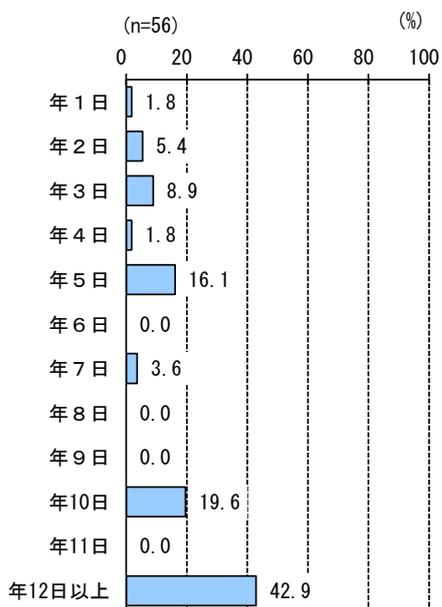


②. 2 目的別に利用したい日数（目的別）

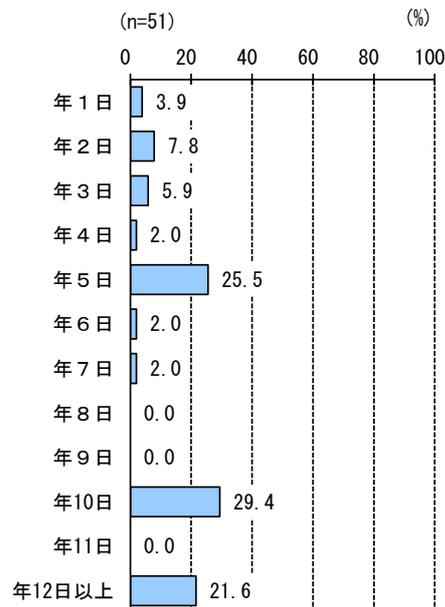
【全体】

○ 一時的に教育・保育事業を利用したい日数（目的別）についての回答状況は以下の通りとなっています。

【私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的の日数】



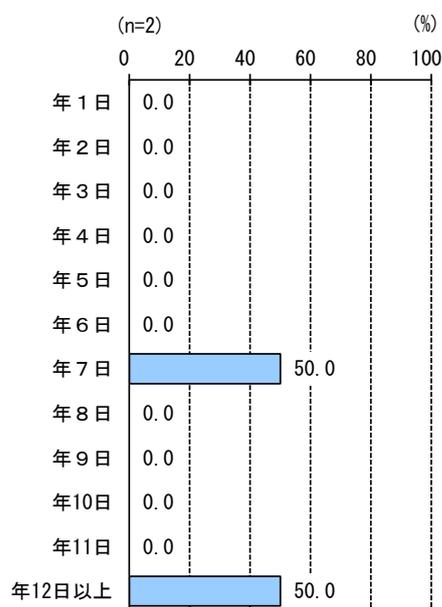
【冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などの日数】



【不定期の就労の日数】



【その他の日数】

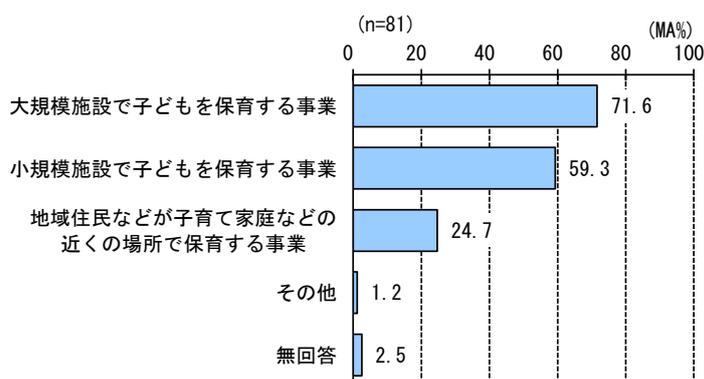


問23-2 私用、親の通院、不定期の就労などの目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 希望する事業形態について、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 71.6%で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 59.3%、「地域住民などが子育て家庭などの近くの場所で保育する事業」が 24.7%となっています。

【希望する事業形態】



問24 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことはありましたか。(あてはまる番号1つに○)

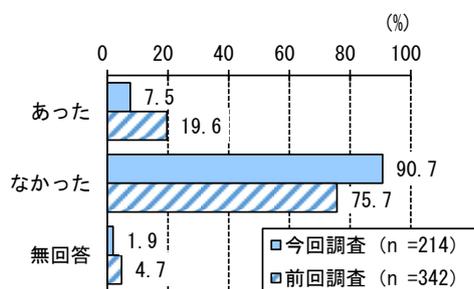
【全体】

- 泊りがけで見てもらわなければならない経験について、「あった」が 7.5%、「なかった」が 90.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、「あった」が 12.1 ポイント低下し、「なかった」が 15 ポイント上昇しています。

【子どもの年齢】

- 「あった」は0歳児が 5.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【泊りがけで見てもらわなければならない経験】



		母数 (n)	泊りがけで見てもらわなければならない経験		
			あった	なかった	無回答
全体		214	7.5	90.7	1.9
子どもの年齢	0歳児	20	5.0	95.0	-
	1歳児	34	14.7	85.3	-
	2歳児	34	-	97.1	2.9
	3歳児	36	13.9	83.3	2.8
	4歳児	34	-	97.1	2.9
	5歳児	49	10.2	87.8	2.0

(問24で「あった」と答えた方のみ回答。)

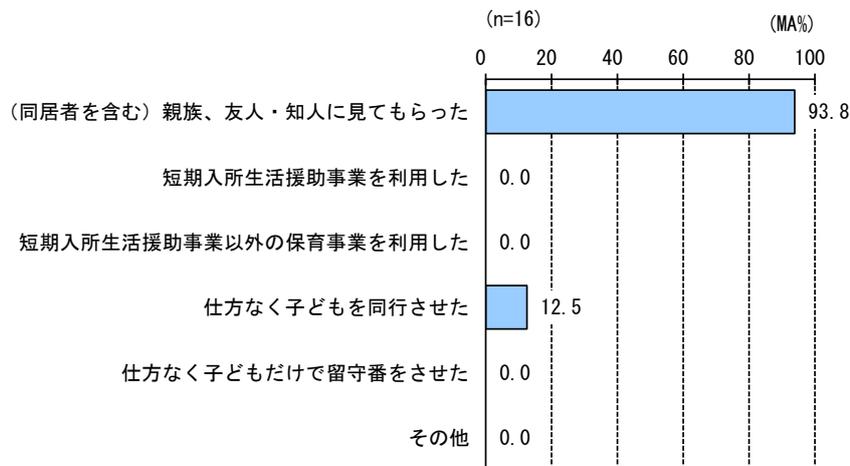
問24-1 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法と、②対処した際の泊数（年間）をすべてご記入ください。

①家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法

【全体】

- 家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法について、「(同居者を含む) 親族、友人・知人に見てもらった」が93.8%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が12.5%となっています。

【家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法 (MA)】

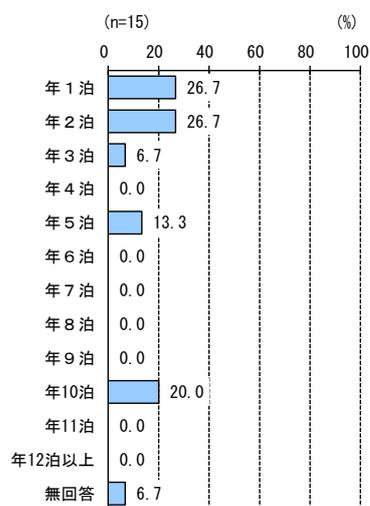


②対処した際の泊数（年間）

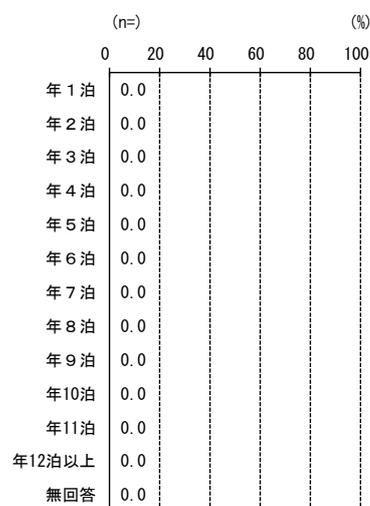
【全体】

○ 各対応方法に関する回答状況は、以下の通りとなっています。

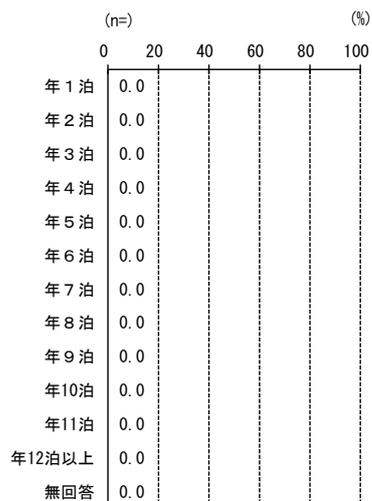
【（同居者を含む）親族、友人・知人にみてもらった】



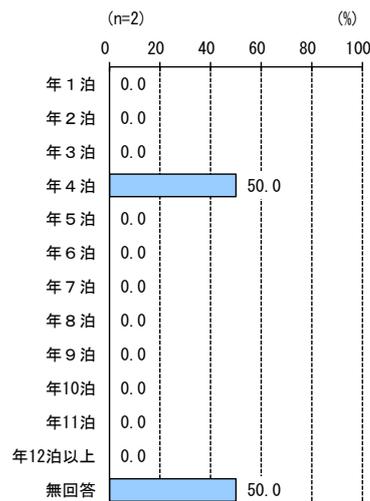
【短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した】



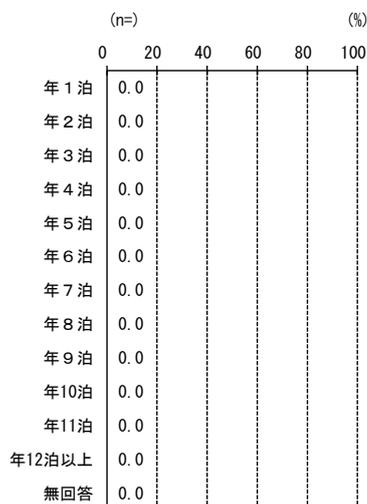
【短期入所生活援助事業以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した】



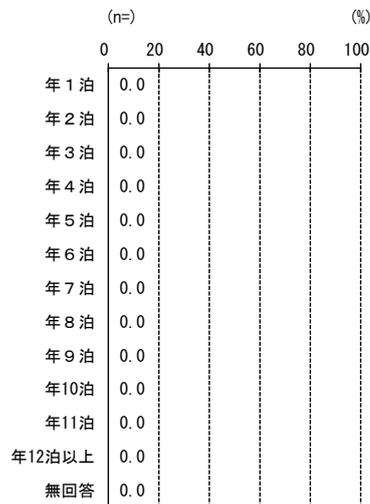
【仕方なく子どもを同行させた】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】



【その他】

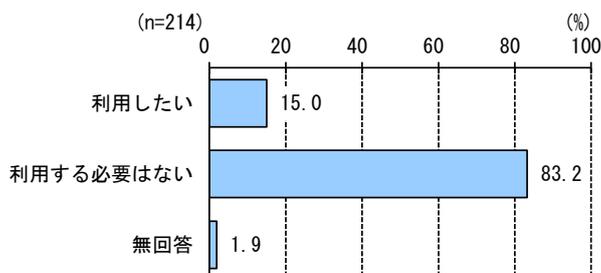


問25 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらふ必要がある時に、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向について、「利用したい」が15.0%、「利用する必要はない」が83.2%となっています。

【短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向】



（問25で「利用したい」と答えた方のみ回答。）

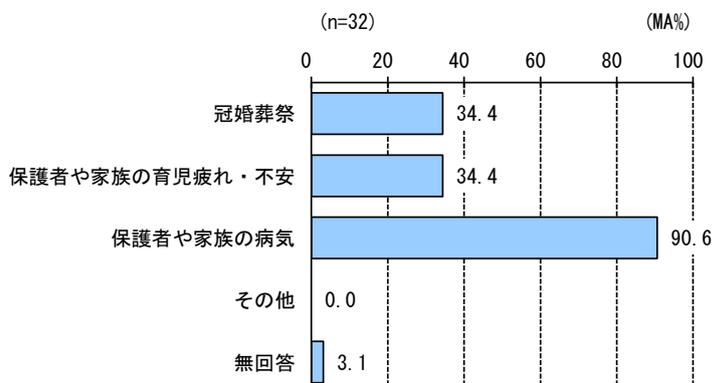
問25-1 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的と、②目的別に利用したい泊数（年間）をすべてご記入ください。

①短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的

【全体】

- 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的について、「保護者や家族の病気」が90.6%で最も多く、次いで「冠婚葬祭」「保護者や家族の育児疲れ・不安」が34.4%となっています。

【短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的(MA)】

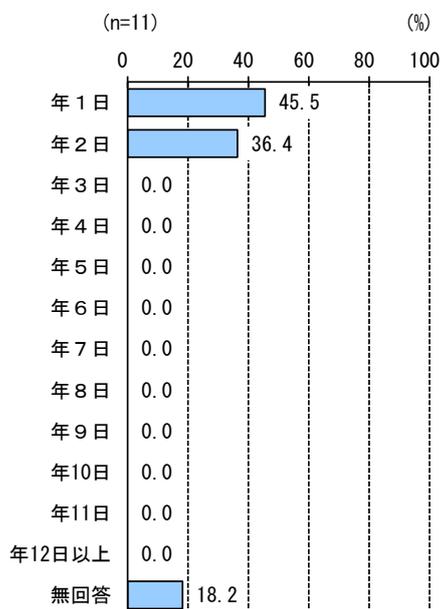


②短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい泊数（目的別）

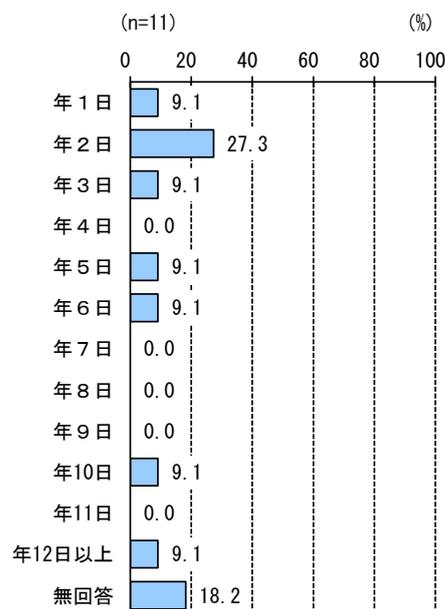
【全体】

○ 目的別の短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい泊数について、回答結果は以下の通りとなっています。

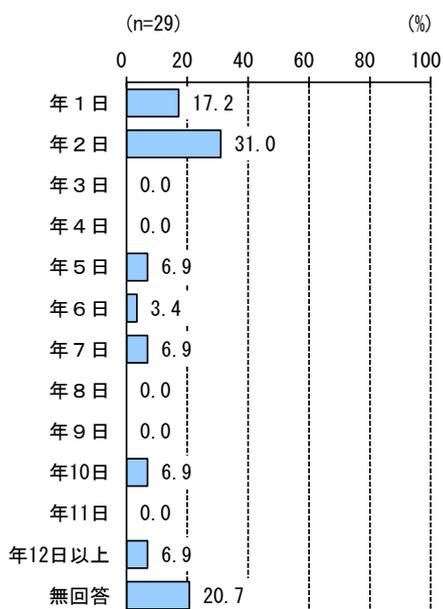
【冠婚葬祭の泊数】



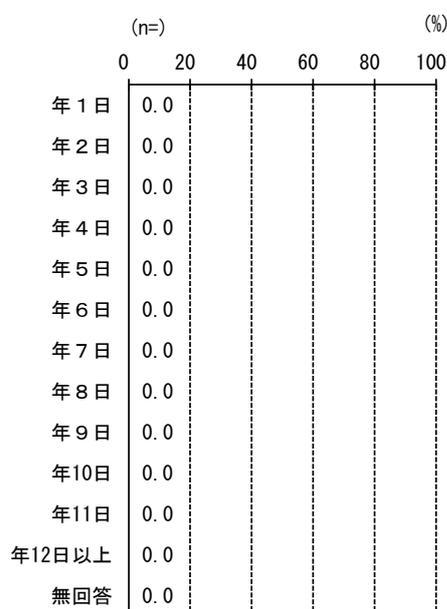
【保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数】



【保護者や家族の病気の泊数】



【その他の泊数】



9. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

問26 あて名のお子さんは、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 地域子育て支援拠点事業の利用状況について、「利用していない」が 85.0%で最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業を利用している」が 13.1%、「類似または他市町村の事業を利用している」が 1.9%となっています。
- 前回調査と比較すると、「地域子育て支援拠点事業を利用している」が9ポイント上昇しています。

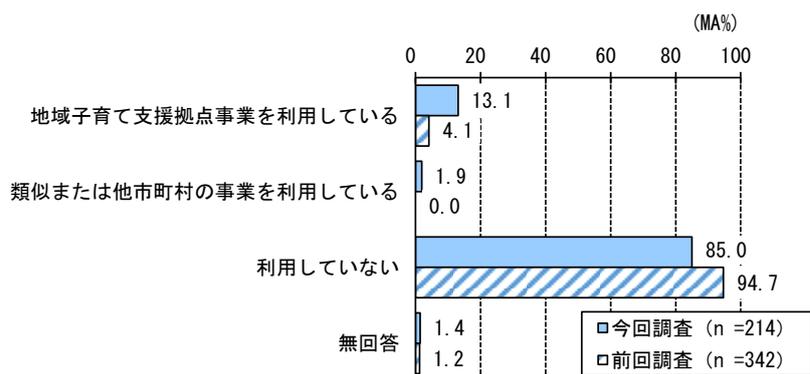
【子どもの年齢】

- 「地域子育て支援拠点事業を利用している」は0歳児が 40.0%、1歳児が 41.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「類似または他市町村の事業を利用している」は2歳児が 2.9%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「利用していない」は0歳児が 60.0%、1歳児が 58.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【就労状況（母親）】

- 「地域子育て支援拠点事業を利用している」は就労していないが 37.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「利用していない」は就労していないが 62.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【地域子育て支援拠点事業の利用状況（MA）】



単位：%

	母数 (n)	地域子育て支援拠点事業の利用状況 (MA)				
		地域子育て支援拠点事業を利用している	類似または他市町村の事業を利用している	利用していない	無回答	
全体	214	13.1	1.9	85.0	1.4	
子どもの年齢	0歳児	20	△ 40.0	5.0	▼ 60.0	-
	1歳児	34	△ 41.2	5.9	▼ 58.8	-
	2歳児	34	5.9	2.9	88.2	2.9
	3歳児	36	▼ 2.8	-	91.7	5.6
	4歳児	34	▼ 2.9	-	△ 97.1	-
	5歳児	49	▼ 2.0	-	△ 98.0	-
就労状況 (母親)	フルタイム (休業中含む)	128	15.6	2.3	82.8	0.8
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	71	5.6	1.4	93.0	1.4
	就労していない	8	△ 37.5	-	▼ 62.5	-

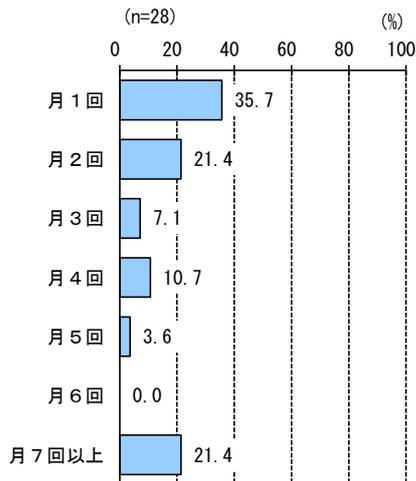
(問26で「地域子育て支援拠点事業を利用している」「類似または他市町村の事業を利用している」と答えた方のみ回答。)

問26-1 地域子育て支援拠点事業や類似の事業のおおよその利用回数(頻度)をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一桁に一字)

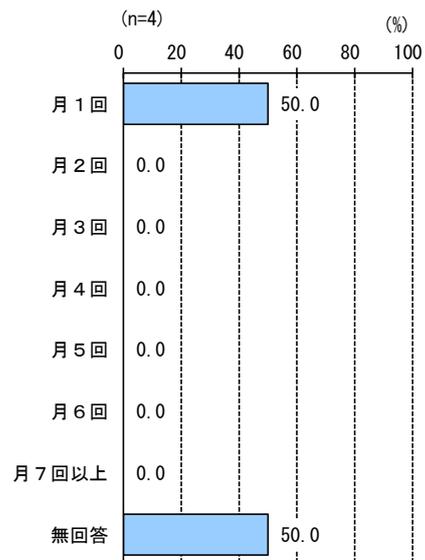
【全体】

○ 地域子育て支援拠点事業の利用頻度について、「月1回」が35.7%で最も多く、次いで「月2回」「月7回以上」が21.4%、「月4回」が10.7%となっています。

【地域子育て支援拠点事業の利用頻度】



【類似または他市町村の事業の利用頻度】



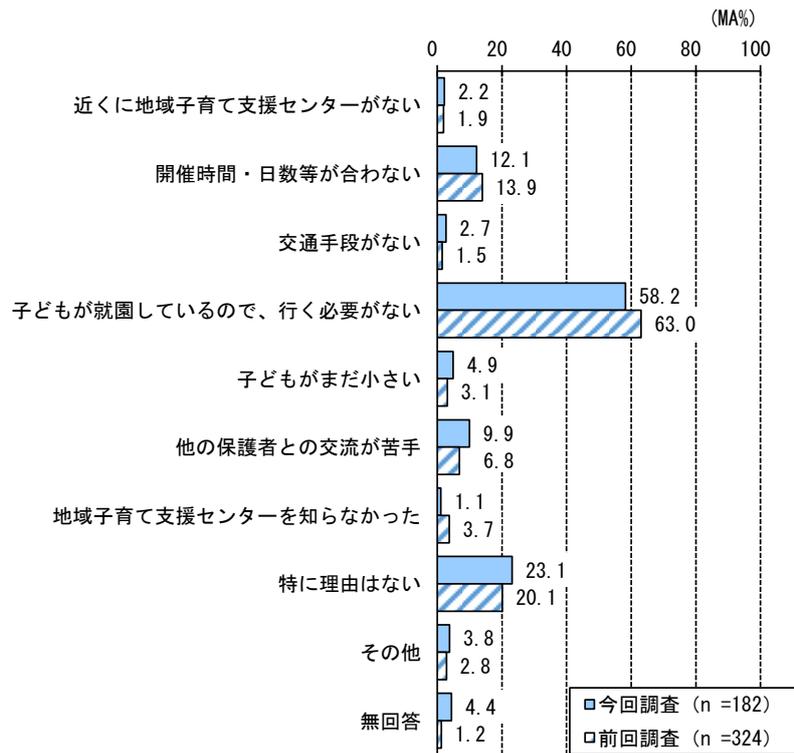
(問26で「利用していない」と答えた方のみ回答。)

問27 現在利用していない理由はどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 利用していない理由について、「子どもが就園しているので、行く必要がない」が 58.2%で最も多く、次いで「特に理由はない」が 23.1%、「開催時間・日数等が合わない」が 12.1%となっています。
- 前回調査と比較すると、「子どもが就園しているので、行く必要がない」が 4.8 ポイント低下しています。

【利用していない理由 (MA)】



問28 地域子育て支援拠点事業や類似の事業について、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 今後の利用意向について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が73.4%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が16.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が6.5%となっています。

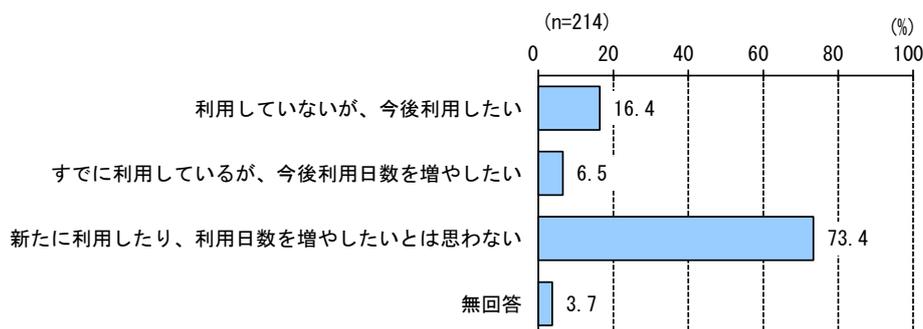
【子どもの年齢】

- 「利用していないが、今後利用したい」は0歳児が30.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は0歳児が30.0%、1歳児が17.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」は2歳児が85.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【就労状況（母親）】

- 「利用していないが、今後利用したい」は就労していないが37.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は就労していないが25.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」はパート・アルバイト等（休業中含む）が84.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【今後の利用意向】



単位：%

	母数 (n)	今後の利用意向				
		今後利用していないが、	増やしたいが、今後に利用日数を	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	
全体	214	16.4	6.5	73.4	3.7	
子どもの年齢	0歳児	20	△ 30.0	△ 30.0	▼ 40.0	-
	1歳児	34	20.6	△ 17.6	▼ 58.8	2.9
	2歳児	34	▼ 5.9	2.9	△ 85.3	5.9
	3歳児	36	11.1	-	80.6	8.3
	4歳児	34	20.6	-	73.5	5.9
	5歳児	49	16.3	2.0	81.6	-
就労状況 (母親)	フルタイム (休業中含む)	128	19.5	7.0	70.3	3.1
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	71	8.5	4.2	△ 84.5	2.8
	就労していない	8	△ 37.5	△ 25.0	▼ 37.5	-

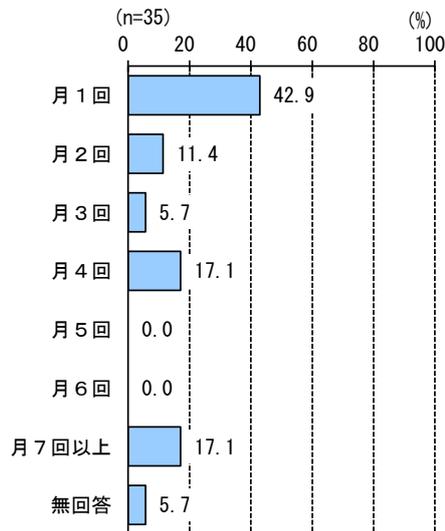
(問28で「利用していないが、今後利用したい」と答えた方のみ回答。)

問28-1 地域子育て支援拠点事業や類似の事業のおおよその利用希望回数(頻度)をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一桁に一字)

【全体】

- 利用希望回数(頻度)について、「月1回」が42.9%で最も多く、次いで「月4回」「月7回以上」が17.1%、「月2回」が11.4%となっています。

【利用希望回数(頻度)】



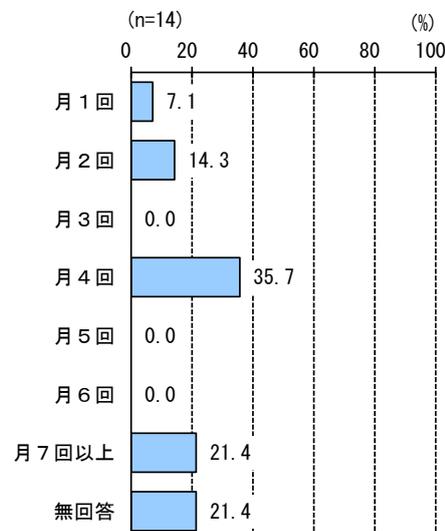
(問28で「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた方のみ回答。)

問28-2 地域子育て支援拠点事業や類似の事業をさらにどの程度利用したいか、おおよその利用希望回数(頻度)をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一桁に一字)

【全体】

- さらにどの程度利用したいかについて、「月4回」が35.7%で最も多く、次いで「月7回以上」が21.4%、「月2回」が14.3%となっています。

【さらにどの程度利用したいか】

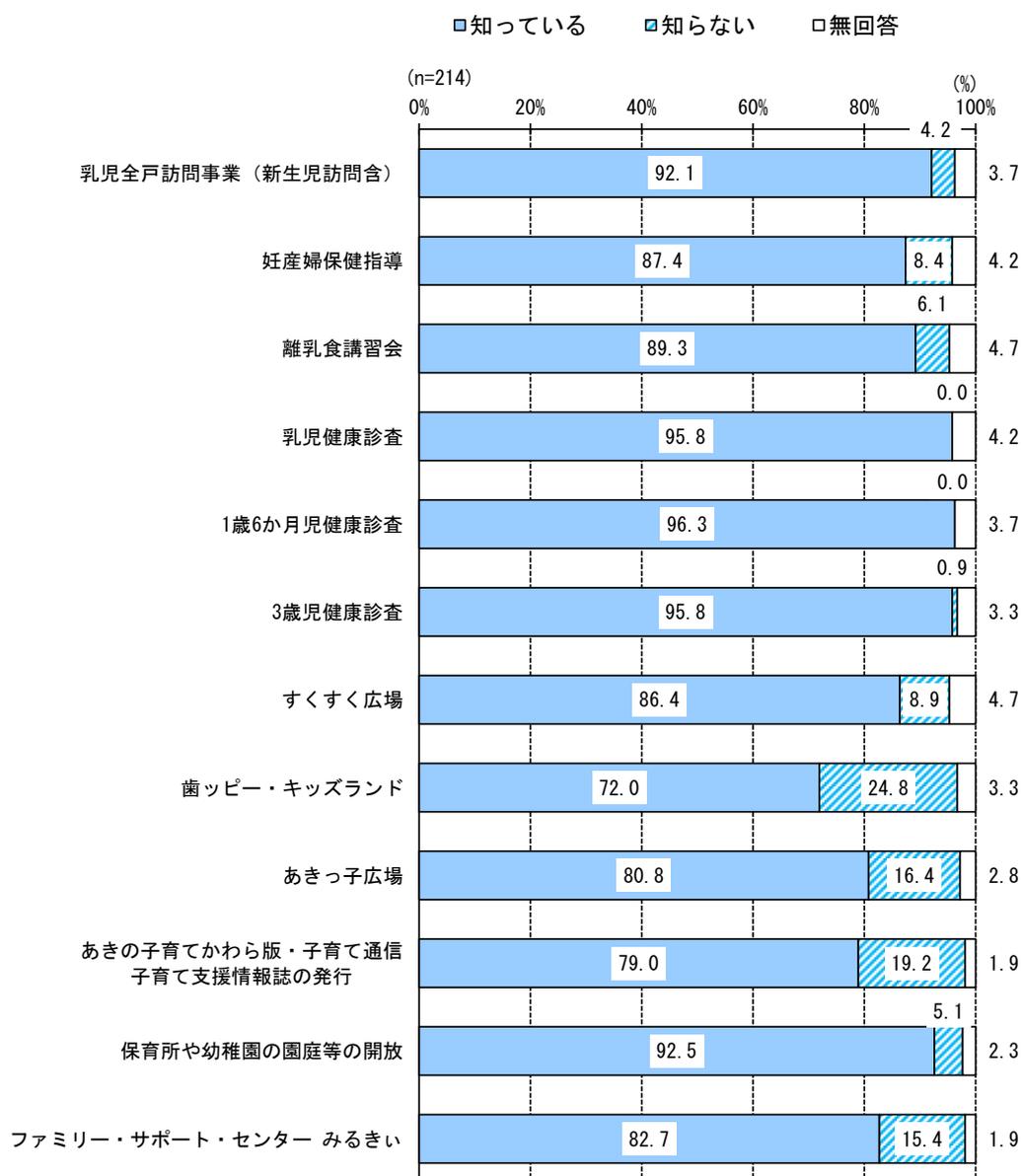


問29 以下の事業について、「A. 知っている」、「B. 利用したことがある」、「C. 今後、利用したい」ものをすべてご記入ください。(A~Cそれぞれ、「はい」「いいえ」のどちらかに○)

A. 事業の認知度

- 【全体】
- 知っている人の割合が最も多いのは「1歳6か月児健康診査」で96.3%、次いで、「乳児健康診査」「3歳児健康診査」が95.8%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が92.5%となっています。
 - 知らない人の割合が最も多いのは「歯ッピー・キッズランド」で24.8%となっています。

【各事業の認知度】

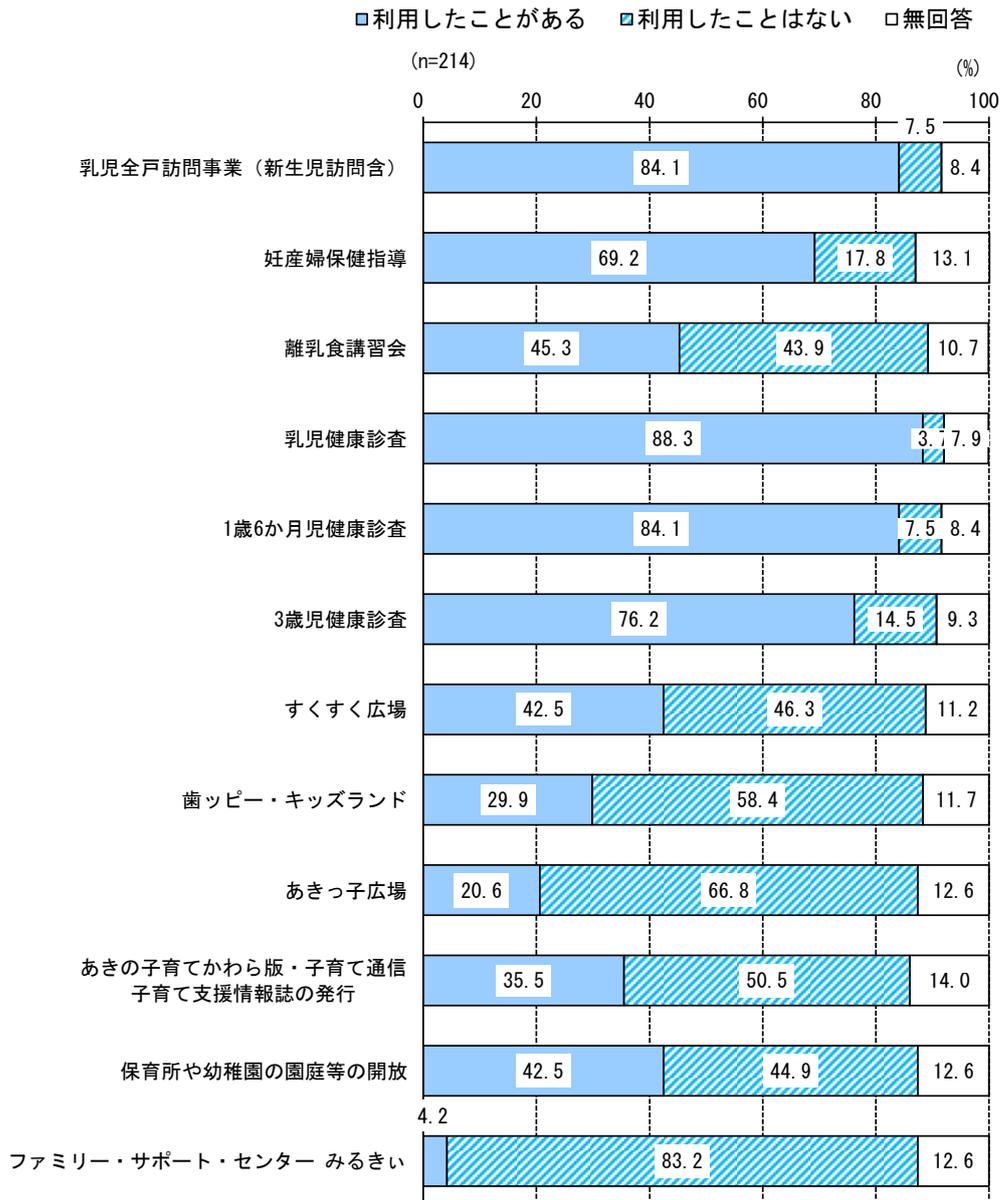


B. 事業の利用経験

【全体】

- 利用したことがある人の割合が最も多いのは「乳児健康診査」で 88.3%、次いで、「1歳6か月児健康診査」「乳児全戸訪問事業（新生児訪問含）」が 84.1%、「3歳児健康診査」が 76.2%となっています。
- 利用したことはない人の割合が最も多いのは「ファミリー・サポート・センターみるきい」で 83.2%、次いで、「あきっ子広場」が 66.8%、「歯ッピー・キッズランド」が 58.4%となっています。

【各事業の利用経験】

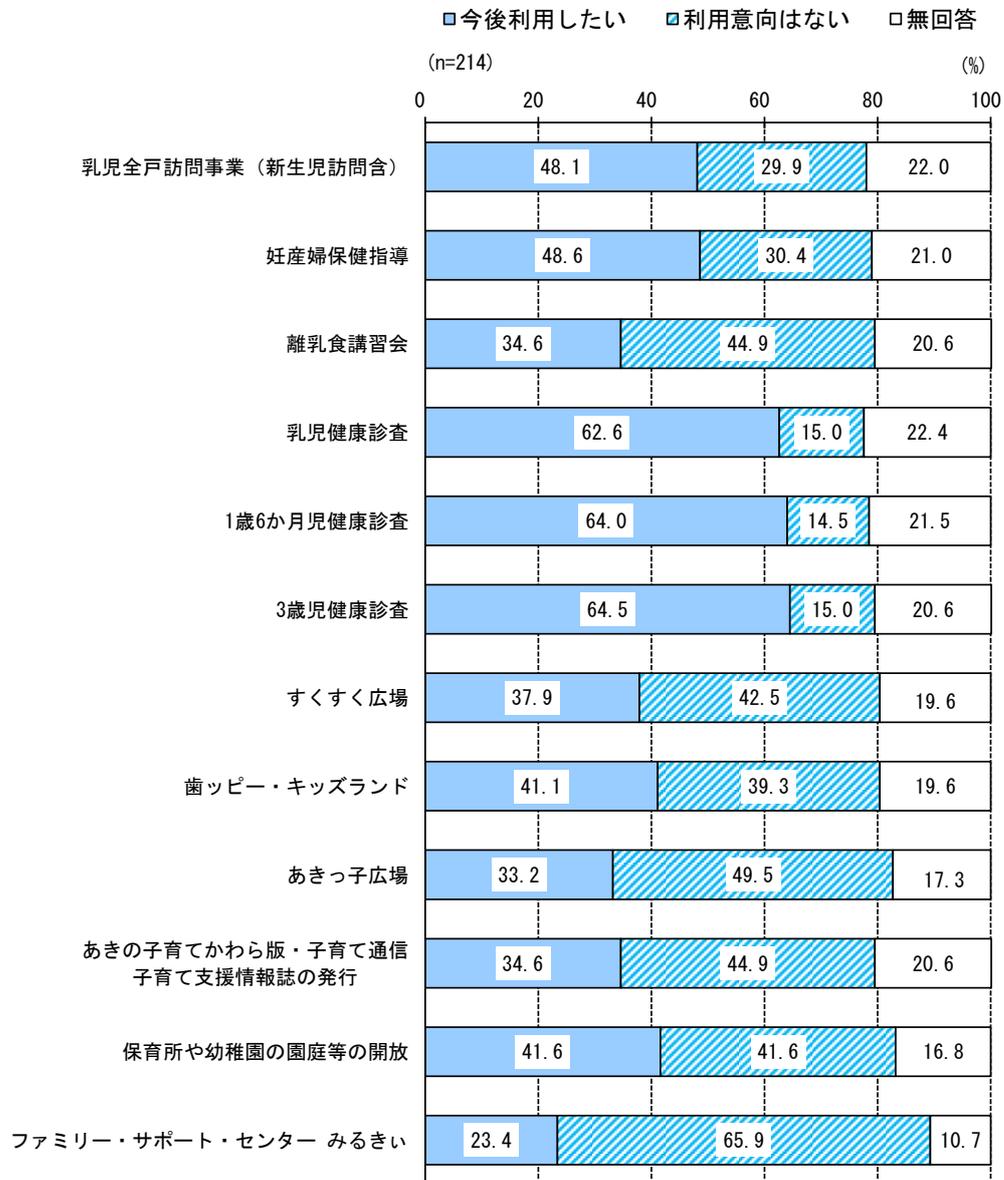


C. 事業の利用意向

【全体】

- 今後利用したいと思っている人の割合が最も多いのは「3歳児健康診査」で64.5%、次いで、「1歳6か月児健康診査」が64.0%、「乳児健康診査」が62.6%となっています。

【各事業の今後の利用意向】



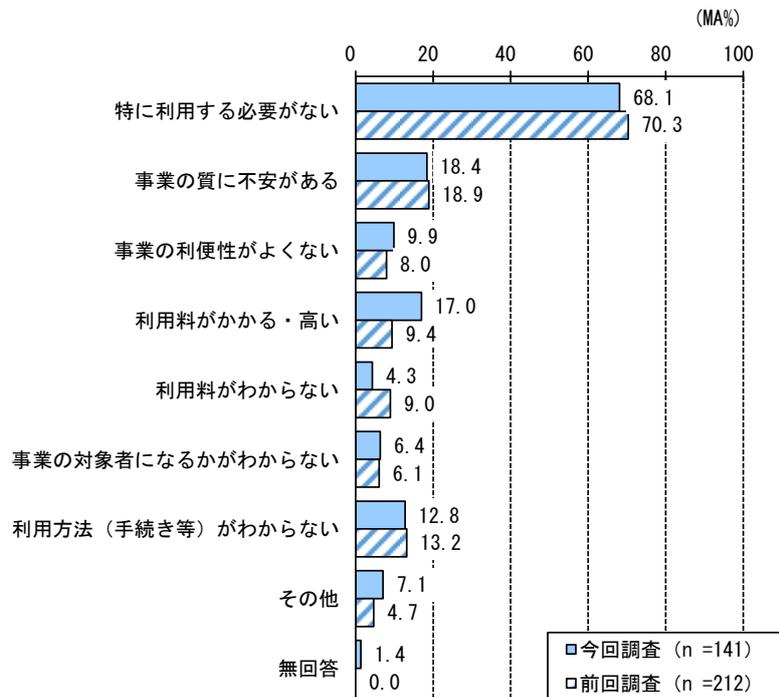
(問29で「C. 今後利用したい」で、「⑫ファミリー・サポート・センターみるきい」について「いいえ」と答えた方のみ回答。)

問29-1 利用したいと思わない理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 利用したくない理由について、「特に利用する必要がない」が 68.1%で最も多く、次いで「事業の質に不安がある」が 18.4%、「利用料がかかる・高い」が 17.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用料がかかる・高い」が 7.6ポイント上昇しています。

【利用したくない理由 (MA)】



10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

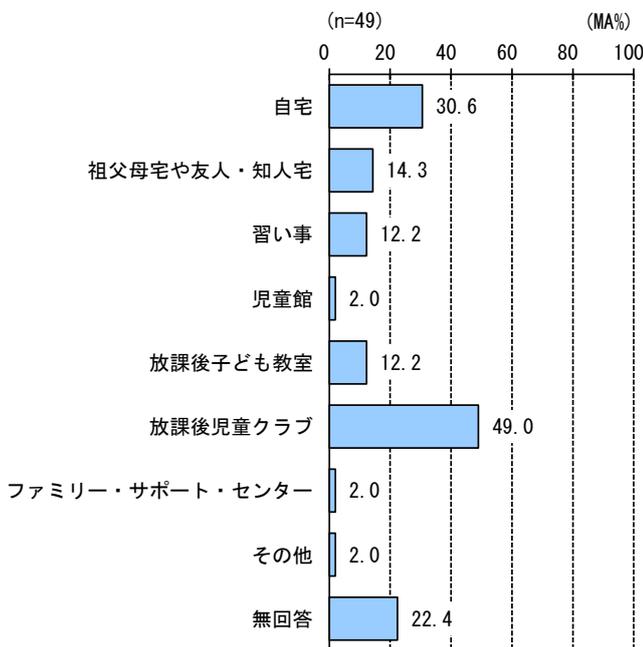
問30 あて名のお子さんについて、(1) 小学校低学年(1～3年生)、(2) 小学校高学年(4～6年生)の時に、①放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたい場所と、②利用したい日数(週あたり)をすべてご記入ください。

①放課後過ごさせたい場所

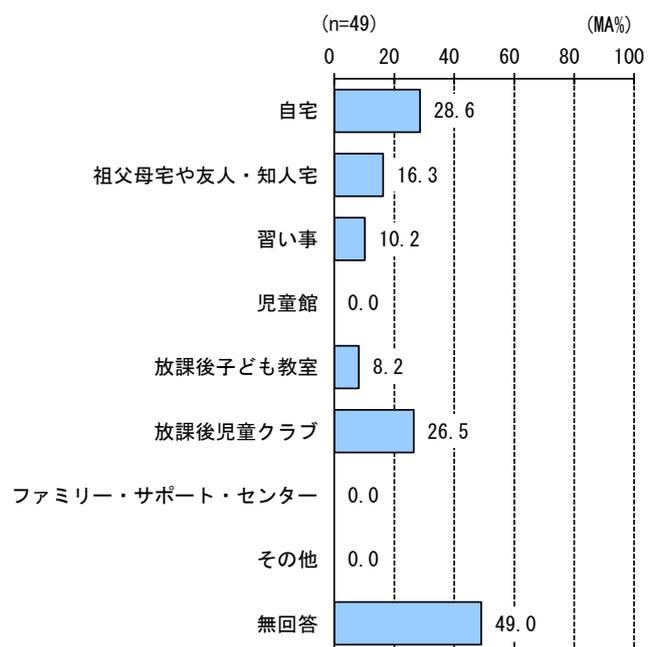
【全体】

- 小学校低学年の放課後の過ごし方について、「放課後児童クラブ」が49.0%で最も多く、次いで「自宅」が30.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」が14.3%となっています。
- 小学校高学年の放課後の過ごし方について、「自宅」が28.6%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が26.5%、「祖父母宅や友人・知人宅」が16.3%となっています。

【小学校低学年の放課後の過ごし方(MA)】



【小学校高学年の放課後の過ごし方(MA)】

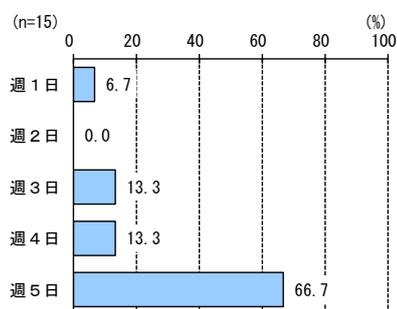


②. 1 小学校低学年のそれぞれの過ごし方の日数（週あたり）

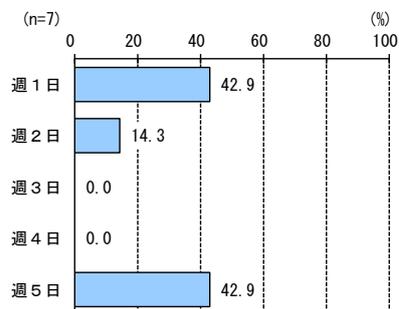
【全体】

- 小学校低学年のそれぞれの過ごし方の日数（週あたり）についての回答結果は以下の通りとなっています。

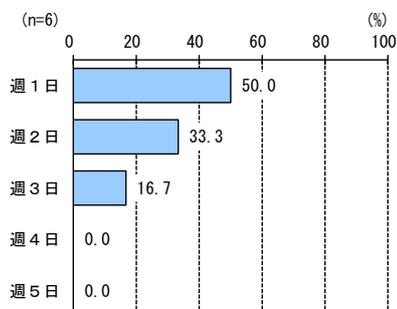
【自宅の日数】



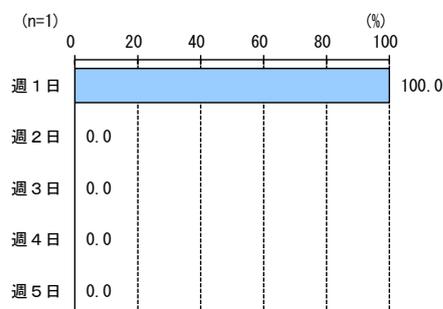
【祖父母宅や友人・知人宅の日数】



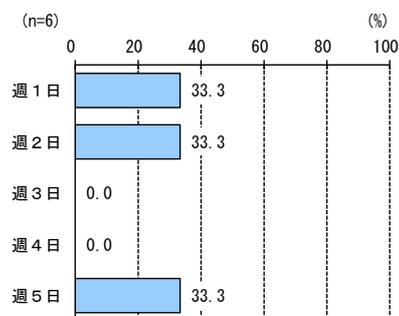
【習い事の日数】



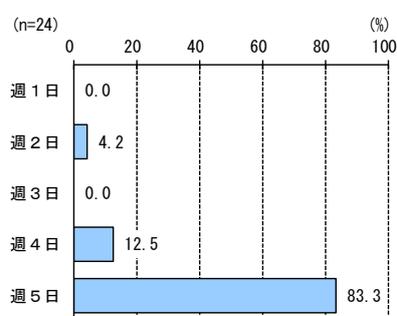
【児童館の日数】



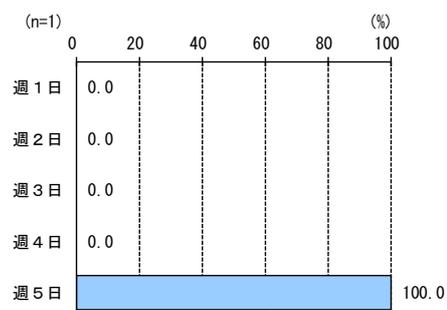
【放課後子ども教室の日数】



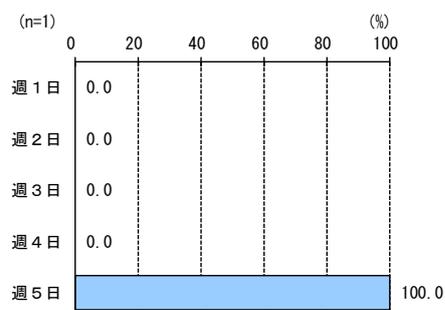
【放課後児童クラブの日数】



【ファミリー・サポート・センターの日数】



【その他の日数】

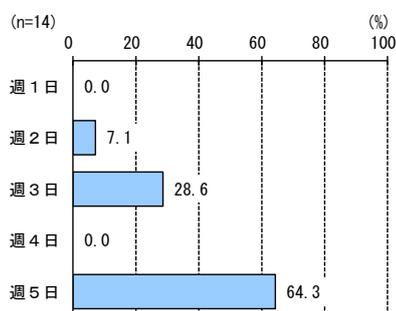


②. 2 小学校高学年のそれぞれの過ごし方の日数（週あたり）

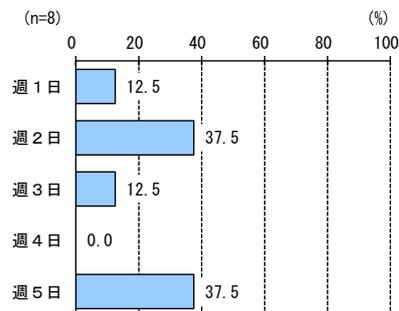
【全体】

- 小学校高学年のそれぞれの過ごし方の日数（週あたり）についての回答結果は以下の通りとなっています。

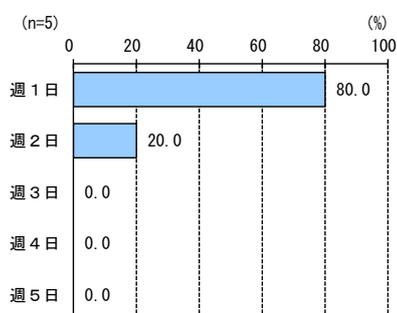
【自宅の日数】



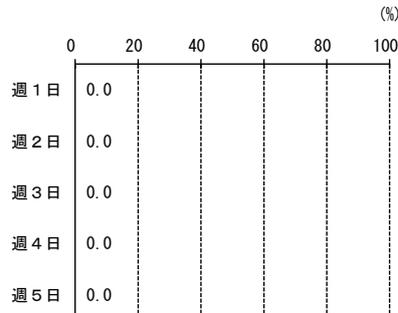
【祖父母宅や友人・知人宅の日数】



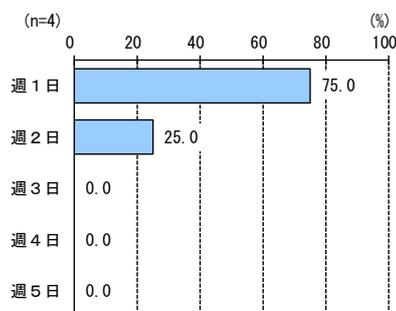
【習い事の日数】



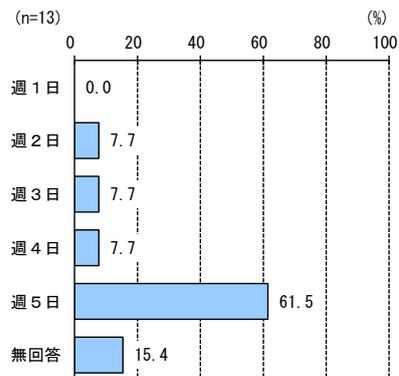
【児童館の日数】



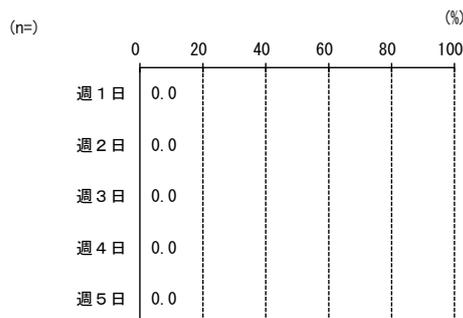
【放課後子ども教室の日数】



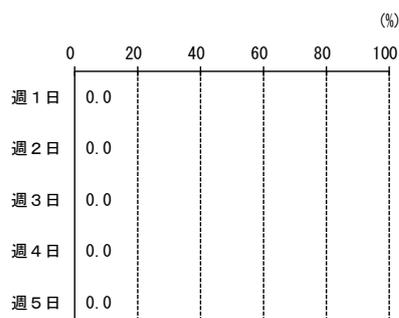
【放課後児童クラブの日数】



【ファミリー・サポート・センターの日数】



【その他の日数】



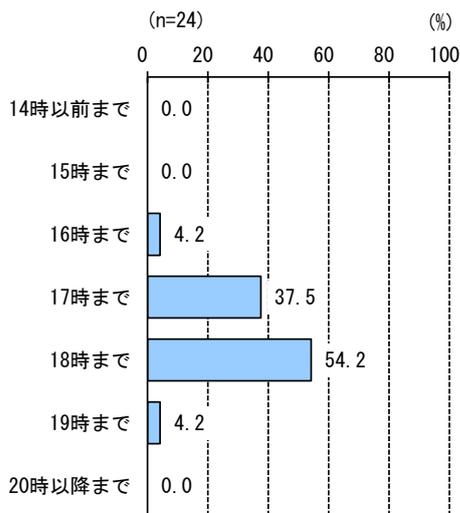
(問30で、「放課後児童クラブ(学童保育)」と答えた方のみ回答。)

問30-1 放課後児童クラブを利用したい時間帯をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

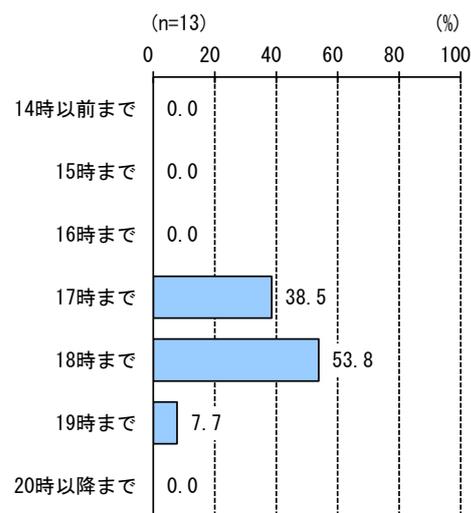
【全体】

- 小学校低学年の利用希望時間について、「18時まで」が54.2%で最も多く、次いで「17時まで」が37.5%、「16時まで」「19時まで」が4.2%となっています。
- 小学校高学年の利用希望時間について、「18時まで」が53.8%で最も多く、次いで「17時まで」が38.5%、「19時まで」が7.7%となっています。

【小学校低学年の利用希望時間】



【小学校高学年の利用希望時間】



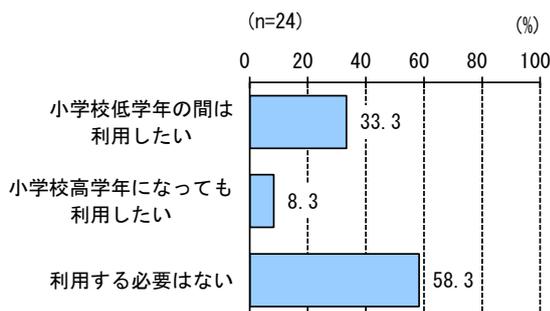
(問30で、「放課後児童クラブ(学童保育)」と答えた方のみ回答。)

問31 あて名のお子さんについて、(1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日に、放課後児童クラブを利用したいですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

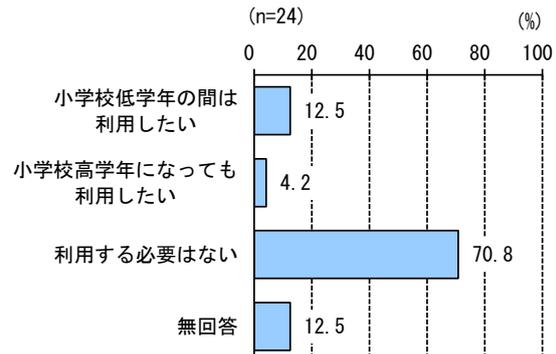
【全体】

- 土曜日の放課後児童クラブ利用意向について、「利用する必要はない」が58.3%で最も多く、次いで「小学校低学年の間は利用したい」が33.3%、「小学校高学年になっても利用したい」が8.3%となっています。
- 日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用意向について、「利用する必要はない」が70.8%で最も多く、次いで「小学校低学年の間は利用したい」が12.5%、「小学校高学年になっても利用したい」が4.2%となっています。

【土曜日の放課後児童クラブ利用意向】



【日曜日・祝日の放課後児童クラブ利用意向】



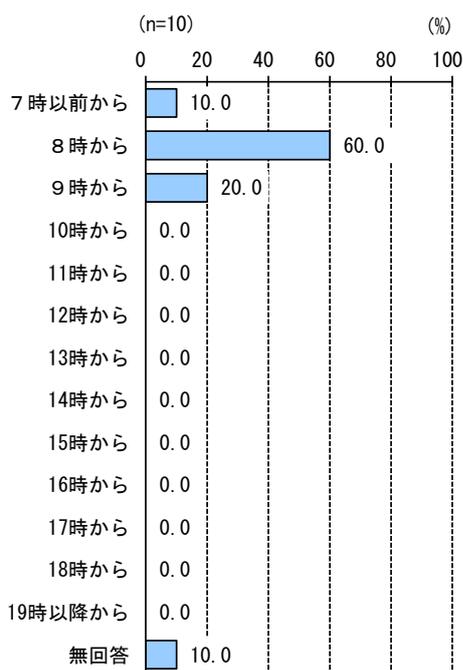
(問31で、「小学校低学年の間は利用したい」「小学校高学年になっても利用したい」と答えた方のみ回答。)

問31-1 (1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日に、放課後児童クラブを利用したい時間帯をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

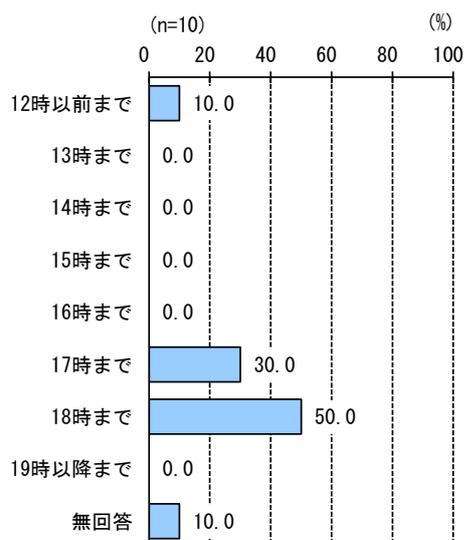
【全体】

○ 土曜日、日曜日・祝日に、放課後児童クラブを利用したい時間帯についての回答結果は以下の通りとなっています。

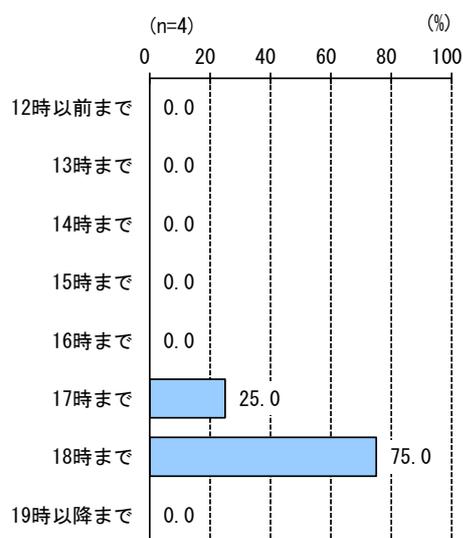
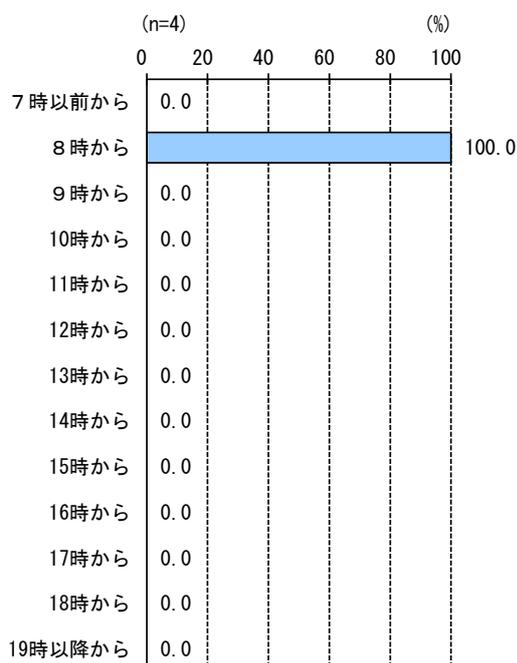
【土曜日の放課後児童クラブ希望開始時間】



【土曜日の放課後児童クラブ希望終了時間】



【日曜日・祝日の放課後児童クラブ希望開始時間】 **【日曜日・祝日の放課後児童クラブ希望終了時間】**

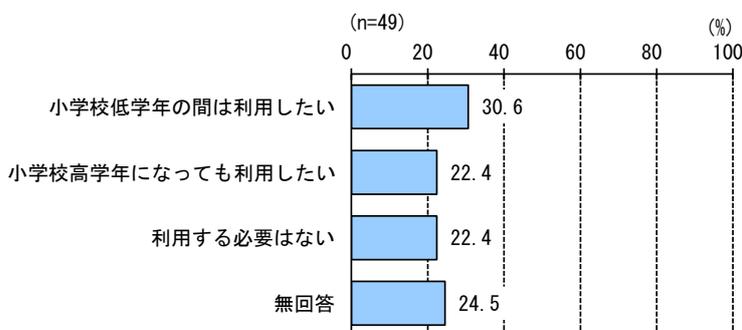


問32 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したいですか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用意向について、「小学校低学年の間は利用したい」が30.6%で最も多く、次いで「小学校高学年になっても利用したい」「利用する必要はない」が22.4%となっています。

【長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用意向】



(問32で、「小学校低学年の間は利用したい」「小学校高学年になっても利用したい」と答えた方のみ回答。)

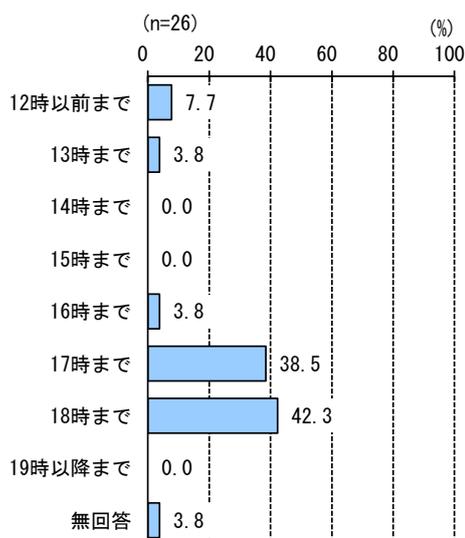
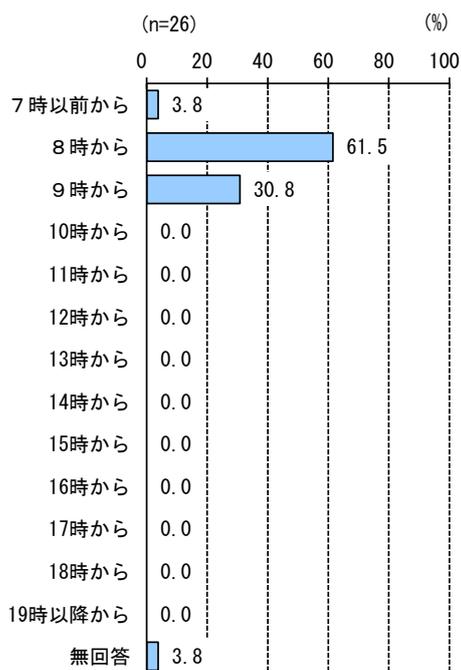
問32-1 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したい時間帯をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

【全体】

- 長期の休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したい時間帯についての回答結果は以下の通りとなっています。

【長期休暇期間中の放課後児童クラブ希望開始時間】

【希望終了時間】



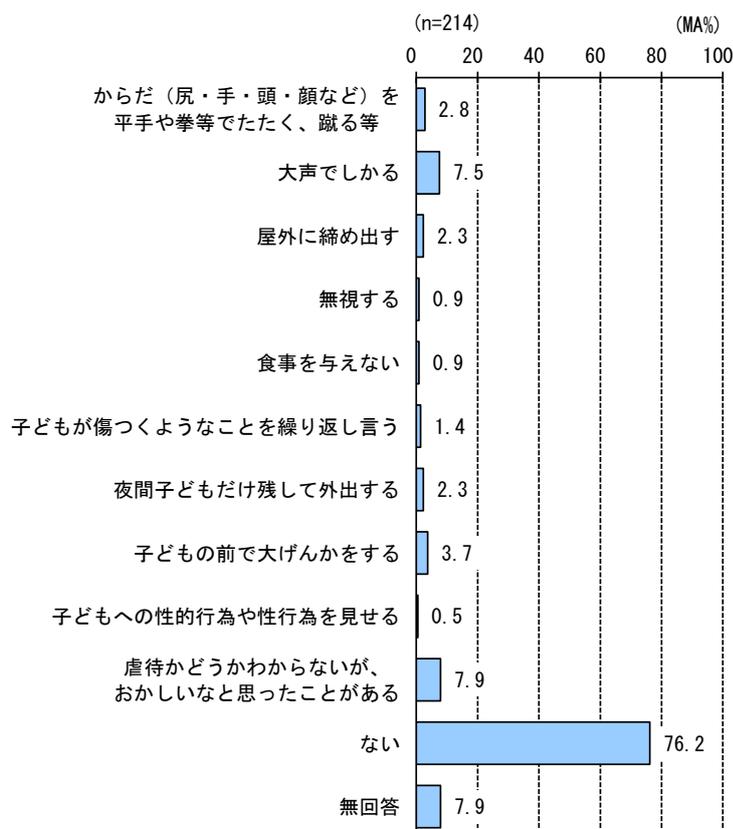
11. 児童の虐待について

問33 マスメディア等で、児童の虐待について取り上げられていますが、あなたの身近なところで、次のような児童の虐待にあたる行為を見たり聞いたりしたことがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

- 児童の虐待にあたる行為の見聞きについて、「ない」が76.2%で最も多くなっていますが、「ある」方の中では、「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」が7.9%、「大声でしかる」が7.5%となっています。

【児童の虐待にあたる行為の見聞き (MA)】



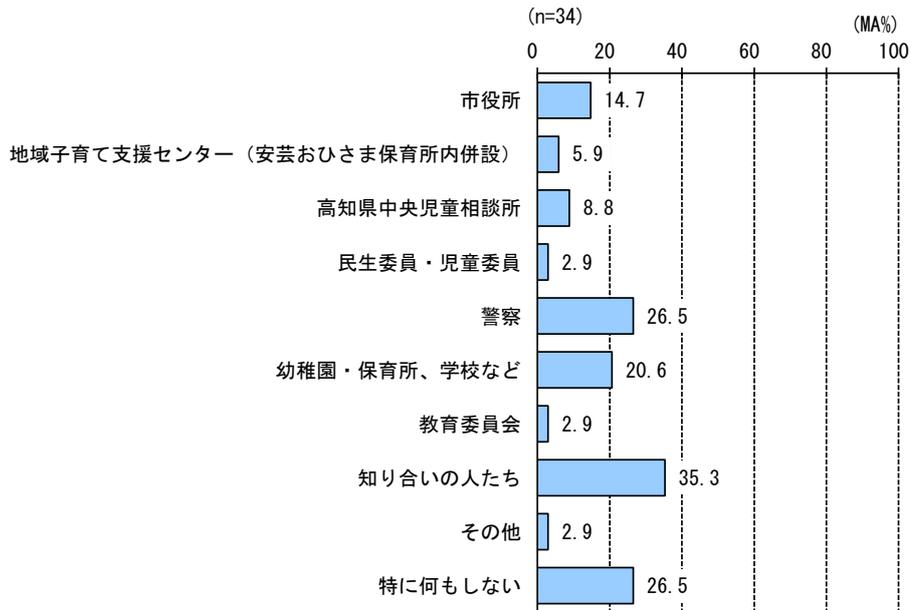
(問33で、「1」～「10」と答えた方のみ回答。)

問33-1 そのような場面を発見した時、どのような機関等に連絡をしますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 虐待発見時の連絡先について、「知り合いの人たち」が35.3%で最も多く、次いで「警察」「特に何もしない」が26.5%、「幼稚園・保育所、学校など」が20.6%となっています。

【虐待発見時の連絡先(MA)】

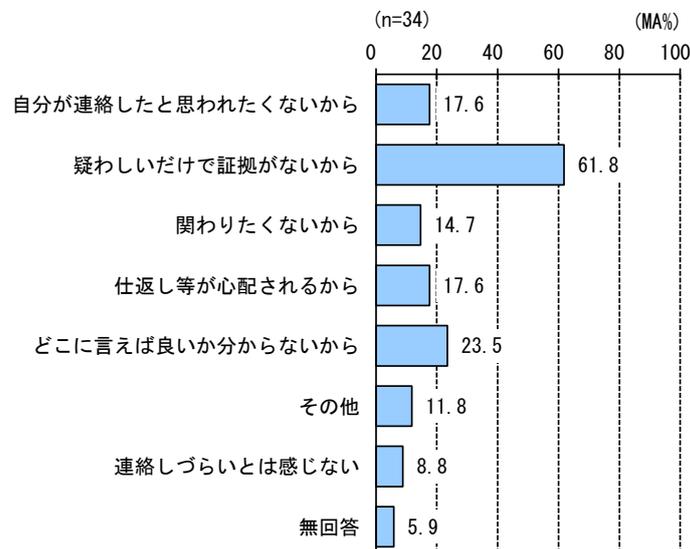


問33-2 そのような場面を発見した時、関係機関に連絡しづらいと感じるのは、どんな時ですか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 連絡しづらいと感じるときについて、「疑わしいだけで証拠がないから」が61.8%で最も多く、次いで「どこに言えば良いか分からないから」が23.5%、「自分が連絡したと思われたくないから」「仕返し等が心配されるから」が17.6%となっています。

【連絡しづらいと感じるとき(MA)】



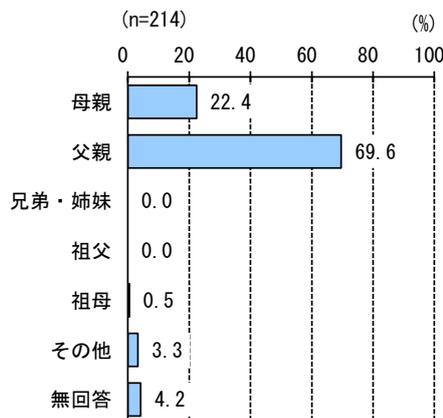
12. 生活状況や家計などについて

問34 主に家計を支えている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 主に家計を支えている方について、「父親」が69.6%で最も多く、次いで「母親」が22.4%、「祖母」が0.5%となっています。

【主に家計を支えている方】

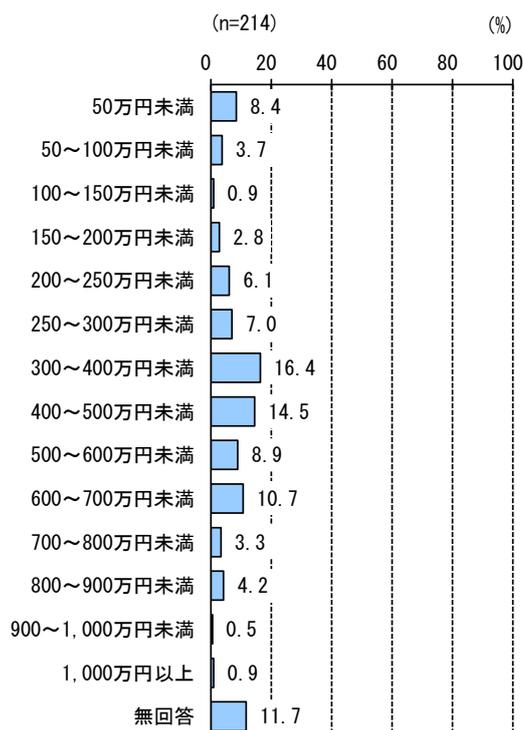


問35 同居しているご家族全員の収入（税金と社会保険料等を差し引いた残りの所得）を合わせた「世帯の収入（自由に使える手取り額）」のおおよその額はいくらですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 世帯収入の合計について、「300～400万円未満」が16.4%で最も多く、次いで「400～500万円未満」が14.5%、「600～700万円未満」が10.7%となっています。

【世帯収入の合計】

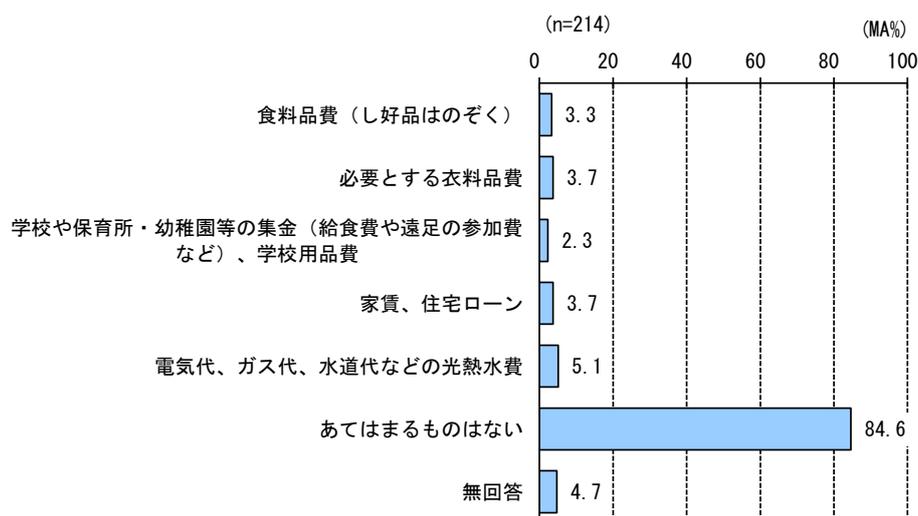


問36 過去1年間で、必要なものが買えなかったことや、支払いが遅れたり、支払いできなかったものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

○ 過去1年間の支払い状況について、「あてはまるものはない」が84.6%で最も多く、次いで「電気代、ガス代、水道代などの光熱水費」が5.1%、「必要とする衣料品費」「家賃、住宅ローン」が3.7%となっています。

【過去1年間の支払い状況(MA)】



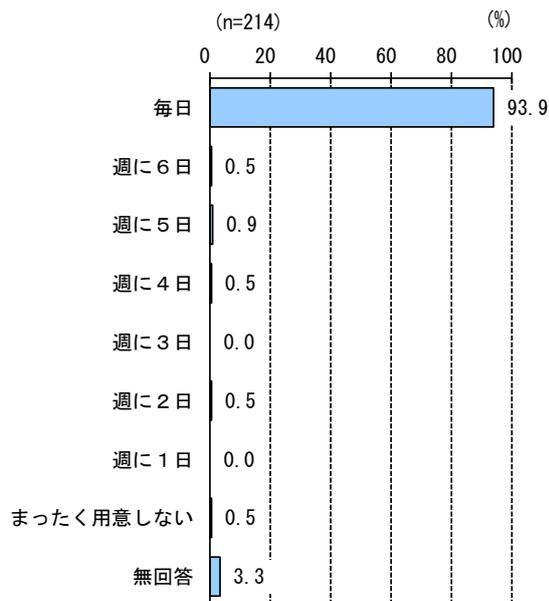
13. 子育て全般について

問37 あなたの家庭では、1週間にどれくらい、お子さんに（1）朝ごはんや（2）晩ごはんを用意しますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

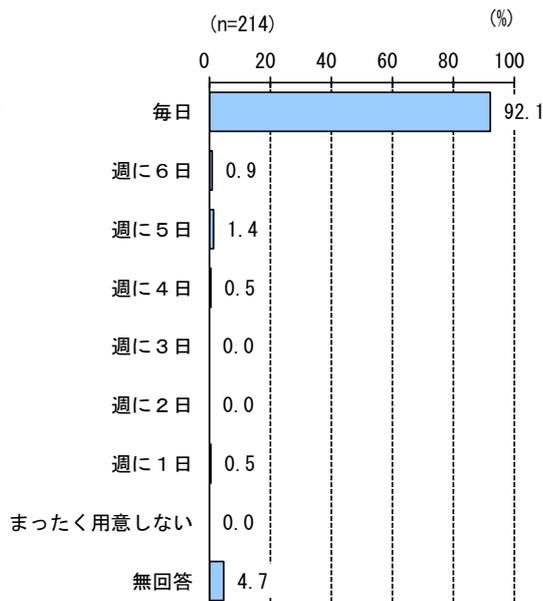
【全体】

- 朝ごはんの用意について、「毎日」が93.9%で最も多く、次いで「週に5日」が0.9%、「週に6日」「週に4日」「週に2日」「まったく用意しない」が0.5%となっています。
- 晩ごはんの用意について、「毎日」が92.1%で最も多く、次いで「週に5日」が1.4%、「週に6日」が0.9%となっています。

【朝ごはんの用意】



【晩ごはんの用意】

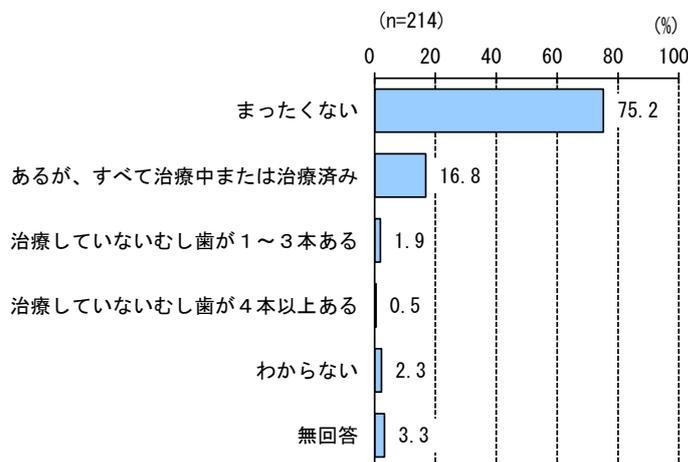


問38 お子さんはむし歯がありますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- むし歯の有無について、「まったくない」が75.2%で最も多く、次いで「あるが、すべて治療中または治療済み」が16.8%、「わからない」が2.3%となっています。

【むし歯の有無】

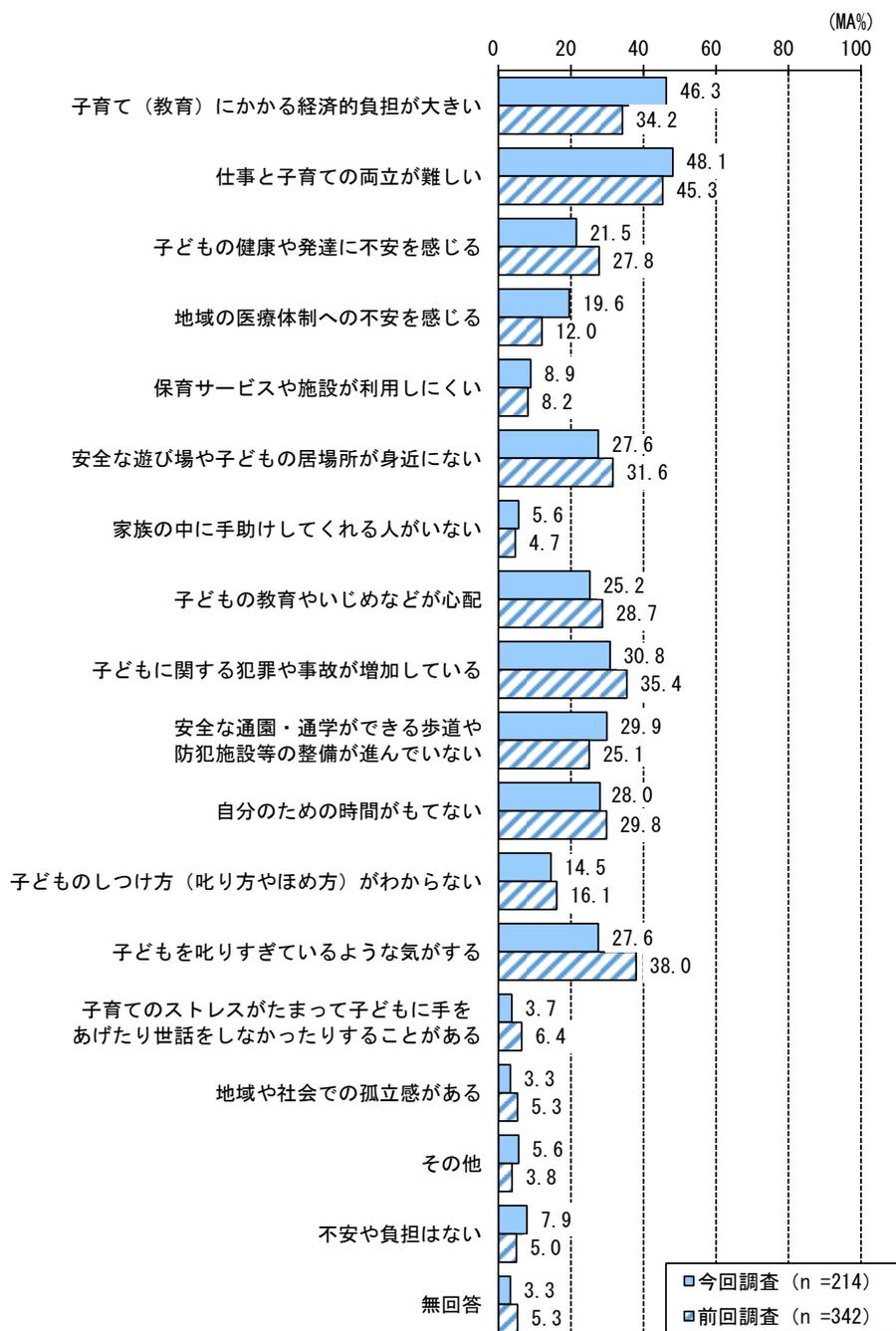


問39 子育てをするうえで、日常どのような不安や負担を感じますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 子育て上での不安や負担について、「仕事と子育ての両立が難しい」が48.1%で最も多く、次いで「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きい」が46.3%、「子どもに関する犯罪や事故が増加している」が30.8%となっています。
- 前回調査と比較すると、「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きい」が12.1ポイント上昇しており、その他にも「仕事と子育ての両立が難しい」「地域の医療体制への不安を感じる」「保育サービスや施設が利用しにくい」「安全な通園・通学ができる歩道や防犯施設等の整備が進んでいない」が前回調査より上昇しています。

【子育て上での不安や負担(MA)】

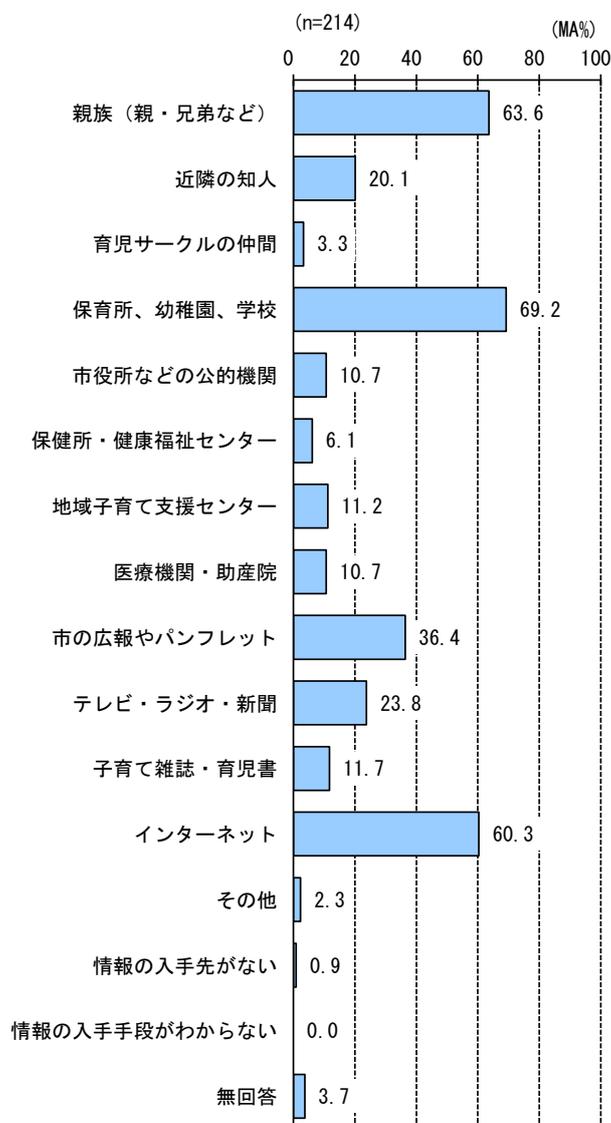


問40 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

○ 子育てに関する情報の入手先について、「保育所、幼稚園、学校」が 69.2%で最も多く、次いで「親族（親・兄弟など）」が 63.6%、「インターネット」が 60.3%となっています。

【子育てに関する情報の入手先(MA)】

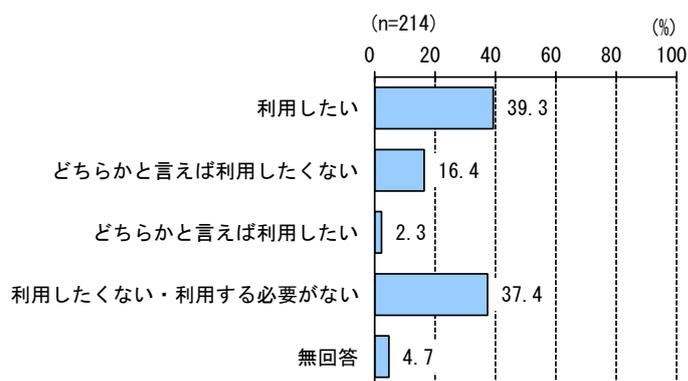


問41 令和6年度から国が施行導入する「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向について、「利用したい」が39.3%で最も多く、次いで「利用したくない・利用する必要がない」が37.4%、「どちらかと言えば利用したくない」が16.4%、「どちらかと言えば利用したい」が2.3%、「無回答」が4.7%となっています。

【こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向】



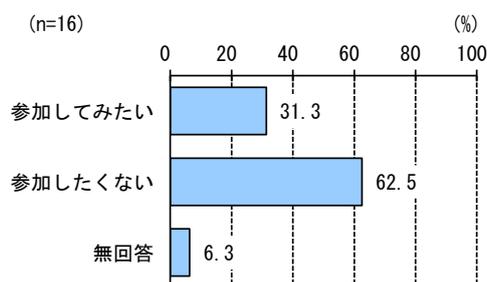
（問42は父親のみ回答。）

問42 よりよく子育てをしていくための父親同士の集まりがあれば参加してみたいですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 父親同士の集まりへの参加意向について、「参加してみたい」が31.3%、「参加したくない」が62.5%となっています。

【父親同士の集まりへの参加意向】

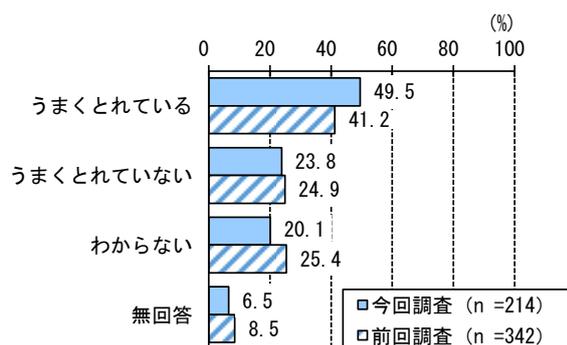


問43 ご家庭では、仕事と仕事以外の生活（家事、子育て、介護、趣味や人づきあいなど）との調和（バランス）がうまくとれていると思いますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

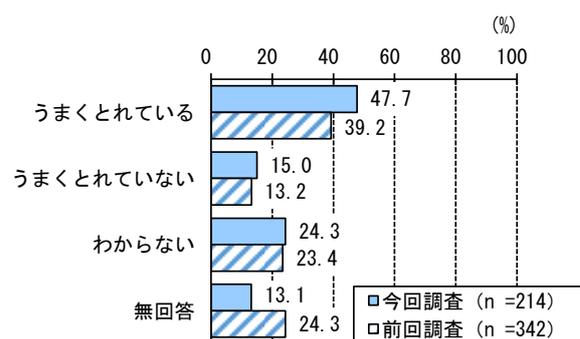
【全体】

- 仕事と生活の調和（母親）について、「うまくとれている」が49.5%で最も多く、次いで「うまくとれていない」が23.8%、「わからない」が20.1%となっています。
- 仕事と生活の調和（父親）について、「うまくとれている」が47.7%で最も多く、次いで「わからない」が24.3%、「うまくとれていない」が15.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、母親、父親ともに「うまくとれている」が8ポイント程度上昇しています。

【仕事と生活の調和（母親）】



【仕事と生活の調和（父親）】

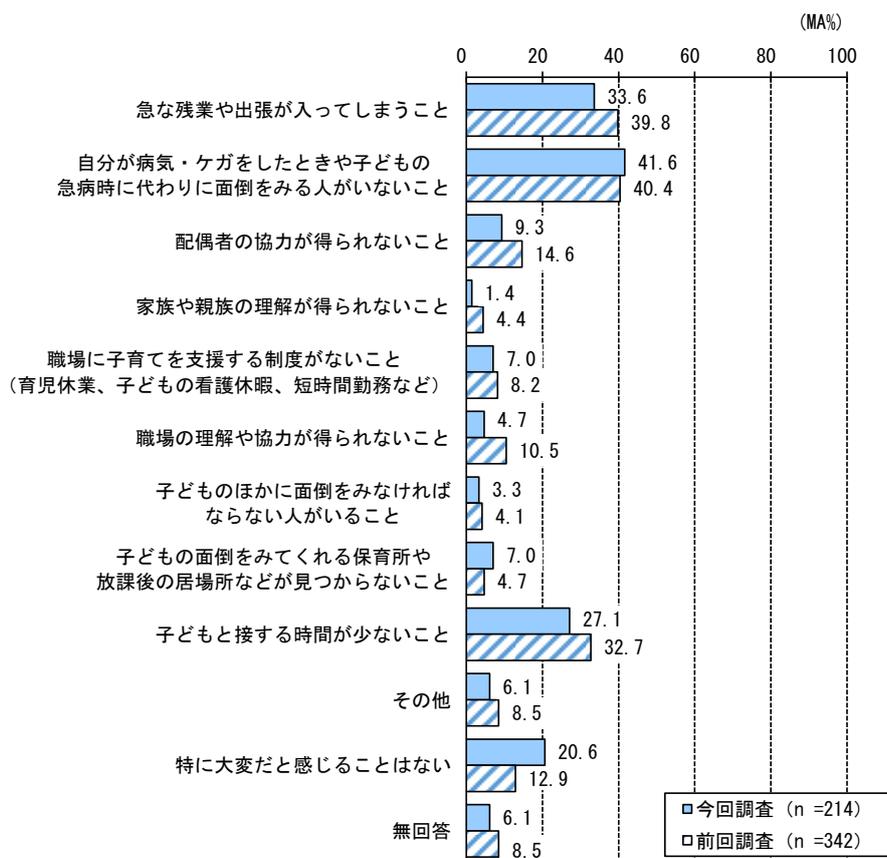


問44 仕事と子育てを両立させる上で、大変だと感じることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 仕事と子育ての両立で大変なことについて、「自分が病気・ケガをしたときや子どもの急病時に代わりに面倒をみる人がいないこと」が41.6%で最も多く、次いで「急な残業や出張が入ってしまうこと」が33.6%、「子どもと接する時間が少ないこと」が27.1%となっています。
- 前回調査と比較すると、「急な残業や出張が入ってしまうこと」「配偶者の協力が得られないこと」「職場の理解や協力が得られないこと」「子どもと接する時間が少ないこと」がそれぞれ5ポイント以上低下し、「特に大変だと感じることはない」が7.7ポイント上昇しています。
- 一方で「自分が病気・ケガをしたときや子どもの急病時に代わりに面倒をみる人がいないこと」「子どもの面倒をみてくれる保育所や放課後の居場所などが見つからないこと」が僅かながら上昇しています。

【仕事と子育ての両立で大変なこと (MA)】

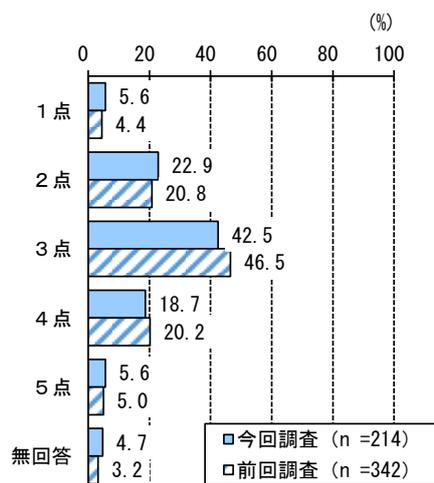


問45 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- お住まいの地域の満足度（1点＝低い～5点＝高い）について、「3点」が42.5%で最も多く、次いで「2点」が22.9%、「4点」が18.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、大きな差はみられませんが、「1点」「2点」「5点」がそれぞれ僅かに上昇しています。

【お住まいの地域の満足度】



小学生児童調査

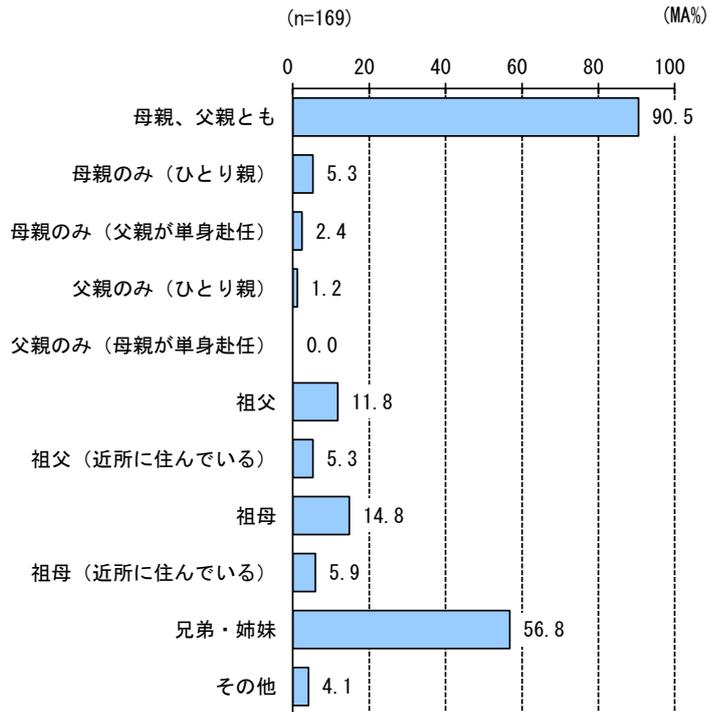
1. あて名のお子さんご家族の状況について

問5 あて名のお子さんと一緒に住んでいる方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

○ 子どもの同居者について、「母親、父親とも」が90.5%で最も多く、次いで「兄弟・姉妹」が56.8%、「祖母」が14.8%となっています。

【子どもの同居者 (MA)】



問7 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

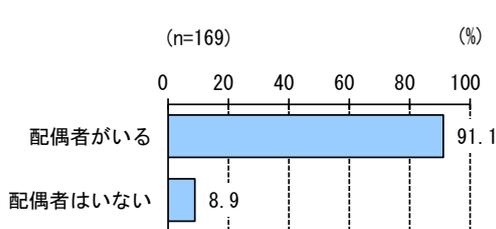
【全体】

○ 配偶関係について、「配偶者がいる」が91.1%、「配偶者がいない」が8.9%となっています。

【子どもの学年】

○ 「配偶者がいる」は2年生が97.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【配偶関係】



		母数 (n)	配偶関係	
			配 い 偶 る 者 が	配 い な い 者 は
全体		169	91.1	8.9
子どもの 学年	1年生	46	87.0	13.0
	2年生	48	97.9	2.1
	3年生	75	89.3	10.7

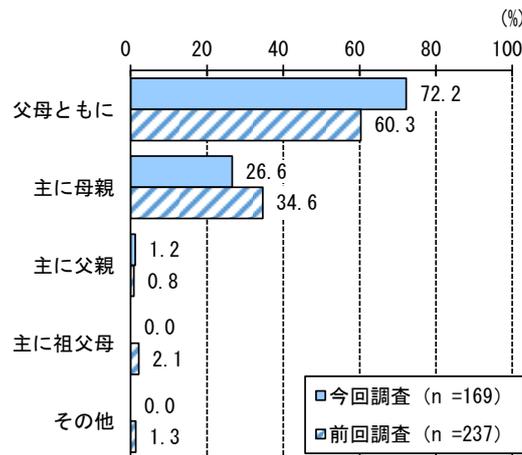
2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 主に子育てを行っている人について、「父母ともに」が72.2%で最も多く、次いで「主に母親」が26.6%、「主に父親」が1.2%となっています。
- 前回調査と比較すると、「父母ともに」が11.9ポイント上昇し、「主に母親」が8ポイント低下しています。

【主に子育てを行っている人】

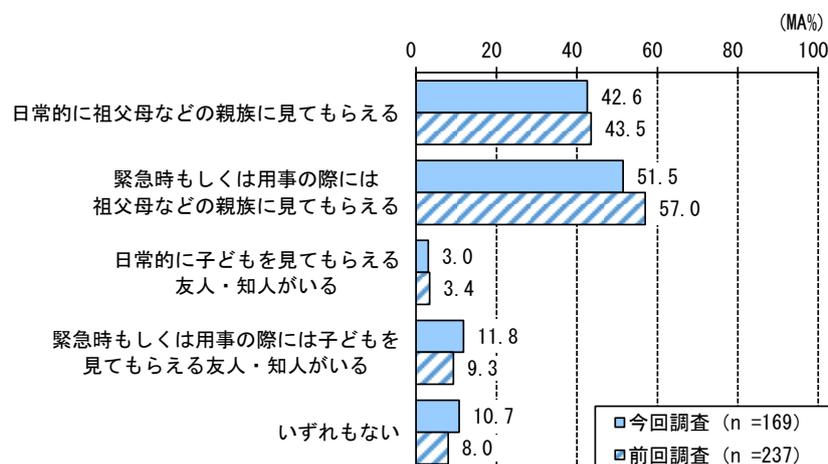


問9 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

- 子どもを見てもらえる親族・知人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に見てもらえる」が51.5%で最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族に見てもらえる」が42.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が11.8%となっています。
- 前回調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に見てもらえる」が5.5ポイント低下しています。

【子どもを見てもらえる親族・知人(MA)】

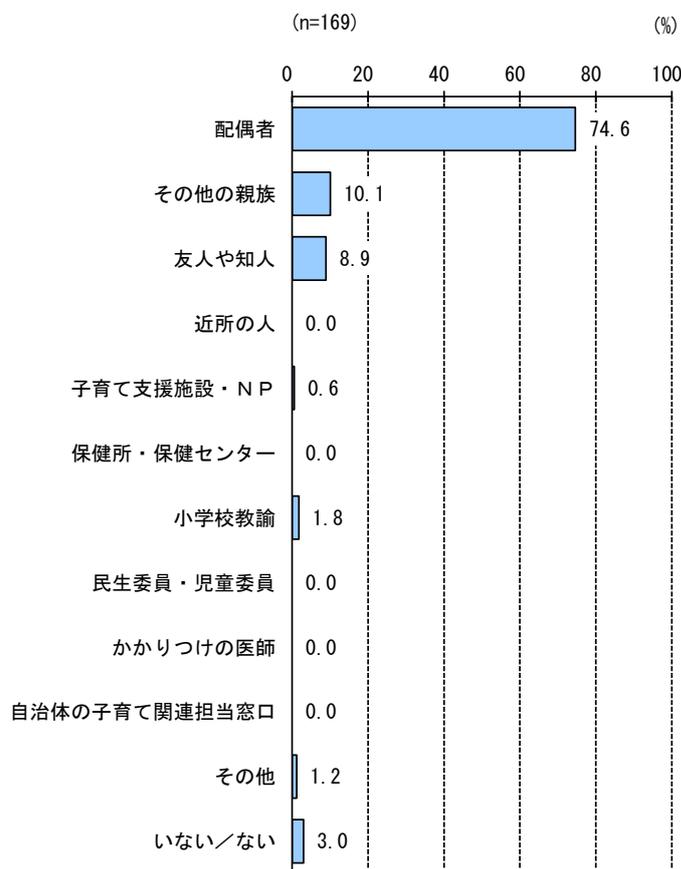


問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる先（人・場所など）はありますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 子育ての相談先について、「配偶者」が74.6%で最も多く、次いで「その他の親族」が10.1%、「友人や知人」が8.9%となっています。

【子育ての相談先】



3. あて名のお子さんの保護者の就労状況について

問11 現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をご記入ください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

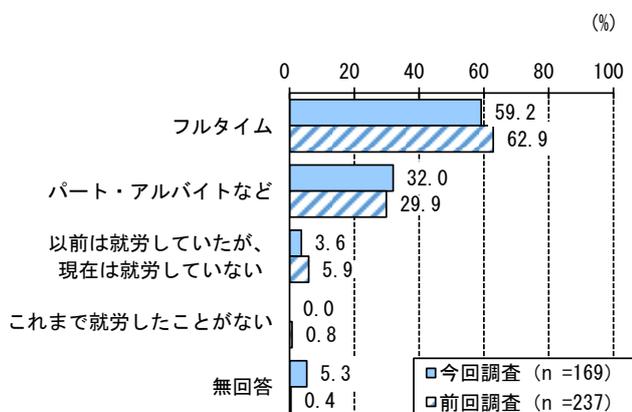
【全体】

- 母親の現在の就労状況について、「フルタイム」が 59.2%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」が 32.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 3.6%となっています。
- 父親の現在の就労状況について、「フルタイム」が 88.2%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 0.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「フルタイム」は母親ではが 3.7ポイント低下し、父親では 7.2ポイント上昇しています。

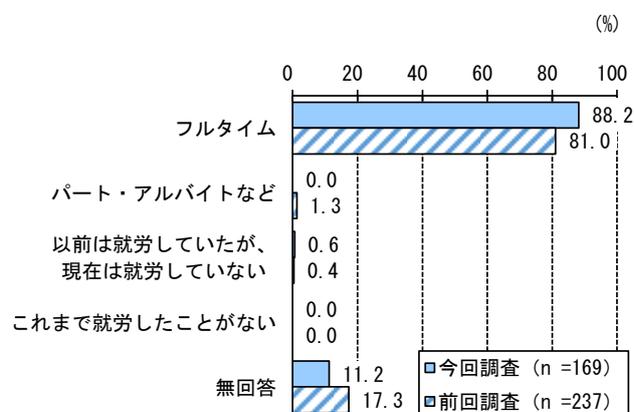
【子どもの学年】

- 母親、父親ともに「フルタイム」は2年生で75.0%と最も多くなっています。

【現在の就労状況（母親）】



【現在の就労状況（父親）】



単位：%

単位：%

	母数 (n)	現在の就労状況（母親）					現在の就労状況（父親）					
		フルタイム	パート・アルバイトなど	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	フルタイム	パート・アルバイトなど	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	
全体	169	59.2	32.0	3.6	-	5.3	169	88.2	-	0.6	-	11.2
子どもの学年	1年生	46	65.2	30.4	-	4.3	46	87.0	-	-	-	13.0
	2年生	48	△ 75.0	▼ 20.8	-	4.2	48	93.8	-	-	-	6.3
	3年生	75	▼ 45.3	40.0	8.0	-	75	85.3	-	1.3	-	13.3

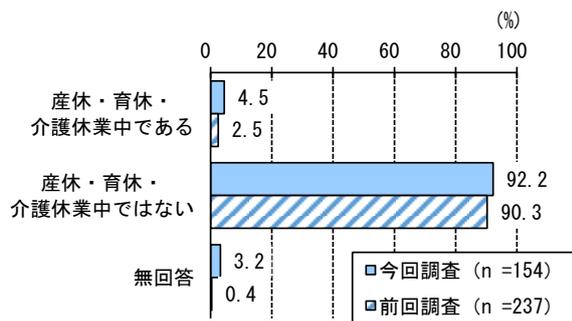
(問11で「フルタイム」「パート・アルバイトなど」と答えた方のみ回答。)

問11-1 就労している方は、現在、産休・育休・介護休業中ですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

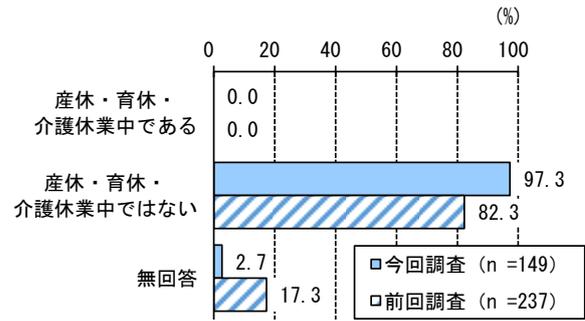
【全体】

- 母親の休業状況について、「産休・育休・介護休業中である」が 4.5%、「産休・育休・介護休業中ではない」が 92.2%となっています。
- 父親の休業状況について、「産休・育休・介護休業中ではない」が 97.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、父親では「産休・育休・介護休業中ではない」が 15 ポイント上昇しています。

【休業状況（母親）】



【休業状況（父親）】



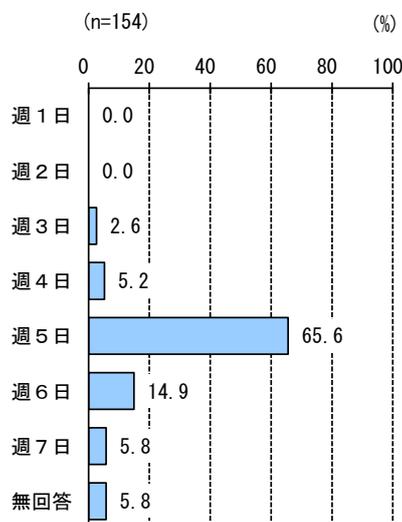
問11-2 ①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、③家を出る時間、④帰宅時間をすべてご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

①1週あたりの「就労日数」

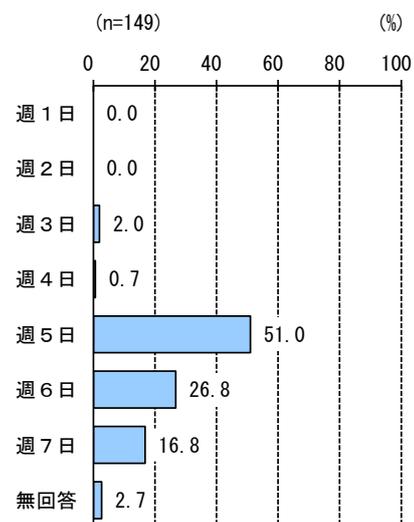
【全体】

- 就労日数（母親）について、「週5日」が 65.6%で最も多く、次いで「週6日」が 14.9%、「週7日」が 5.8%となっています。
- 就労日数（父親）について、「週5日」が 51.0%で最も多く、次いで「週6日」が 26.8%、「週7日」が 16.8%となっています。

【就労日数（母親）】



【就労日数（父親）】



② 1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」

【全体】

- 母親の就労時間について、「8時間」が46.8%で最も多く、次いで「7時間」が13.6%、「6時間」が8.4%となっています。
- 父親の就労時間について、「8時間」が57.0%で最も多く、次いで「10時間以上」が22.1%、「9時間」が14.8%となっています。

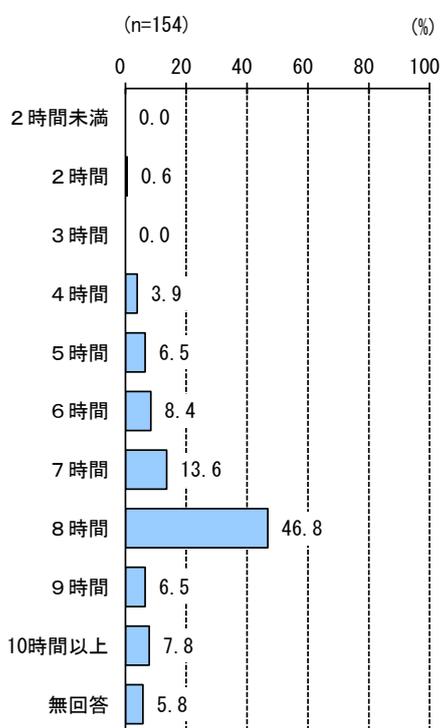
【就労状況（母親）】

- フルタイム（休業中含む）では、「8時間」が68.0%で最も多く、次いで「10時間以上」が11.0%、「9時間」が10.0%、パート・アルバイト等（休業中含む）では、「6時間」「7時間」が22.2%で最も多く、次いで「5時間」が18.5%、「4時間」が11.1%となっています。

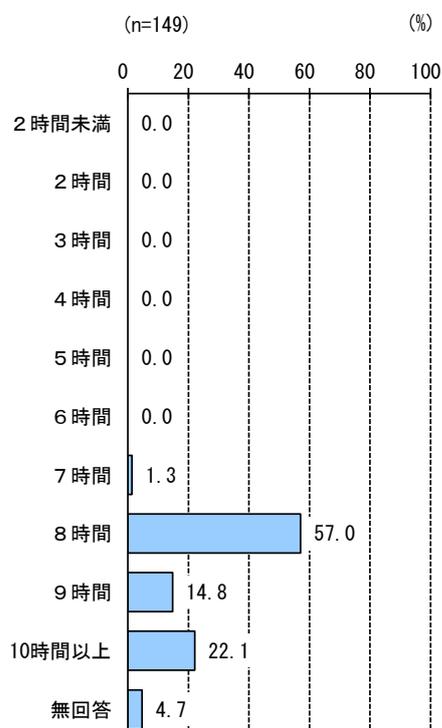
【就労状況（父親）】

- フルタイム（休業中含む）では、「8時間」が57.0%で最も多く、次いで「10時間以上」が22.1%、「9時間」が14.8%となっています。

【就労時間（母親）】



【就労時間（父親）】



単位：%

		母数 (n)	就労時間（母親）										
			2時間未満	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間以上	無回答
全体		154	-	0.6	-	3.9	6.5	8.4	13.6	46.8	6.5	7.8	5.8
就労状況（母親）	フルタイム（休業中含む）	100	-	-	-	-	1.0	9.0	△ 68.0	10.0	11.0	1.0	
	パート・アルバイト等（休業中含む）	54	-	1.9	-	11.1	△ 18.5	△ 22.2	22.2	▼ 7.4	-	1.9	14.8

単位：%

		母数 (n)	就労時間（父親）										
			2時間未満	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間以上	無回答
全体		149	-	-	-	-	-	-	1.3	57.0	14.8	22.1	4.7
就労状況（父親）	フルタイム（休業中含む）	149	-	-	-	-	-	-	1.3	57.0	14.8	22.1	4.7
	パート・アルバイト等（休業中含む）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

③家を出る時間

【全体】

- 母親の家を出る時間について、「8時」が59.7%で最も多く、次いで「7時」が19.5%、「9時」が13.6%となっています。
- 父親の家を出る時間について、「7時」が42.3%で最も多く、次いで「8時」が30.9%、「6時」が13.4%となっています。

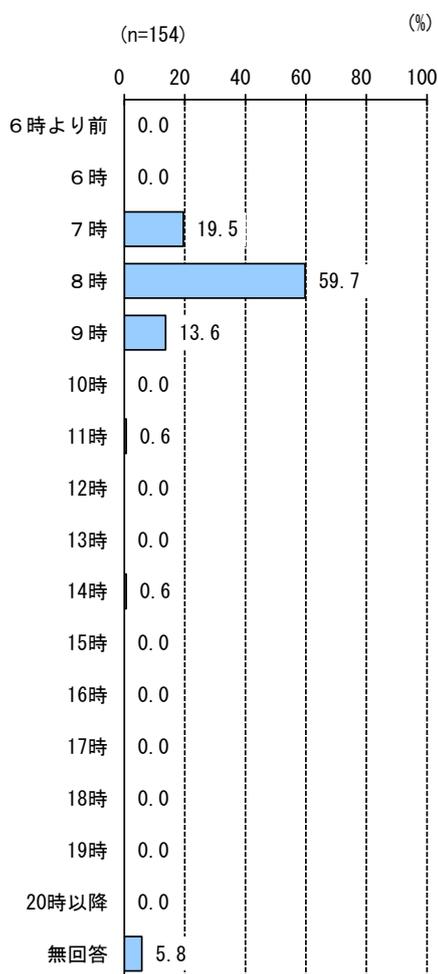
【就労状況（母親）】

- フルタイム（休業中含む）では、「8時」が64.0%で最も多く、次いで「7時」が22.0%、「9時」が13.0%、パート・アルバイト等（休業中含む）では、「8時」が51.9%で最も多く、次いで「7時」「9時」が14.8%、「11時」「14時」が1.9%となっています。

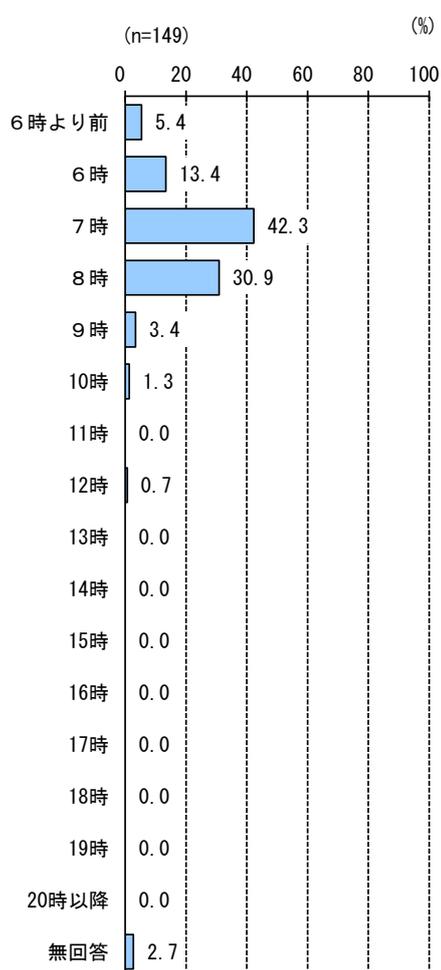
【就労状況（父親）】

- フルタイム（休業中含む）では、「7時」が42.3%で最も多く、次いで「8時」が30.9%、「6時」が13.4%となっています。

【家を出る時間（母親）】



【家を出る時間（父親）】



単位：％

		母数 (n)	家を出る時間（母親）								
			6時 より 前	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時
全体		154	-	-	19.5	59.7	13.6	-	0.6	-	-
就労状況 (母親)	フルタイム (休業中含む)	100	-	-	22.0	64.0	13.0	-	-	-	-
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	54	-	-	14.8	51.9	14.8	-	1.9	-	-

単位：％

		母数 (n)	家を出る時間（母親）							無 回 答
			14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時 以 降	
全体		154	0.6	-	-	-	-	-	-	5.8
就労状況 (母親)	フルタイム (休業中含む)	100	-	-	-	-	-	-	-	1.0
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	54	1.9	-	-	-	-	-	-	14.8

単位：％

		母数 (n)	家を出る時間（父親）								
			6時 より 前	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時
全体		149	5.4	13.4	42.3	30.9	3.4	1.3	-	0.7	-
就労状況 (父親)	フルタイム (休業中含む)	149	5.4	13.4	42.3	30.9	3.4	1.3	-	0.7	-
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

単位：％

		母数 (n)	家を出る時間（父親）							無 回 答
			14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時 以 降	
全体		149	-	-	-	-	-	-	-	2.7
就労状況 (父親)	フルタイム (休業中含む)	149	-	-	-	-	-	-	-	2.7
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

④ 帰宅時間

【全体】

- 母親の帰宅時間について、「18時」が37.0%で最も多く、次いで「17時」が26.0%、「16時」が11.0%となっています。
- 父親の帰宅時間について、「18時」が40.9%で最も多く、次いで「17時」が20.1%、「19時」が16.8%となっています。

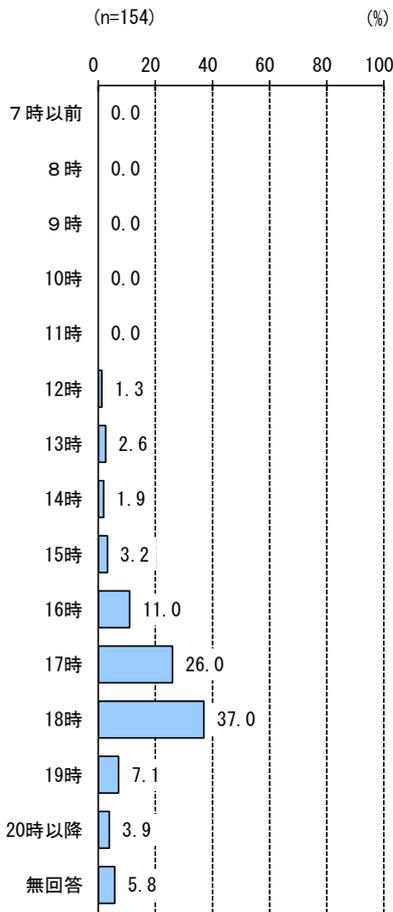
【就労状況（母親）】

- フルタイム（休業中含む）では、「18時」が53.0%で最も多く、パート・アルバイト等（休業中含む）では、「17時」が25.9%で最も多くなっています。

【就労状況（父親）】

- フルタイム（休業中含む）では、「18時」が40.9%で最も多く、次いで「17時」が20.1%、「19時」が16.8%となっています。

【帰宅時間（母親）】



【帰宅時間（父親）】



単位：%

		母数 (n)	帰宅時間（母親）														
			7時以前	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	無回答
全体		154	-	-	-	-	-	1.3	2.6	1.9	3.2	11.0	26.0	37.0	7.1	3.9	5.8
就労状況（母親）	フルタイム（休業中含む）	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	26.0	53.0	11.0	5.0	1.0
	パート・アルバイト等（休業中含む）	54	-	-	-	-	-	3.7	7.4	5.6	9.3	24.1	25.9	7.4	-	1.9	14.8

単位：%

		母数 (n)	帰宅時間（父親）														
			7時以前	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時以降	無回答
全体		149	-	0.7	-	-	-	-	-	0.7	0.7	2.0	20.1	40.9	16.8	13.4	4.7
就労状況（父親）	フルタイム（休業中含む）	149	-	0.7	-	-	-	-	-	0.7	0.7	2.0	20.1	40.9	16.8	13.4	4.7
	パート・アルバイト等（休業中含む）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(問11で「パート・アルバイトなど」と答えた方のみ回答。)

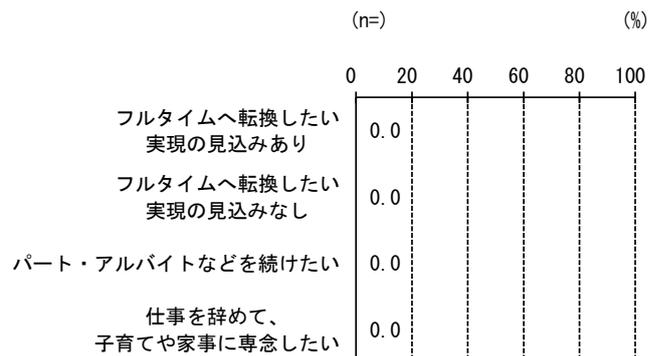
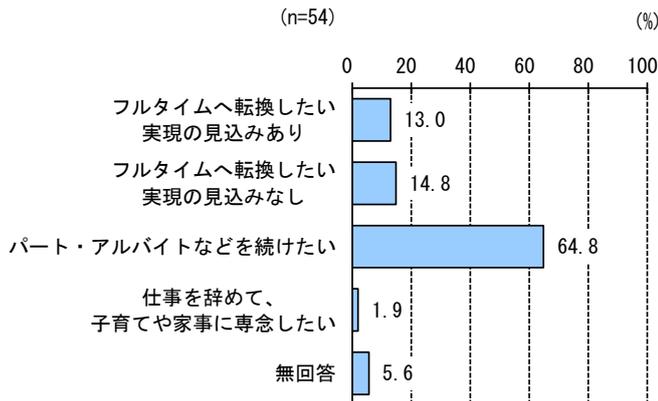
問11-3 パート・アルバイトなどからフルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 母親のフルタイムへの転換希望について、「パート・アルバイトなどを続けたい」が 64.8%で最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい、実現の見込みなし」が 14.8%、「フルタイムへ転換したい、実現の見込みあり」が 13.0%となっています。
- 父親のフルタイムへの転換希望については該当者がいませんでした。

【フルタイムへの転換希望（母親）】

【フルタイムへの転換希望（父親）】



(問11で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と答えた方のみ回答。)

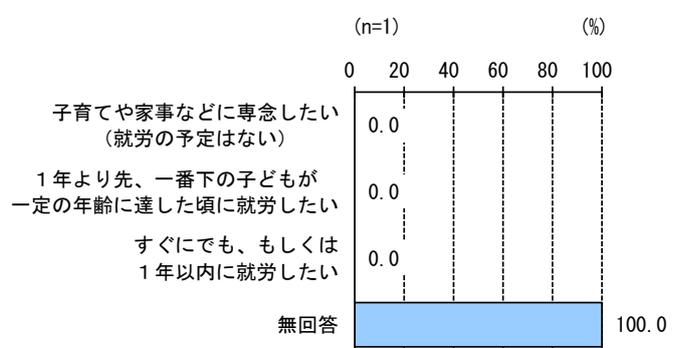
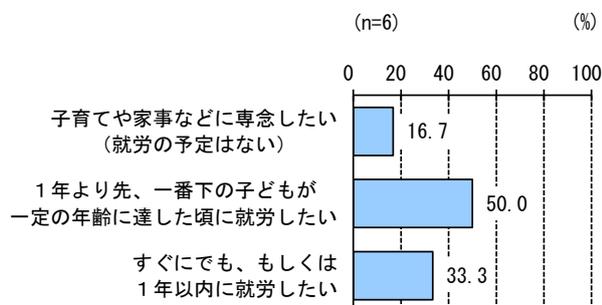
問12 就労したいという希望はありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 母親の就労希望について、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」が 50.0%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 33.3%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 16.7%となっています。
- 父親の就労希望について、無回答のみでした。

【就労希望（母親）】

【就労希望（父親）】



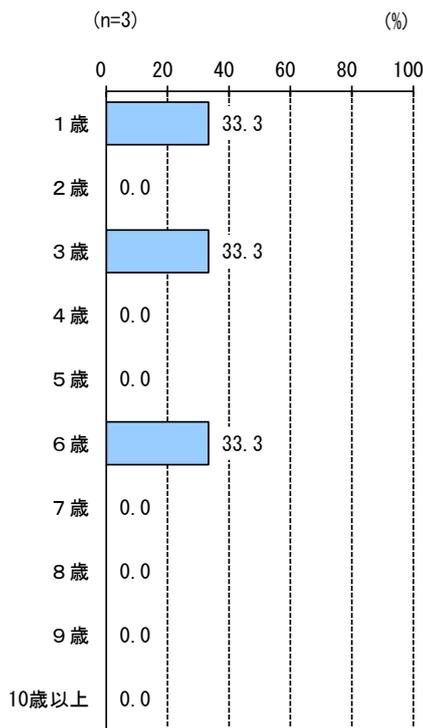
(問12で「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」と答えた方のみ回答。)

問12-1 一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいですか。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字)

【全体】

- 母親の就労したい子どもの年齢について、「1歳」「3歳」「6歳」がそれぞれ1人となっています。
- 父親の就労したい子どもの年齢については該当者がいませんでした。

【就労したい子どもの年齢（母親）】



【就労したい子どもの年齢（父親）】



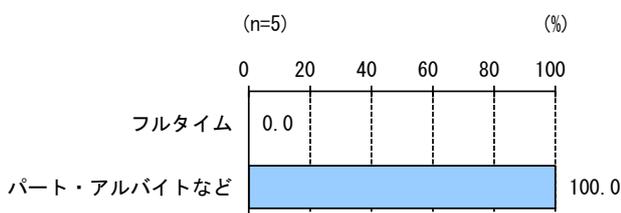
(問12で「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた方のみ回答。)

問12-2 希望する就労形態はどれですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 母親の希望する就労形態について、「パート・アルバイトなど」が100.0%となっています。
- 父親の希望する就労形態については該当者がいませんでした。

【希望する就労形態（母親）】



【希望する就労形態（父親）】

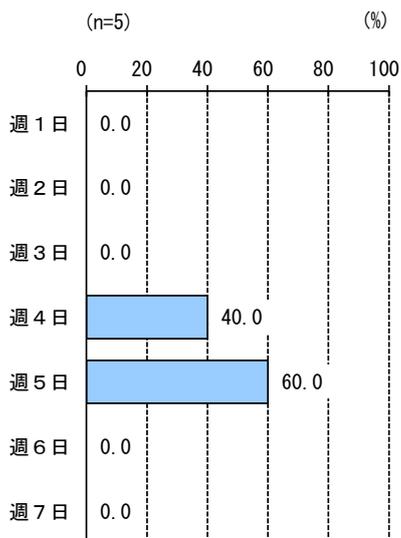


問12-3 希望する就労形態について、①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間」をすべてご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

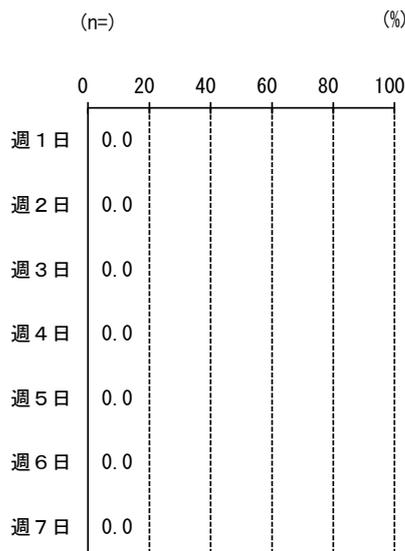
【全体】

- 母親の希望の就労日数について、「週5日」が60.0%で最も多く、次いで「週4日」が40.0%となっています。
- 母親の希望の就労時間について、「5時間」が60.0%で最も多く、次いで「4時間」「7時間」が20.0%となっています。

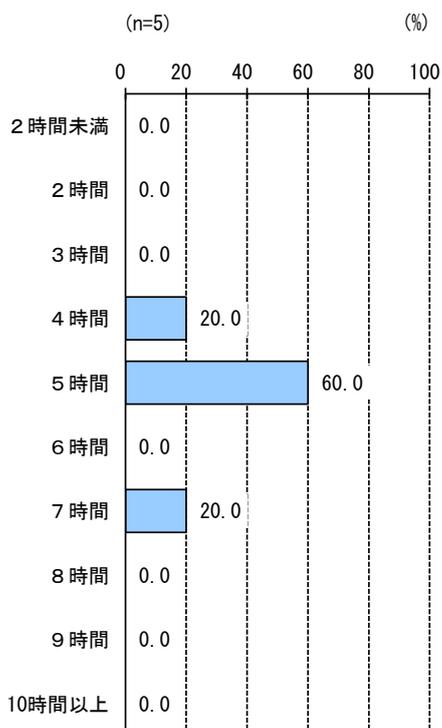
【希望の就労日数（母親）】



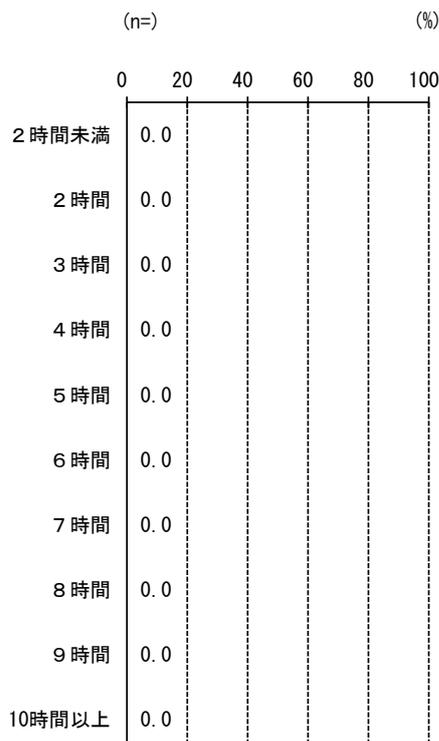
【希望の就労日数（父親）】



【希望の就労時間（母親）】



【希望の就労時間（父親）】



4. 病気の際の対応について

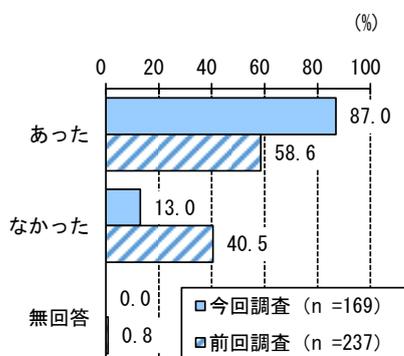
問13 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、通学できなかったことはありますか。
 病気やケガで、通学できなかった時に、①実際に取った対処法と、②対処した際の日数
 (年間)をすべてご記入ください。

①対処法

【全体】

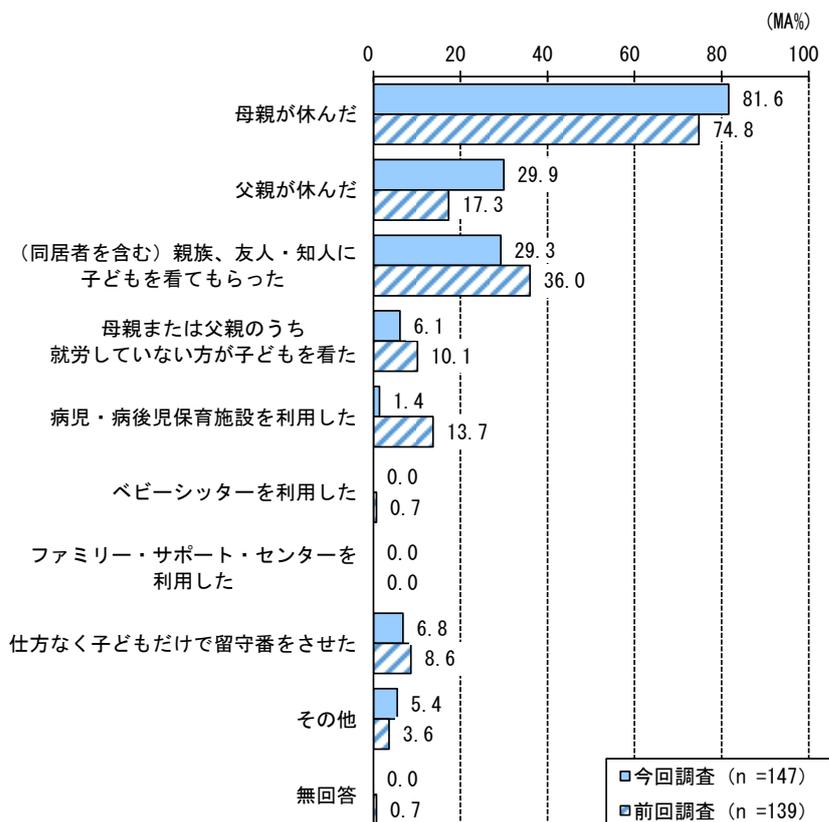
- 病気等で通学できなかったことについて、「あった」が 87.0%、「なかった」が 13.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「あった」が 28.4 ポイント上昇しています。
- 対処法について、「母親が休んだ」が 81.6%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が 29.9%、「(同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもを看てもらった」が 29.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「父親が休んだ」が 12.6 ポイント上昇し、「病児・病後児保育施設を利用した」が 12.3 ポイント低下しています。

【病気等で通学できなかったこと】



子どもの学年	母数 (n)	病気等で通学できなかったこと	
		あった	なかった
全体	169	87.0	13.0
1年生	46	93.5	6.5
2年生	48	83.3	16.7
3年生	75	85.3	14.7

【対処法 (MA)】

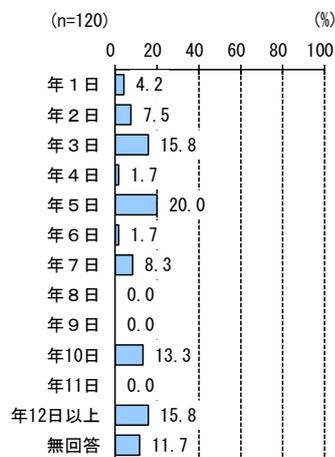


② 対処した日数（年間）

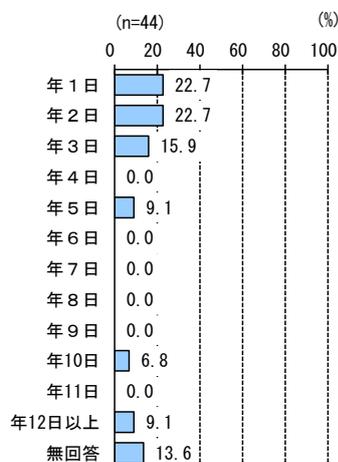
【全体】

○ それぞれ、対処した日数（年間）は下記の通りとなります。

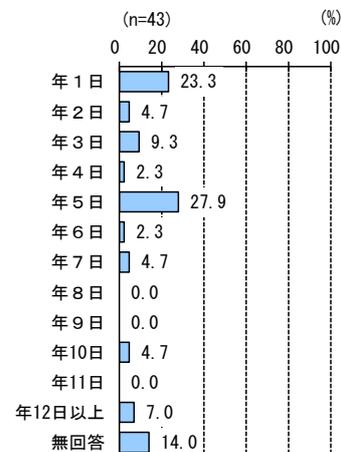
【母親が休んだ】



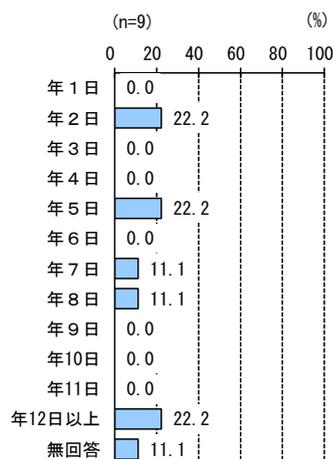
【父親が休んだ】



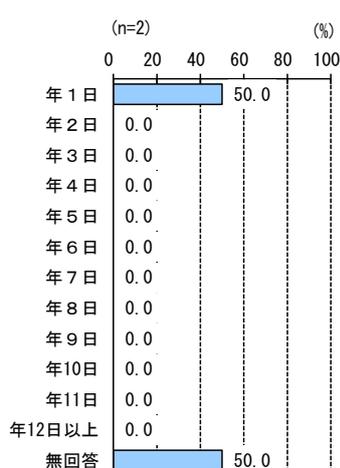
【(同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもをみてもらった】



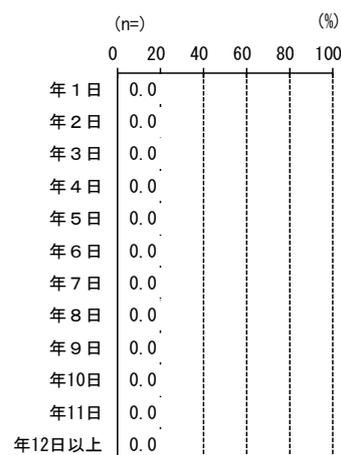
【母親又は父親のうち 就労していない方が子どもをみた】



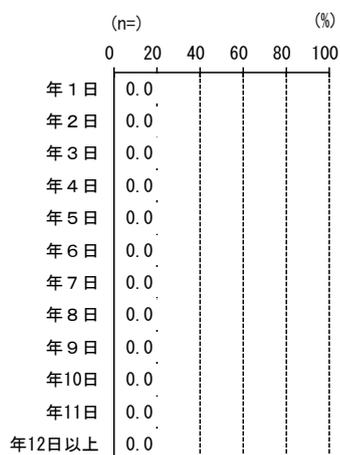
【病児・病後児保育 施設を利用した】



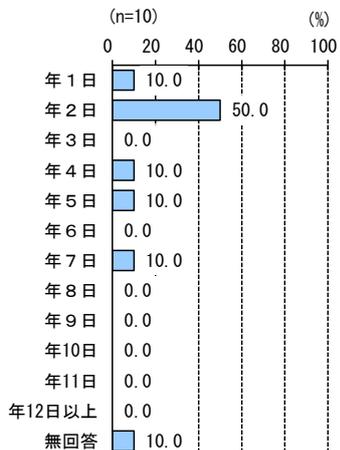
【ベビーシッターを利用した】



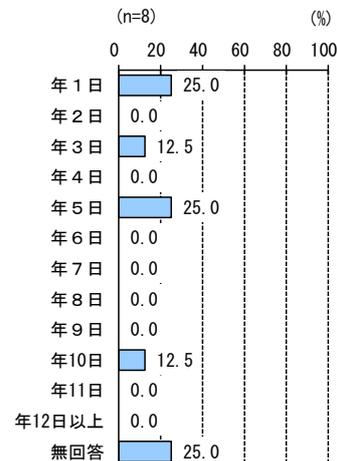
【ファミリー・サポート・ センターを利用した】



【仕方なく子どもだけで 留守番をさせた】



【その他】



(問13で「母親が休んだ」「父親が休んだ」と答えた方のみ回答。)

問14 母親または父親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思いましたか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 病児・病後児保育施設の利用意向について、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」が28.0%、「利用したいとは思わなかった」が69.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」が2.5ポイント低下していますが、大きな差はみられませんでした。

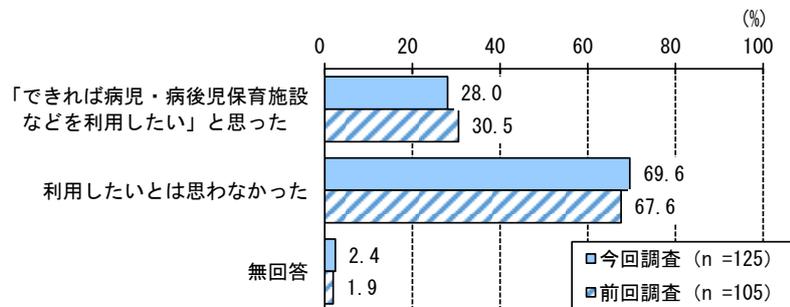
【子どもの学年】

- 「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」は1年生が40.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「利用したいとは思わなかった」は1年生が59.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【就労状況(母親)】

- 「利用したいとは思わなかった」は就労していないが100.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【病児・病後児保育施設の利用意向】



単位：%

	母数 (n)	病児・病後児保育施設の利用意向		
		「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った	「利用したいとは思わなかった」	無回答
全体	125	28.0	69.6	2.4
子どもの学年	1年生	△40.5	▼59.5	-
	2年生	22.2	75.0	2.8
	3年生	23.1	73.1	3.8
就労状況(母親)	フルタイム(休業中含む)	31.2	67.5	1.3
	パート・アルバイト等(休業中含む)	22.0	75.6	2.4
	就労していない	-	△100.0	-

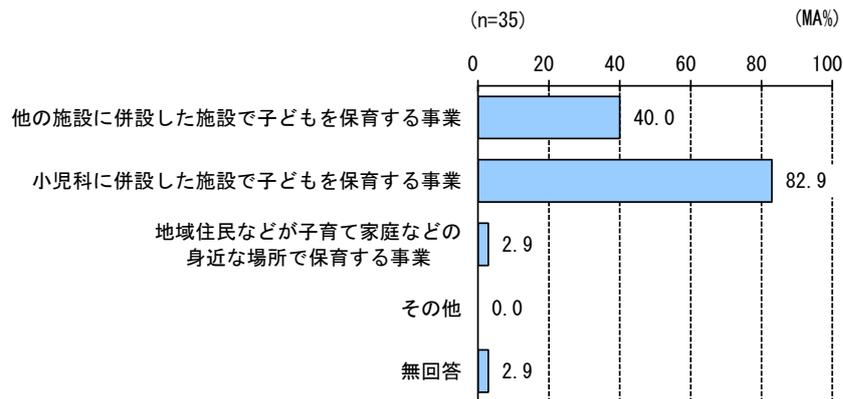
(問14で「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と答えた方のみ回答。)

問14-1 あて名のお子さんが病気やケガで、通学できない時に、病児・病後児のための保育施設などへ預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 希望する事業形態について、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 82.9%で最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 40.0%、「地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業」が 2.9%となっています。

【希望する事業形態(MA)】



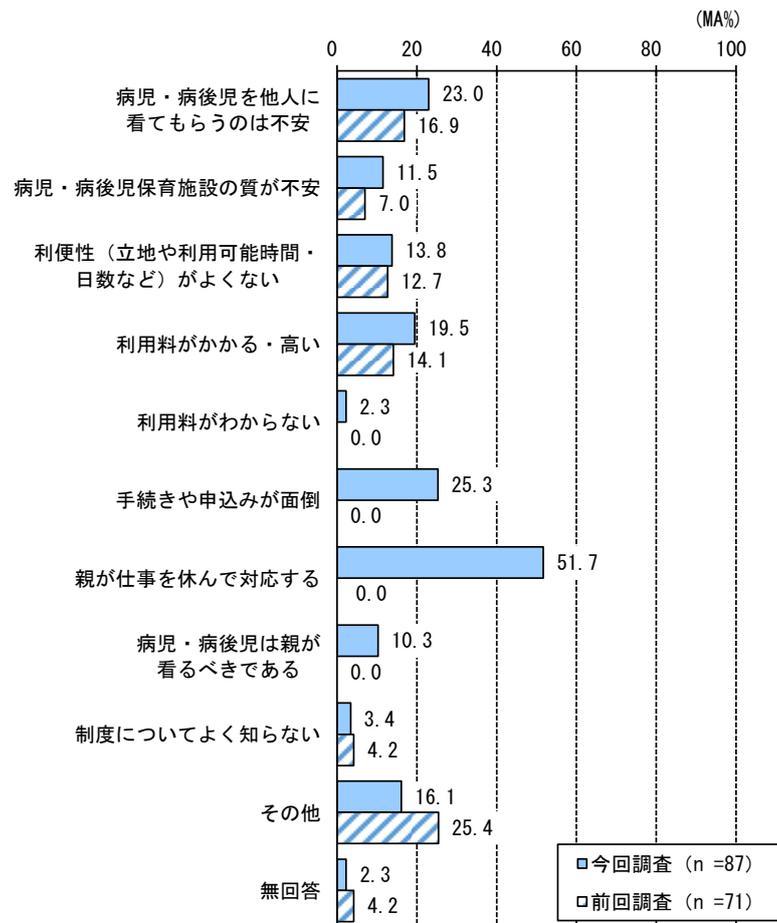
(問14で「利用したいとは思わなかった」と答えた方のみ回答。)

問14-2 病児・病後児のための保育施設などを利用したいとは思わなかった理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

○ 利用したくない理由について、「親が仕事を休んで対応する」が 51.7%で最も多く、次いで「手続きや申込みが面倒」が 25.3%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 23.0%となっています。

【利用したくない理由(MA)】



※「利用料がわからない」「手続きや申込みが面倒」「親が仕事を休んで対応する」「病児・病後児は親が看るべきである」は今回調査より追加した選択肢。

5. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

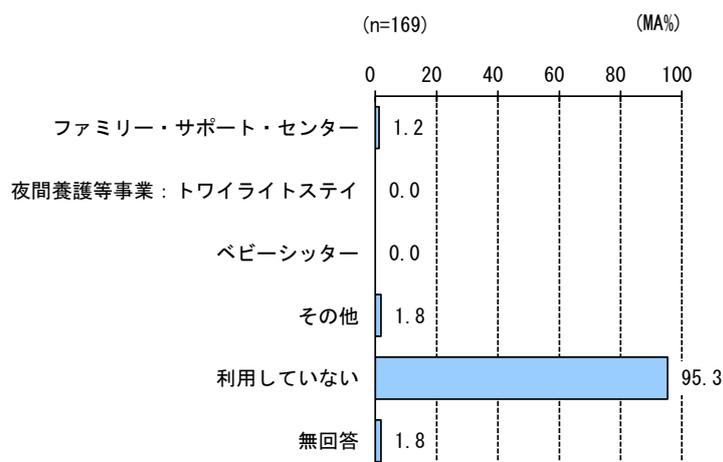
問15 あて名のお子さんについて、この1年間で、私用、保護者の通院、不特定の就労などの目的で、①不定期的に利用している教育・保育事業と、②利用している日数（年間）をすべてご記入ください。

①不定期的に利用している教育・保育事業

【全体】

- 不定期的に利用している教育・保育事業について、「利用していない」が95.3%で最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が1.2%となっています。

【不定期的に利用している教育・保育事業(MA)】

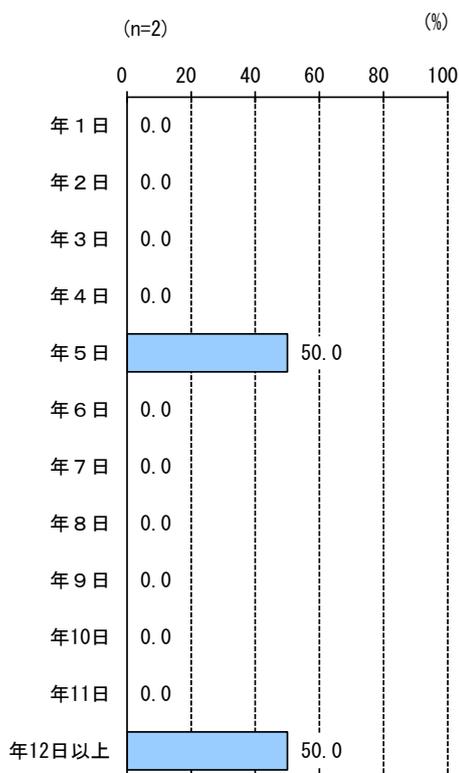


②利用している日数（年間）

【全体】

○ 利用している日数について、それぞれの事業については以下の通りとなっています。

【ファミリー・サポート・センター】



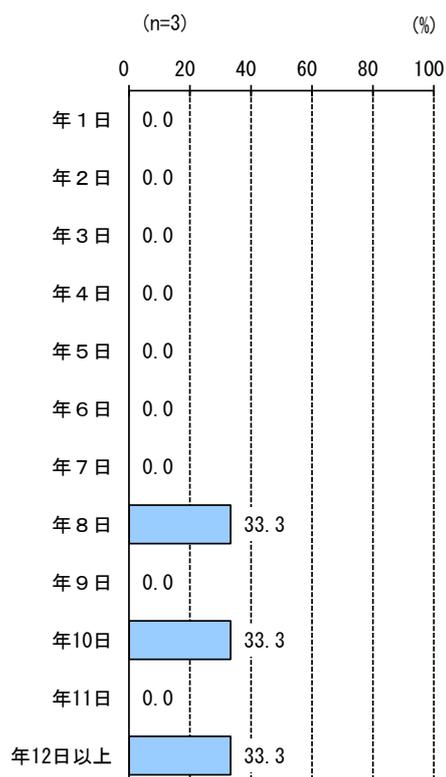
【夜間養護等事業：トワイライトステイ】



【ベビーシッター】



【その他】



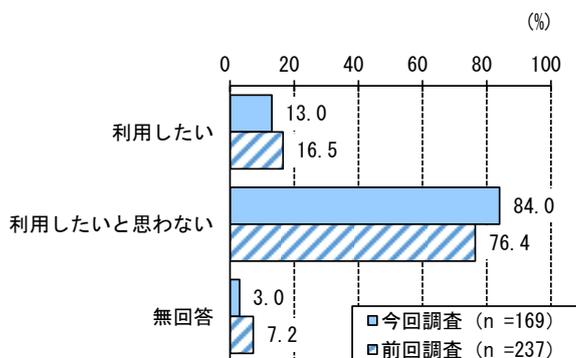
問16 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、一時的に教育・保育事業を利用したいと思いますか。①一時的に教育・保育事業を利用する目的と、②目的別に利用したい日数（年間）をすべてご記入ください。

①一時的に教育・保育事業を利用する目的

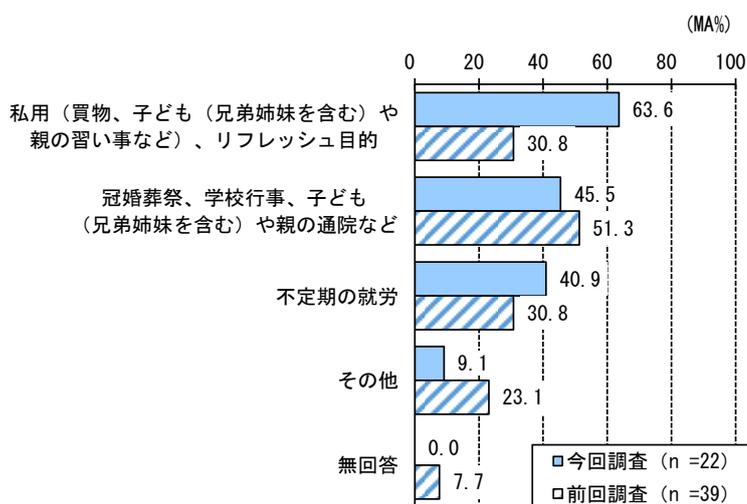
【全体】

- 一時的な教育・保育事業の利用意向について、「利用したい」が13.0%、「利用したいと思わない」が84.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用したいと思わない」が7.6ポイント上昇しています。
- 一時的に教育・保育事業を利用する目的について、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」が63.6%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が45.5%、「不定期の就労」が40.9%となっています。
- 一時的に教育・保育事業を利用する合計日数（年間）について、「年12日以上」が50.0%で最も多く、次いで「年5日」が18.2%、「年10日」が13.6%となっています。

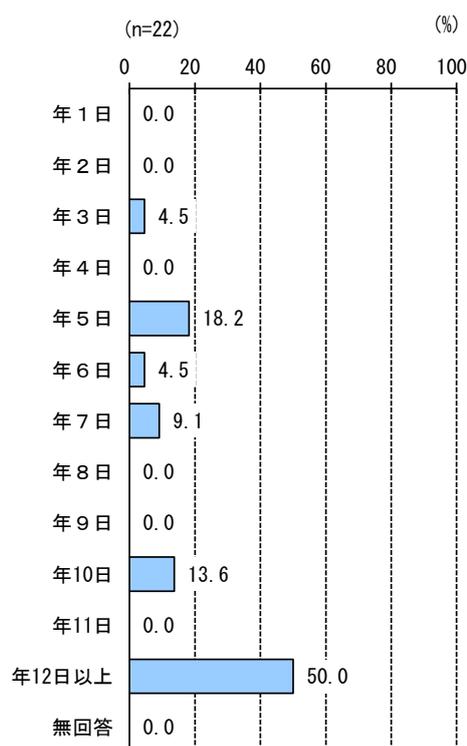
【一時的な教育・保育事業の利用意向】



【一時的に教育・保育事業を利用する目的(MA)】



【一時的に教育・保育事業を利用する合計日数（年間）】

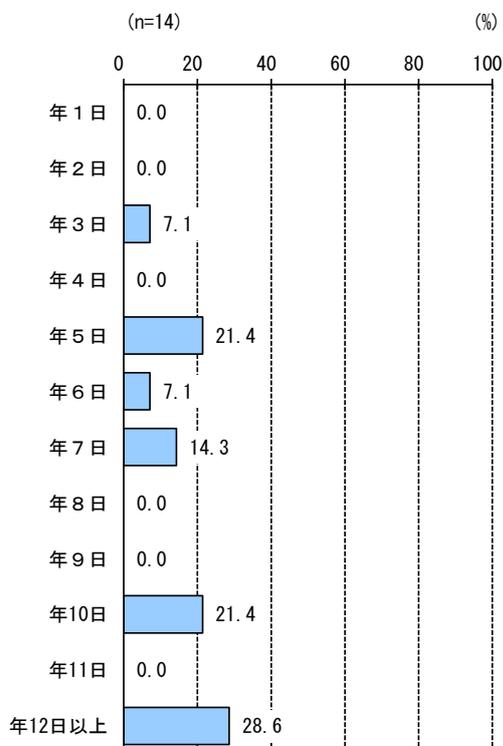


②目的別に利用したい日数（年間）

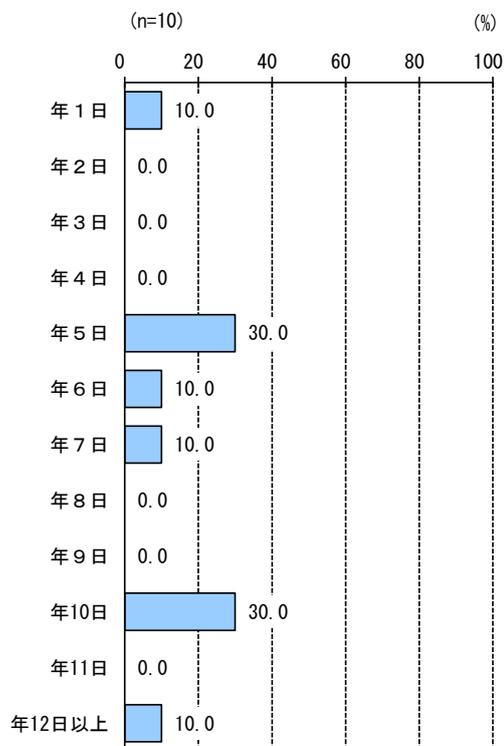
【全体】

○ それぞれの利用目的について、年間日数は下記の通りとなっています。

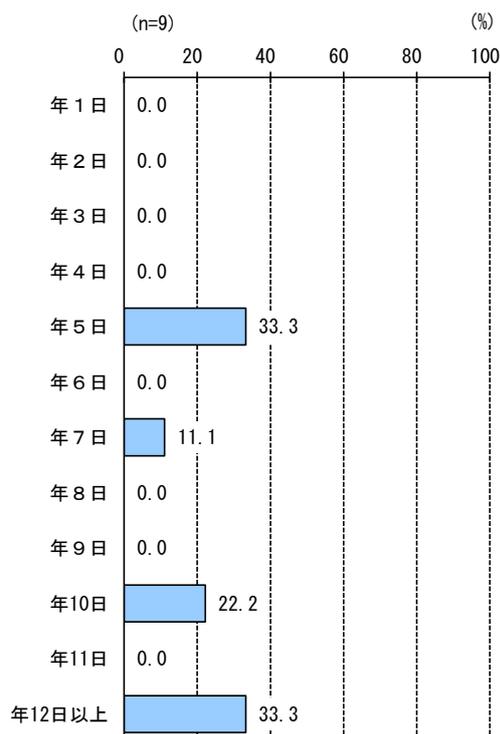
【私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的】



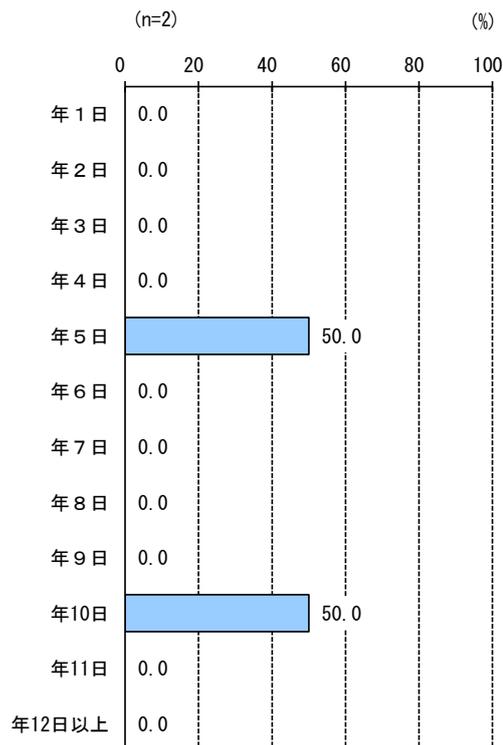
【冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など】



【不定期の就労】



【その他】

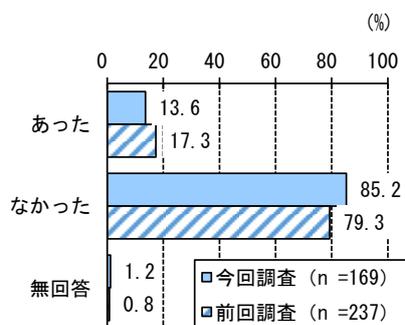


問17 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことはありましたか。保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①家族以外に泊りがけで見てもらわなければならない時に対処法と、②対処した際の泊数（年間）をすべてご記入ください。

①家族以外に泊りがけで見てもらわなければならない時に対処法

- 【全体】**
- 家族以外に泊りがけで見てもらわなければならない時の有無について、「あった」が13.6%、「なかった」が85.2%となっています。
 - 前回調査と比較すると、「あった」が3.7ポイント低下しています。
 - 家族以外に泊りがけで見てもらわなければならない時の対処法について、「(同居者を含む)親族、友人・知人に見てもらった」が87.0%、「仕方なく子どもを同行させた」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が13.0%となっています。
- 【子どもの学年】**
- 「あった」は2年生が16.7%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 「なかった」は3年生が89.3%と他の区分に比べて多くなっています。

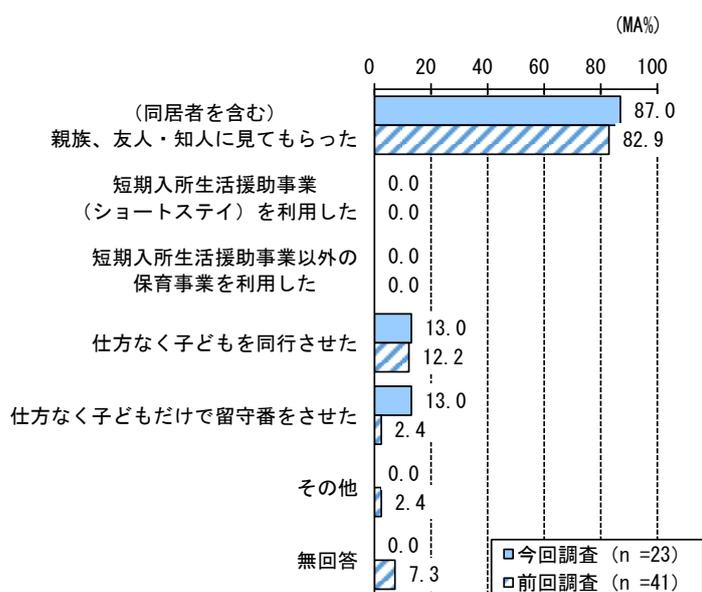
【家族以外に泊りがけで見てもらわなければならない時の有無】



単位：%

子どもの学年	母数 (n)	家族以外に泊りがけで見てもらわなければならない時の有無		
		あった	なかった	無回答
全体	169	11.8	85.2	1.2
1年生	46	10.9	82.6	2.2
2年生	48	16.7	81.3	2.1
3年生	75	9.3	89.3	-

【家族以外に泊りがけで見てもらわなければならない時の対処法 (MA)】



②対処した際の泊数（年間）

【全体】

○ 対処した際の泊数（年間）について、それぞれの項目は下記の通りとなっています。

【（同居者を含む）親族、

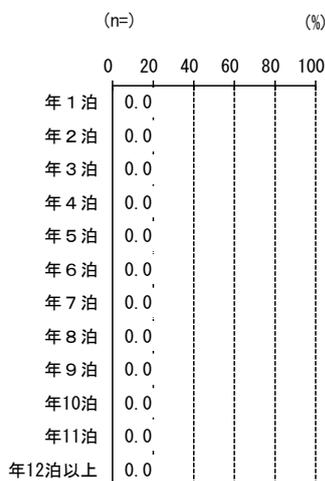
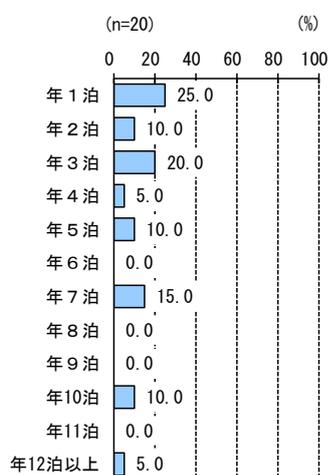
友人・知人にみてもらった】

【短期入所生活援助事業

（ショートステイ）を利用した】

【短期入所生活援助事業以外の

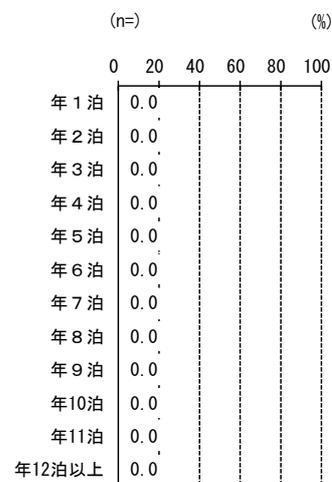
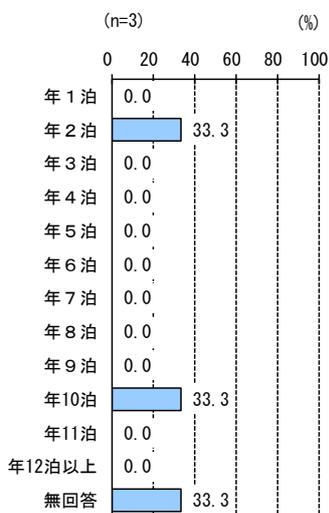
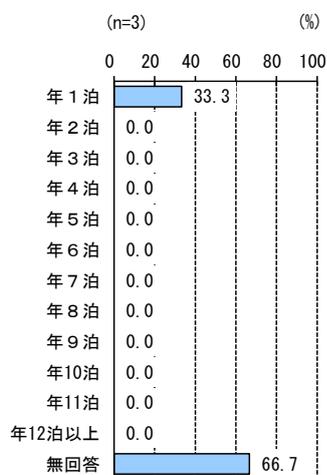
保育事業（認可外保育施設、
ベビーシッターなど）を利用した】



【仕方なく子どもを同行させた】

【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

【その他】

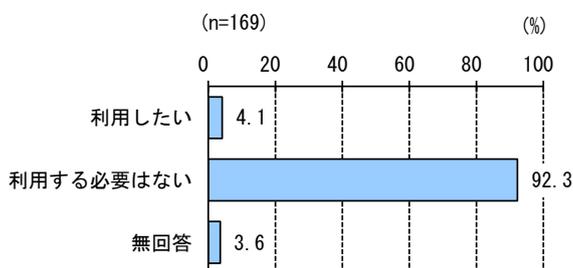


問18 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならない時に、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したいですか。保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的と、②目的別に利用したい泊数（年間）をすべてご記入ください。

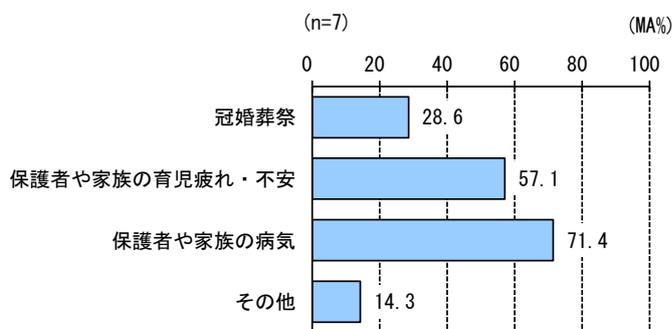
①短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的

- 【全体】**
- 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向について、「利用したい」4.1%、「利用する必要はない」92.3%となっています。
 - 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的について、「保護者や家族の病気」が71.4%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が57.1%、「冠婚葬祭」が28.6%となっています。

【短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向】



【短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的(MA)】

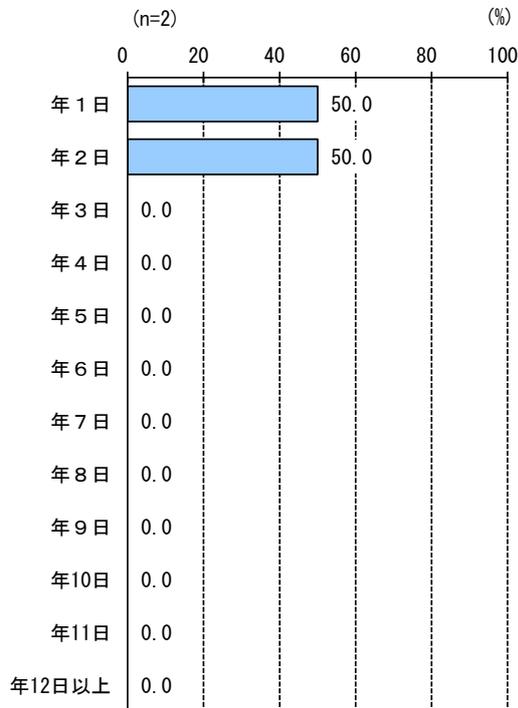


②利用したい泊数（年間）

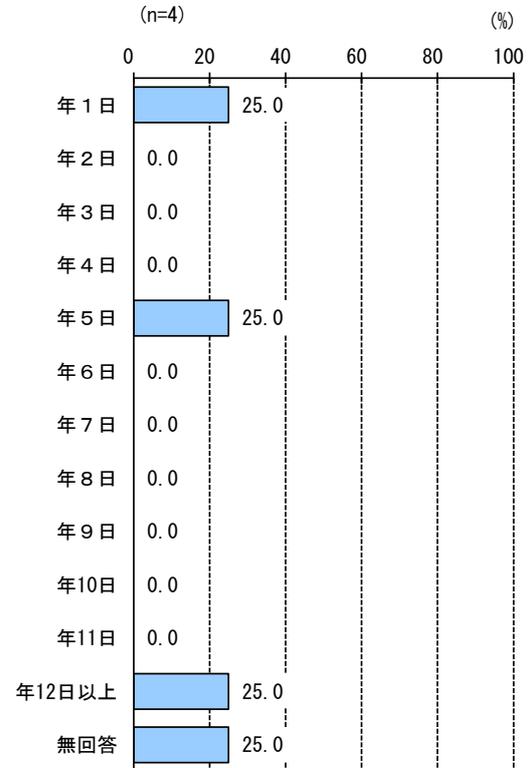
【全体】

○ 利用したい泊数（年間）について、各項目は下記の通りとなっています。

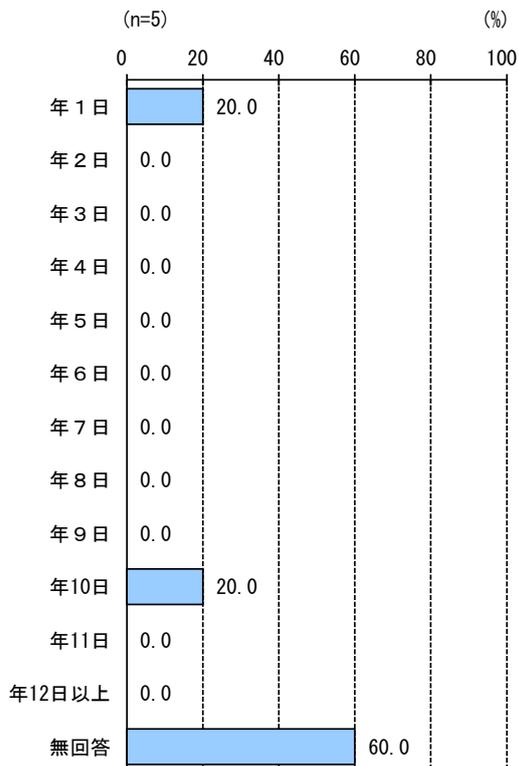
【冠婚葬祭】



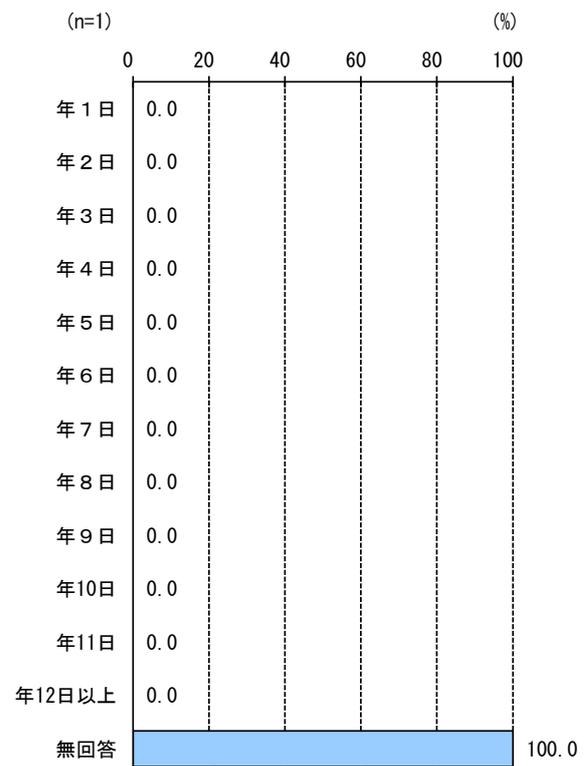
【保護者や家族の育児疲れ・不安】



【保護者や家族の病気】



【その他】



6. 放課後の過ごし方について

問19 あて名のお子さんは、放課後児童クラブ（学童保育）を利用していますか。
（あてはまる番号1つに○）

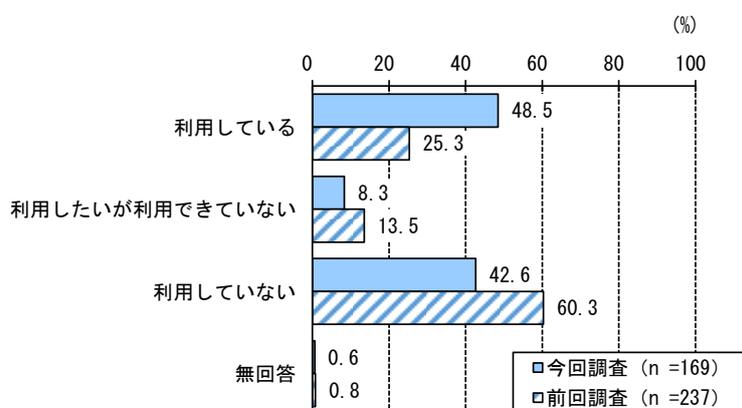
【全体】

- 放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況について、「利用している」が48.5%で最も多く、次いで「利用していない」が42.6%、「利用したいが利用できていない」が8.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用している」が23.2ポイント上昇しています。

【子どもの学年】

- 「利用している」は3年生が36.0%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「利用したいが利用できていない」は1年生が13.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況】



単位：%

		母数 (n)	放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況			
			利用 して いる	利 用 で し た い が な い	利 用 し て い な い	無 回 答
全体		169	48.5	8.3	42.6	0.6
子どもの 学年	1年生	46	△ 65.2	13.0	▼ 21.7	-
	2年生	48	52.1	8.3	37.5	2.1
	3年生	75	▼ 36.0	5.3	△ 58.7	-

(問19で、「利用している」と答えた方のみ回答。)

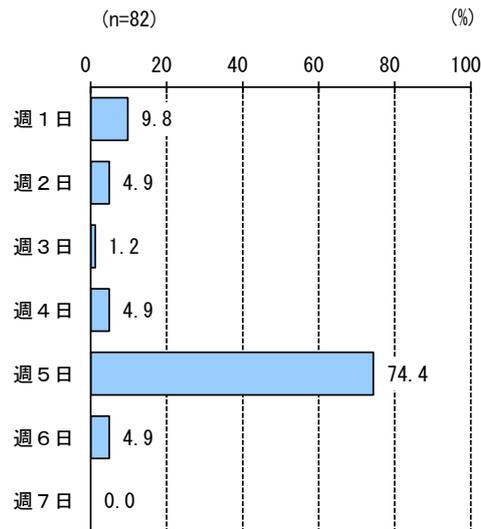
問19-1 放課後児童クラブ(学童保育)の利用日数と利用時間帯をすべてご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一律に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

①放課後児童クラブの利用日数

【全体】

○ 利用日数について、「週5日」が74.4%で最も多く、次いで「週1日」が9.8%、「週2日」「週4日」「週6日」が4.9%となっています。

【利用日数】

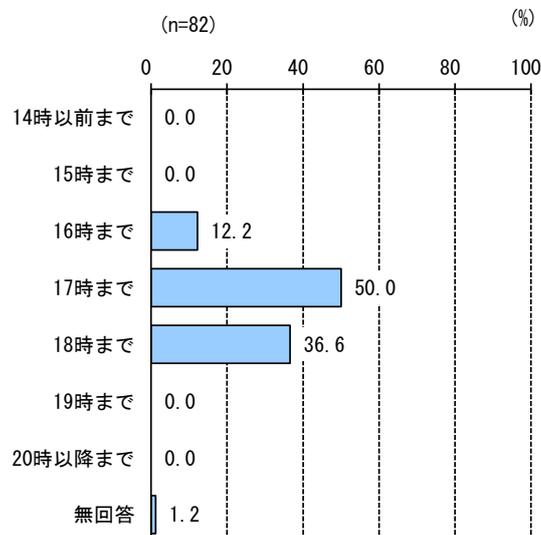


②放課後児童クラブの利用時間帯

【全体】

○ 利用時間帯について、「17時まで」が50.0%で最も多く、次いで「18時まで」が36.6%、「16時まで」が12.2%となっています。

【利用時間帯】



(問19で、「利用したいが利用できていない」と答えた方のみ回答。)

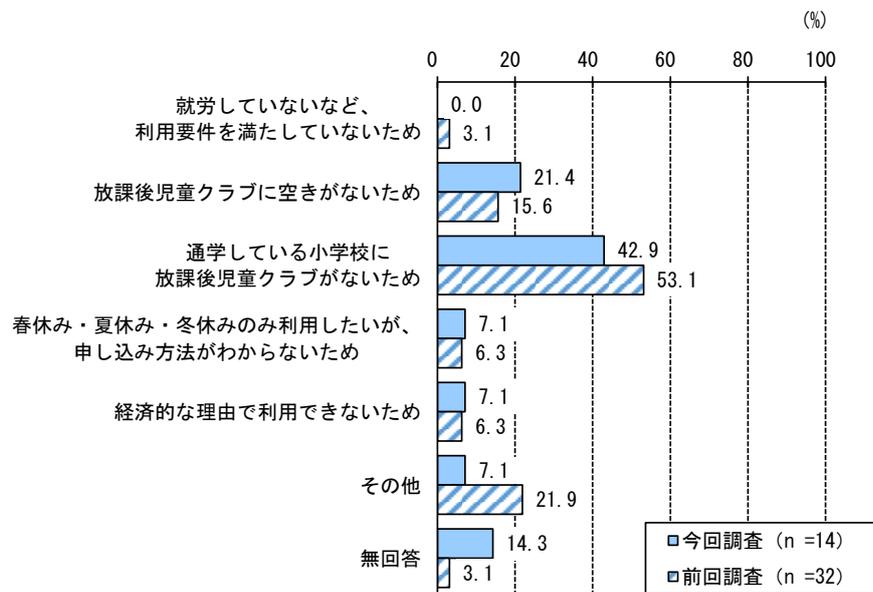
問19-2 放課後児童クラブを利用できていない理由をご記入ください。

(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 利用できていない理由について、「通学している小学校に放課後児童クラブがないため」が42.9%で最も多く、次いで「放課後児童クラブに空きがないため」が21.4%、「春休み・夏休み・冬休みのみ利用したいが、申し込み方法がわからないため」「経済的な理由で利用できないため」が7.1%となっています。
- 前回調査と比較すると、「放課後児童クラブに空きがないため」が5.8ポイント上昇し、「通学している小学校に放課後児童クラブがないため」10.2ポイント減少しています。

【利用できていない理由】



(問19で、「利用したいが利用できていない」「利用していない」と答えた方のみ回答。)

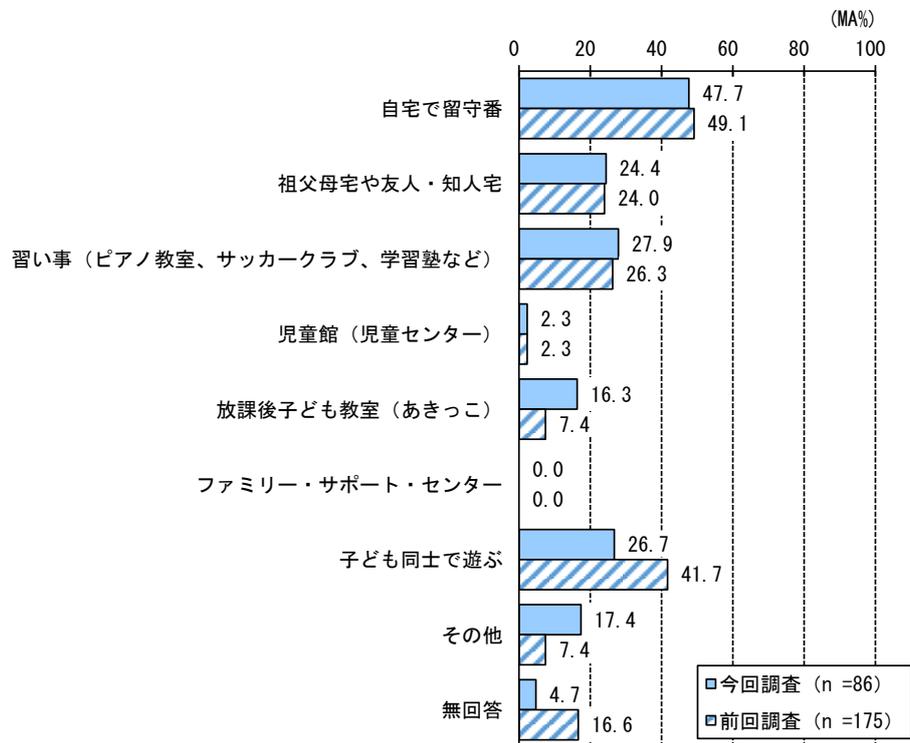
問20 あて名のお子さんについて、①放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方と、②それぞれの過ごし方の日数（週あたり）をすべてご記入ください。

①放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方

【全体】

- 放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方について、「自宅で留守番」が 47.7%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 27.9%、「子ども同士で遊ぶ」が 26.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、「子ども同士で遊ぶ」が 15 ポイント低下し、「放課後子ども教室（あきっこ）」が 8.9 ポイント、「その他」が 10 ポイント上昇しています。

【放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方(MA)】

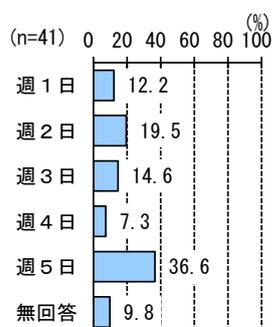


②それぞれの過ごし方の日数（週あたり）

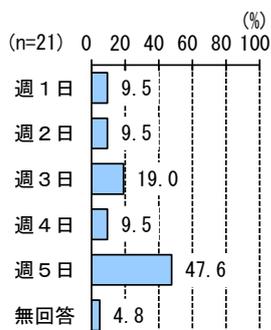
【全体】

○ それぞれの過ごし方についての回答結果は以下の通りとなっています。

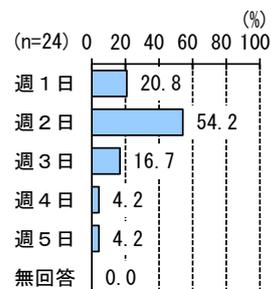
【自宅で留守番】



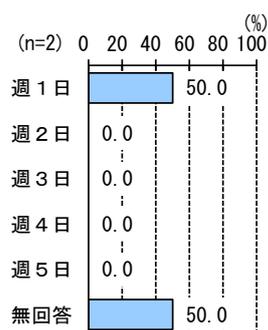
【祖父母宅や友人・知人宅】



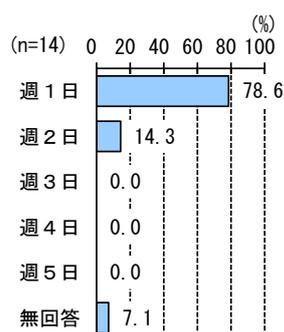
【習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）】



【児童館（児童センター）】



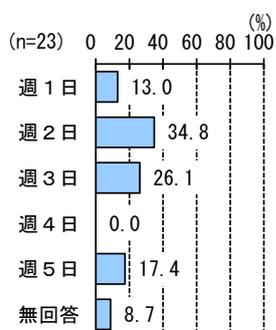
【放課後子ども教室（あきっこ）】



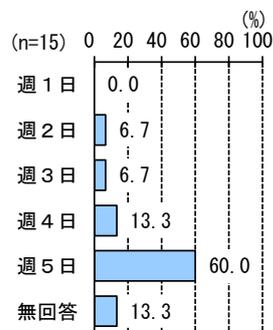
【ファミリー・サポート・センター】



【子ども同士で遊ぶ】



【その他】



問21 あて名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」が53.3%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が24.3%、「わからない」が20.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用したい」が11.1ポイント上昇し、「利用する必要はない」が8ポイント低下しています。

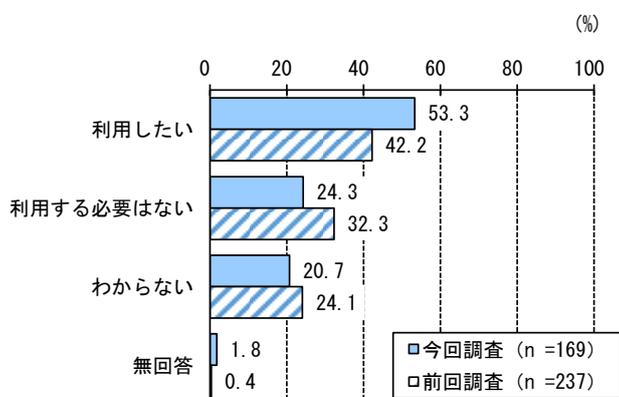
【子どもの学年】

- 「利用したい」は1年生が78.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「利用する必要はない」は3年生が32.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【就労状況（母親）】

- 「利用したい」は就労していないが16.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「利用する必要はない」は就労していないが50.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【放課後児童クラブの利用希望】



単位：%

		母数 (n)	放課後児童クラブの利用希望			
			利用したい	利用する必要はない	わからない	無回答
全体		169	53.3	24.3	20.7	1.8
子どもの学年	1年生	46	△ 78.3	▼ 8.7	10.9	2.2
	2年生	48	52.1	27.1	18.8	2.1
	3年生	75	▼ 38.7	32.0	28.0	1.3
就労状況 (母親)	フルタイム (休業中含む)	100	60.0	25.0	14.0	1.0
	パート・アルバイト等 (休業中含む)	54	44.4	24.1	△ 31.5	-
	就労していない	6	▼ 16.7	△ 50.0	16.7	16.7

(問21で、「利用したい」と答えた方のみ回答。)

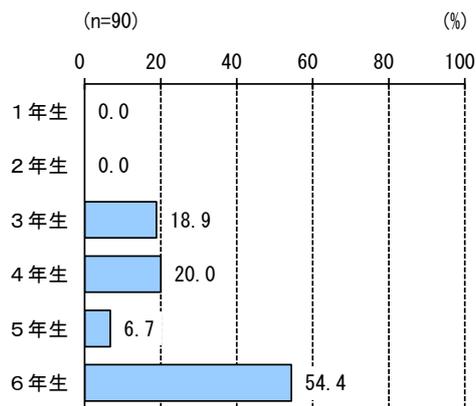
問21-1 放課後児童クラブを何年生まで利用したいですか。また、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望日数と利用したい時間帯をすべてご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入）

①利用希望する学年

【全体】

- 利用希望する学年について、「6年生」が54.4%で最も多く、次いで「4年生」が20.0%、「3年生」が18.9%となっています。

【利用希望する学年】

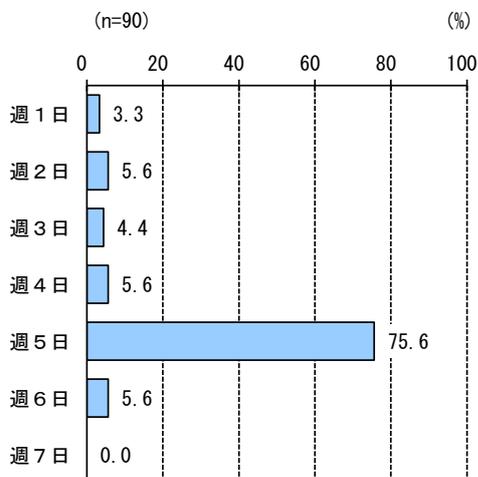


②利用希望日数と利用したい時間帯

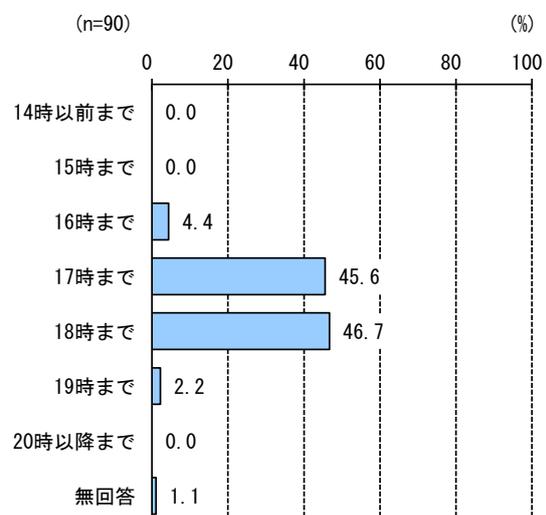
【全体】

- 利用希望日数について、「週5日」が75.6%で最も多く、次いで「週2日」「週4日」「週6日」が5.6%、「週3日」が4.4%となっています。
- 利用したい時間帯について、「18時まで」が46.7%で最も多く、次いで「17時まで」が45.6%、「16時まで」が4.4%となっています。

【利用希望日数】



【利用したい時間帯】



(問21で、「利用したい」と答えた方のみ回答。)

問22 あて名のお子さんについて、(1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日に、放課後児童クラブを利用したいですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

①土曜日の利用意向

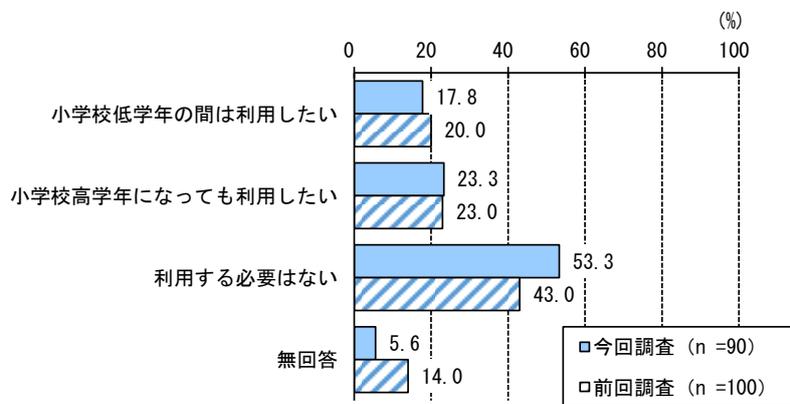
【全体】

- 土曜日の利用意向について、「利用する必要はない」が 53.3%で最も多く、次いで「小学校高学年になっても利用したい」が 23.3%、「小学校低学年の間は利用したい」が 17.8%となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用する必要はない」が 10.3 ポイント上昇しています。

【子どもの学年】

- 「小学校高学年になっても利用したい」は1年生が 19.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「利用する必要はない」は1年生が 38.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

【土曜日の利用意向】



単位：%

	母数 (n)	土曜日の利用意向			
		小学生低学年の間は	小学校高学年になっても	利用する必要はない	無回答
全体	90	17.8	23.3	53.3	5.6
子どもの学年	1年生	36	△ 36.1	▼ 38.9	5.6
	2年生	25	12.0	△ 64.0	-
	3年生	29	-	27.6	62.1

②日曜日・祝日の利用意向

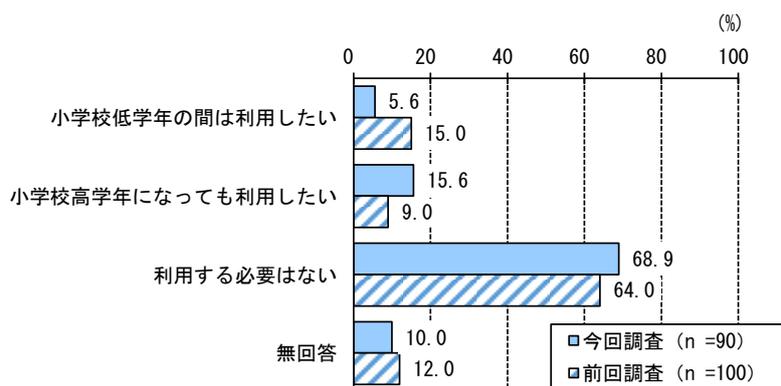
【全体】

- 日曜日・祝日の利用意向について、「利用する必要はない」が 68.9%で最も多く、次いで「小学校高学年になっても利用したい」が 15.6%、「小学校低学年の間は利用したい」が 5.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「小学校低学年の間は利用したい」が 9.4 ポイント低下しています。

【子どもの学年】

- 「小学校高学年になっても利用したい」は 1 年生が 13.9%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「利用する必要はない」は 3 年生が 79.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【日曜日・祝日の利用意向】



単位：%

	母数 (n)	日曜日・祝日の利用意向			
		小学校低学年の間は利用したい	小学校高学年になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	90	5.6	15.6	68.9	10.0
子どもの学年	1年生	13.9	13.9	61.1	11.1
	2年生	-	16.0	68.0	16.0
	3年生	-	17.2	△ 79.3	3.4

(問22で、「小学校低学年の間は利用したい」「小学校高学年になっても利用したい」と答えた方のみ回答。)

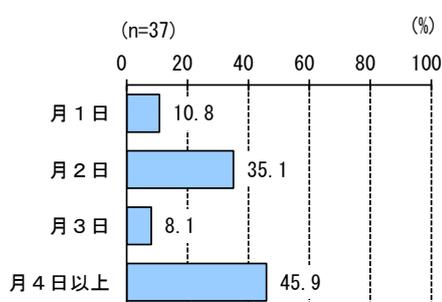
問22-1 (1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日に、放課後児童クラブを利用したい日数と時間帯をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

①土曜日の放課後児童クラブの希望日数と開始時間と終了時間

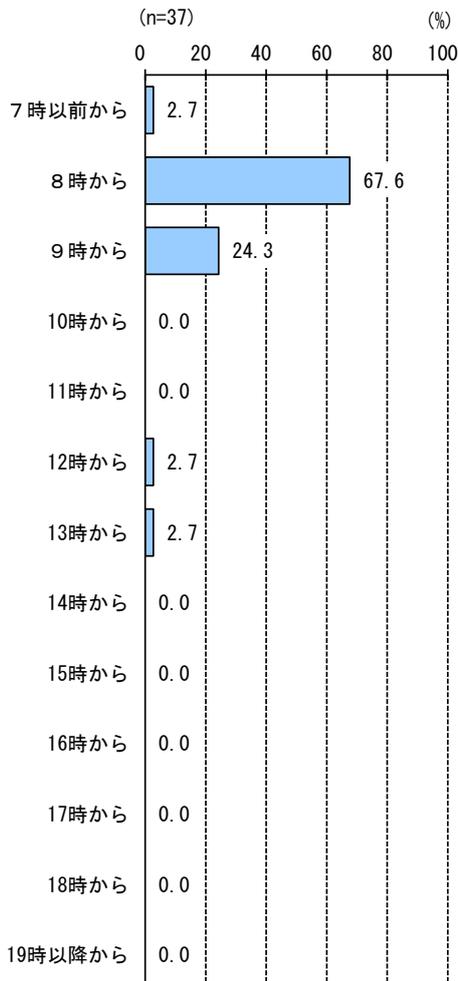
【全体】

- 土曜日の月の日数について、「月4日以上」が45.9%で最も多く、次いで「月2日」が35.1%、「月1日」が10.8%となっています。
- 放課後児童クラブの土曜日の希望開始時間について、「8時から」が67.6%で最も多く、次いで「9時から」が24.3%、「7時以前から」「12時から」「13時から」が2.7%となっています。
- 放課後児童クラブの土曜日の希望終了時間について、「17時まで」が37.8%で最も多く、次いで「18時まで」が35.1%、「12時以前まで」が13.5%となっています。

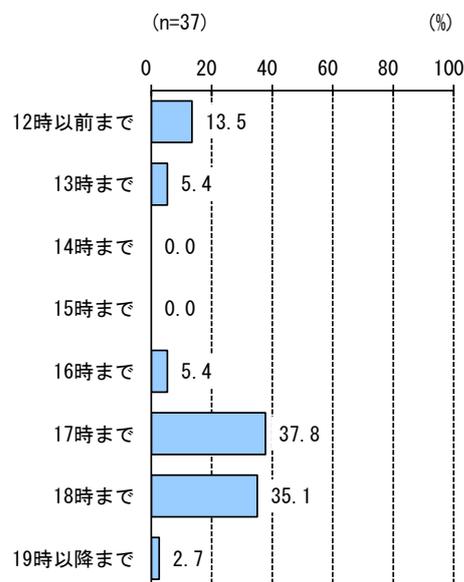
【土曜日の月の日数】



【希望開始時間】



【希望終了時間】



②日曜・祝日の放課後児童クラブの希望日数と開始時間・終了時間

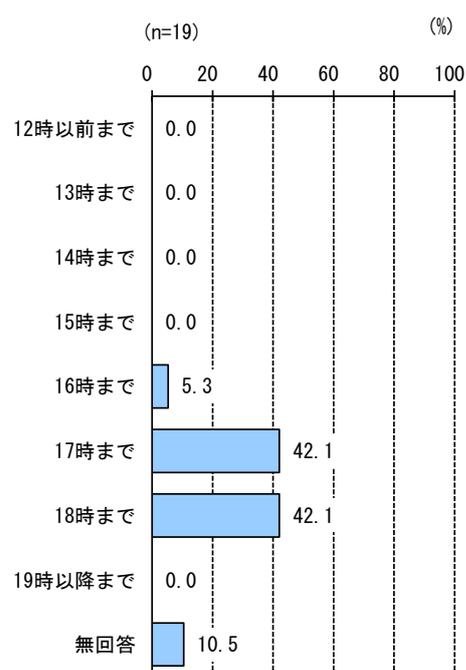
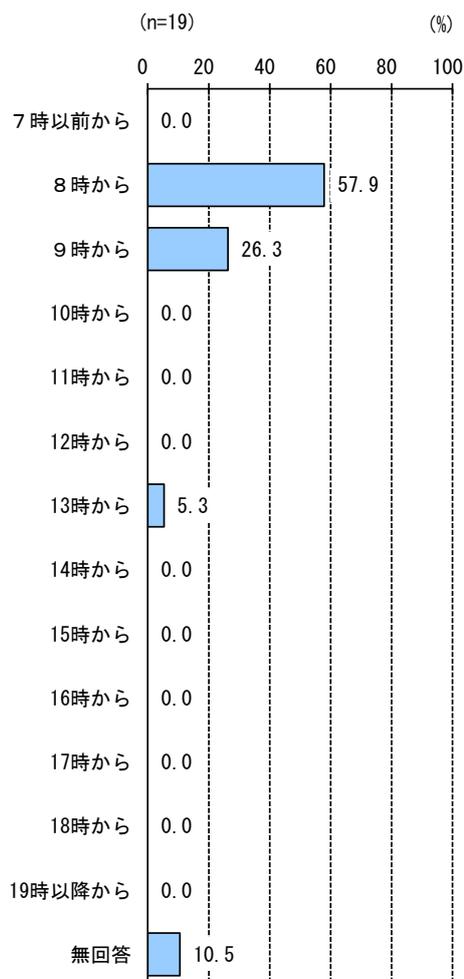
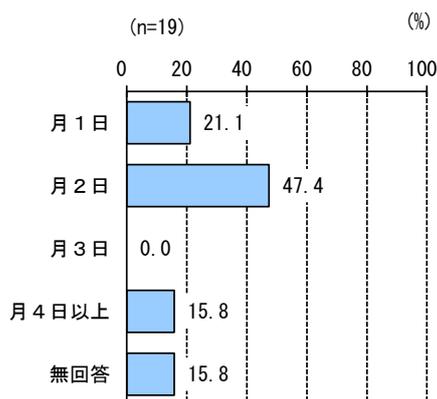
【全体】

- 日曜日・祝日の月の日数について、「月2日」が47.4%で最も多く、次いで「月1日」が21.1%、「月4日以上」が15.8%となっています。
- 放課後児童クラブの日曜・祝日の希望開始時間について、「8時から」が57.9%で最も多く、次いで「9時から」が26.3%、「13時から」が5.3%となっています。
- 放課後児童クラブの日曜・祝日の希望終了時間について、「17時まで」「18時まで」が42.1%で最も多く、次いで「16時まで」が5.3%となっています。

【日曜日・祝日の月の日数】

【希望開始時間】

【希望終了時間】

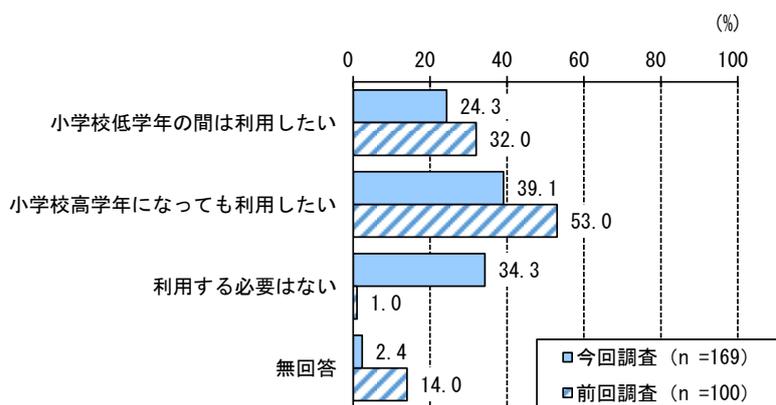


問23 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したいですか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 長期の休暇期間中の利用意向について、「小学校高学年になっても利用したい」が 39.1%で最も多く、次いで「利用する必要はない」が 34.3%、「小学校低学年の間は利用したい」が 24.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「小学校低学年の間は利用したい」が 7.7 ポイント、「小学校高学年になっても利用したい」が 13.9 ポイント低下しています。

【長期の休暇期間中の利用意向】



※前回調査と今回調査では回答者の母数が異なるため、回答の差が大きくなっている。

(問23で、「小学校低学年の間は利用したい」「小学校高学年になっても利用したい」と答えた方のみ回答。)

問23-1 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したい時間帯をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入)

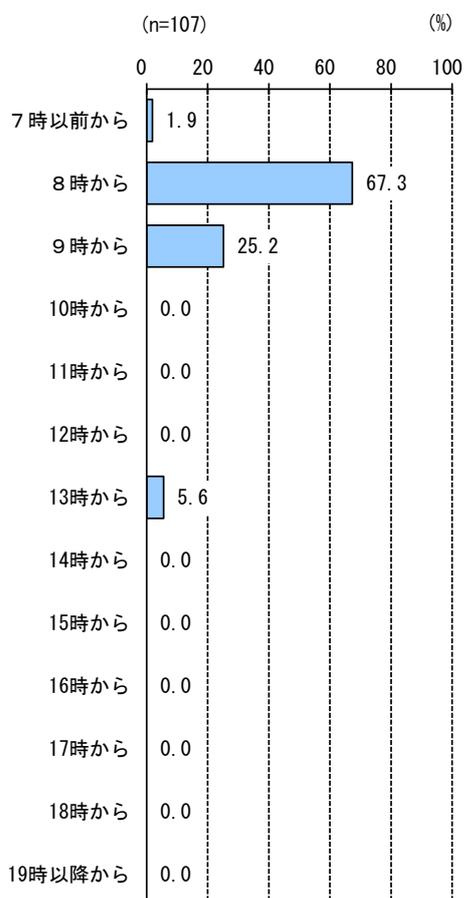
【全体】

- 希望開始時間について、「8時から」が67.3%で最も多く、次いで「9時から」が25.2%、「13時から」が5.6%となっています。
- 希望終了時間について、「18時まで」が45.8%で最も多く、次いで「17時まで」が41.1%、「16時まで」が7.5%となっています。

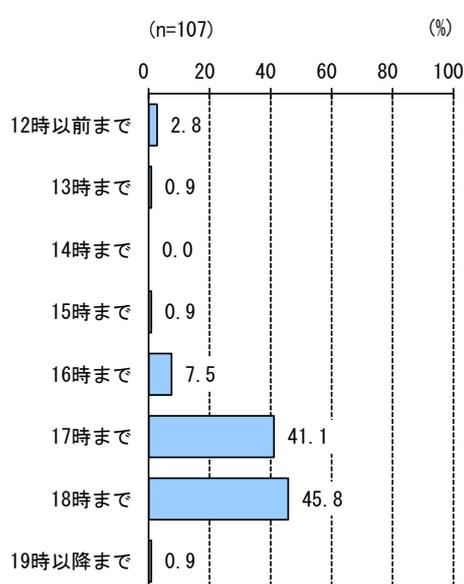
【子どもの学年】

- 「8時から」は1年生、2年生が70%以上と多くなっています。
- 「9時から」は3年生が33.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【希望開始時間】



【希望終了時間】



単位：%

	母数 (n)	希望開始時間													
		7時以前から	8時から	9時から	10時から	11時から	12時から	13時から	14時から	15時から	16時から	17時から	18時から	19時以降から	
全体	107	1.9	67.3	25.2	-	-	-	5.6	-	-	-	-	-	-	
子どもの学年	1年生	39	-	76.9	23.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2年生	29	3.4	72.4	17.2	-	-	-	6.9	-	-	-	-	-	
	3年生	39	2.6	53.8	33.3	-	-	-	10.3	-	-	-	-	-	

問24 あて名のお子さんについてゲームで遊び始めた年齢はいくつでしたか。また、ゲームやテレビ、インターネットなど余暇の過ごし方をご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、1時間は「60分」2時間半は「150分」のように分表記で記入)

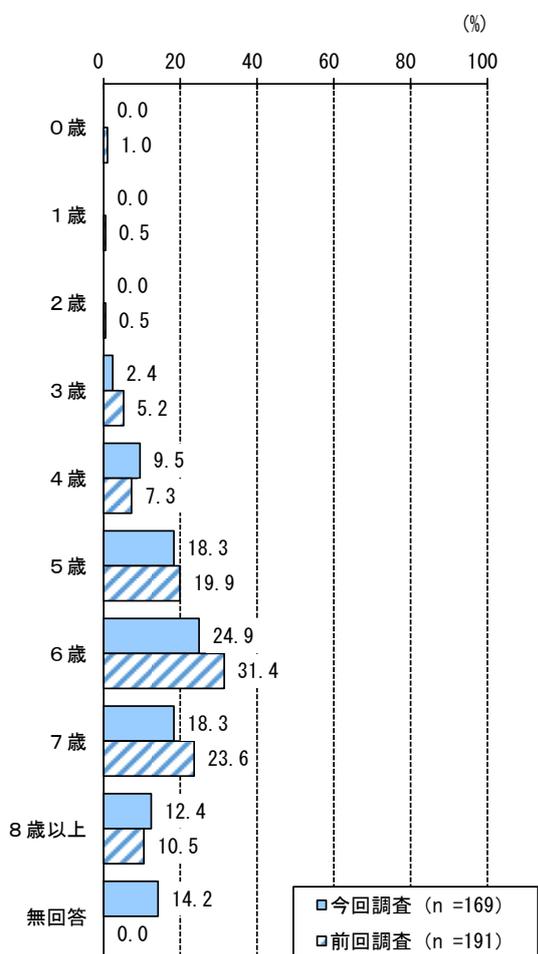
① ゲームの開始年齢

② スマートフォンを見始めた年齢

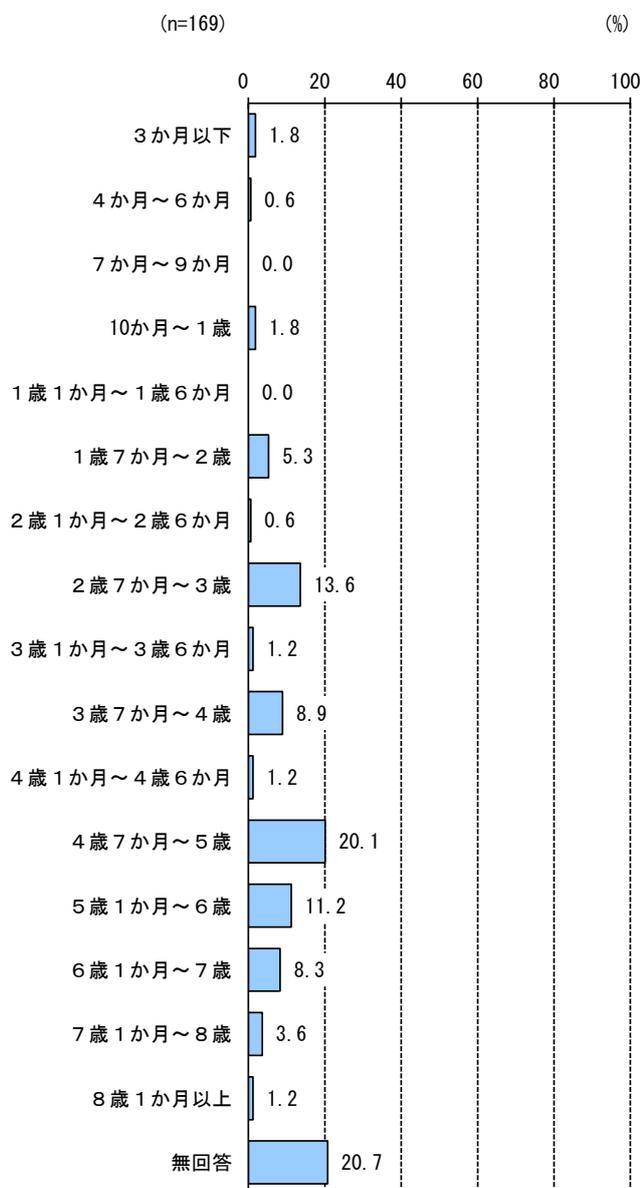
【全体】

- ゲームで遊び始めた年齢について、「6歳」が24.9%で最も多く、次いで「5歳」「7歳」が18.3%、「8歳以上」が12.4%となっています。
- 前回調査と比較すると、「4歳」「8歳以上」が僅かに上昇し、その他の年齢では低下しています。
- スマートフォンを見始めた年齢について、「4歳7か月～5歳」が20.1%で最も多く、次いで「2歳7か月～3歳」が13.6%、「5歳1か月～6歳」が11.2%となっています。

【ゲームの開始年齢】



【スマートフォンを見始めた年齢】

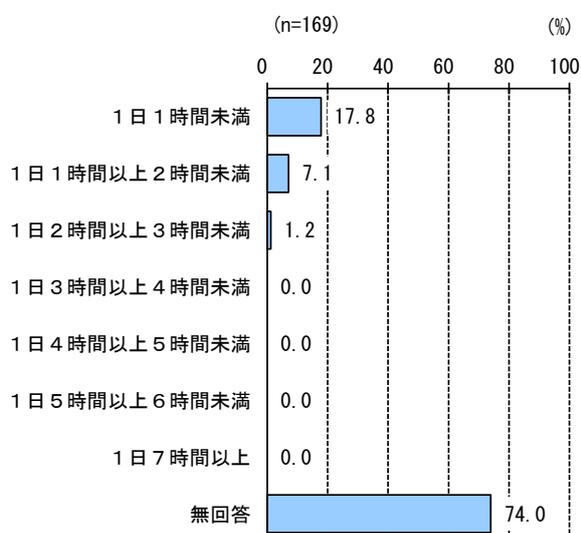


- ③テレビでテレビ番組を見る時間
- ④テレビでゲームをする時間
- ⑤テレビでユーチューブ等を見る時間
- ⑥スマートフォンでゲームをする時間
- ⑦スマートフォンをゲーム以外（インターネット、ユーチューブ等）に使用する時間
- ⑧タブレット端末で学習する時間
- ⑨タブレット端末を学習以外（ゲーム・インターネット等）に使用する時間
- ⑩読書をする時間

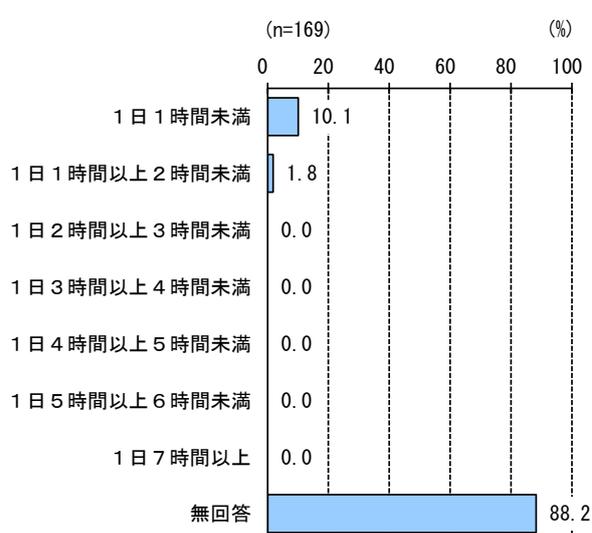
【全体】

○ その他の時間については以下の通りです。

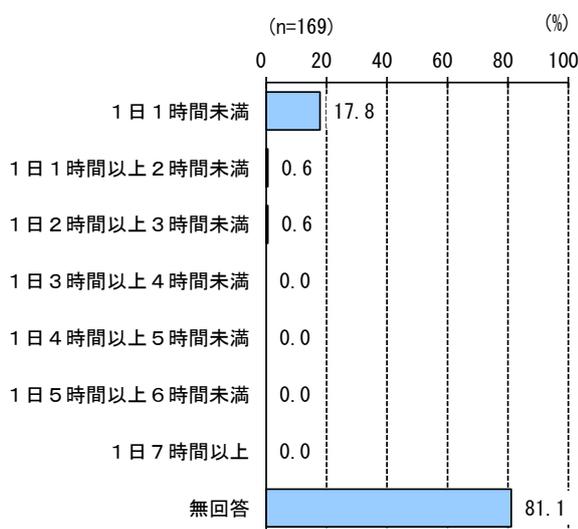
【テレビでテレビ番組を見る時間】



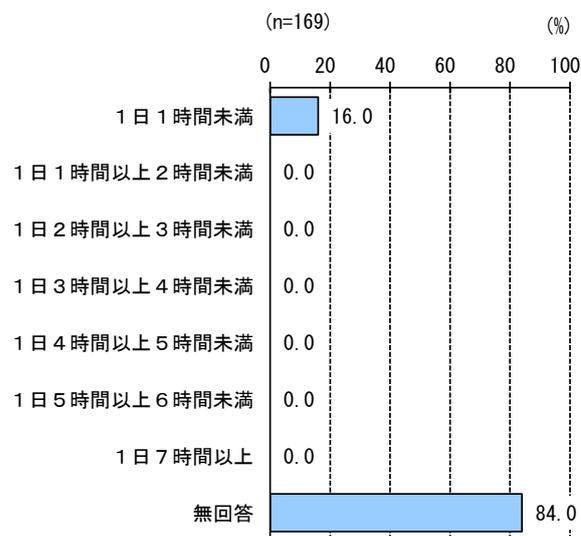
【テレビでゲームをする時間】



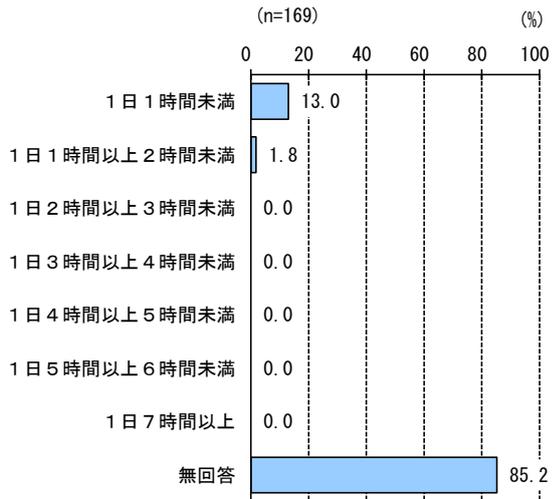
【テレビでユーチューブ等を見る時間】



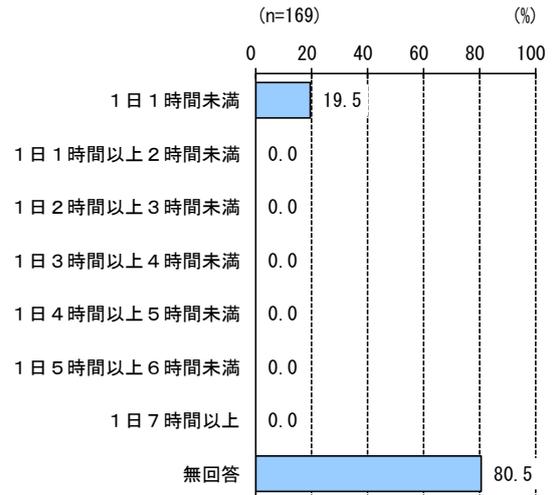
【スマートフォンでゲームをする時間】



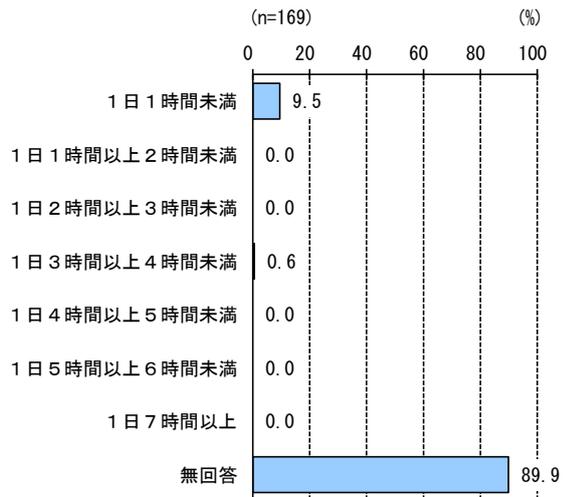
【スマートフォンをゲーム以外（インターネット、ユーチューブ等）に使用する時間】



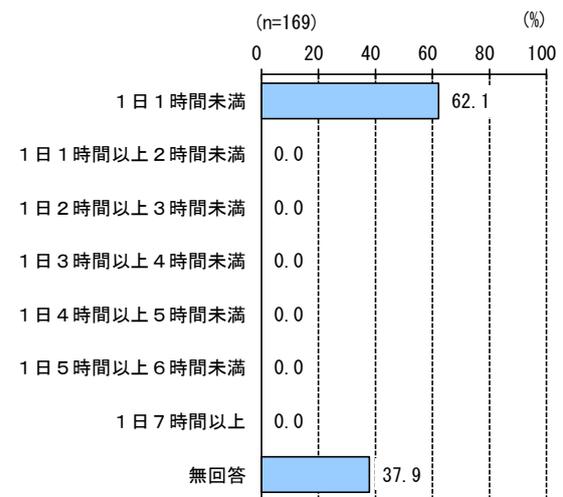
【タブレット端末で学習する時間】



【タブレット端末を学習以外（ゲーム・インターネット等）に使用する時間】



【読書をする時間】



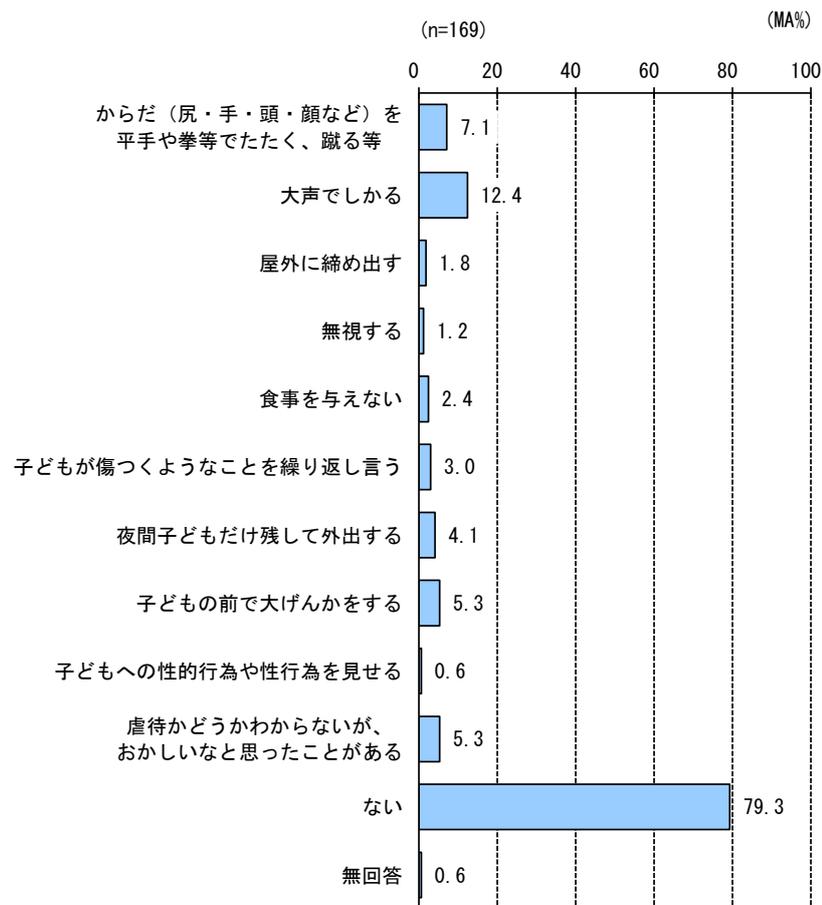
7. 児童の虐待について

問25 マスメディア等で、児童の虐待について取り上げられていますが、あなたの身近なところで、次のような児童の虐待にあたる行為を見たり聞いたりしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 児童の虐待にあたる行為の見聞きについて、「ない」が 79.3%で最も多く、次いで「大声でしかる」が 12.4%、「からだ（尻・手・頭・顔など）を平手や拳等でたたく、蹴る等」が 7.1%となっています。

【児童の虐待にあたる行為の見聞き (MA)】



(問25で、「1」～「10」と答えた方のみ回答。)

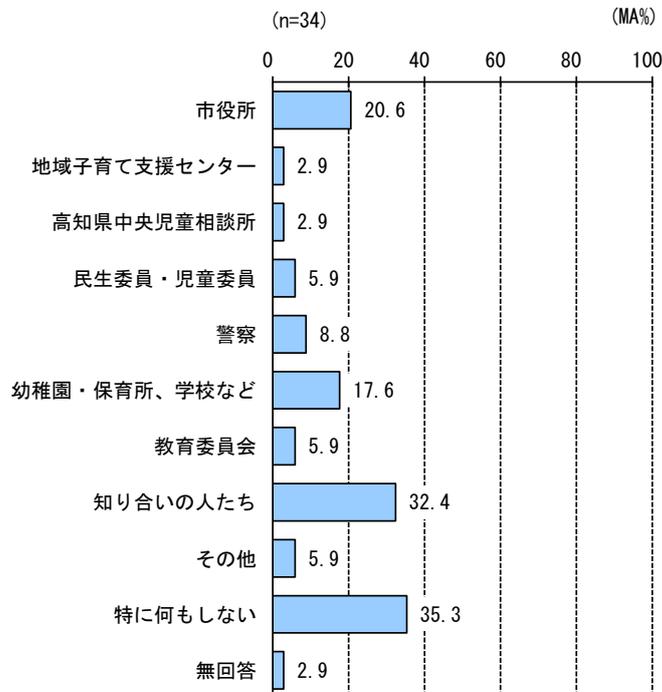
問25-1 そのような場面を発見した時、どのような機関等に連絡をしますか。

(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 虐待発見時の連絡先について、「特に何もしない」が 35.3%で最も多く、次いで「知り合いの人たち」が 32.4%、「市役所」が 20.6%となっています。

【虐待発見時の連絡先(MA)】



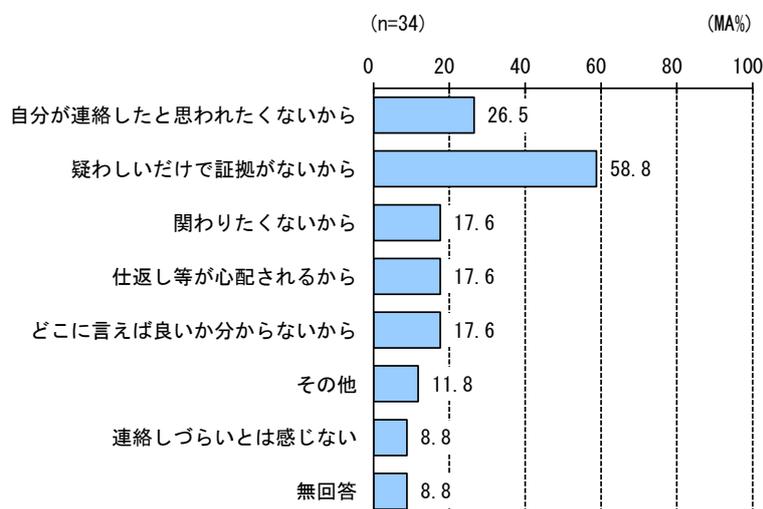
問25-2 そのような場面を発見した時、関係機関に連絡しづらいと感じるのは、どんな時ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 連絡しづらいと感じるときについて、「疑わしいだけで証拠がないから」が 58.8%で最も多く、次いで「自分が連絡したと思われたくないから」が 26.5%、「関わりたくないから」「仕返し等が心配されるから」「どこに言えば良いか分からないから」が 17.6%となっています。

【連絡しづらいと感じるとき(MA)】



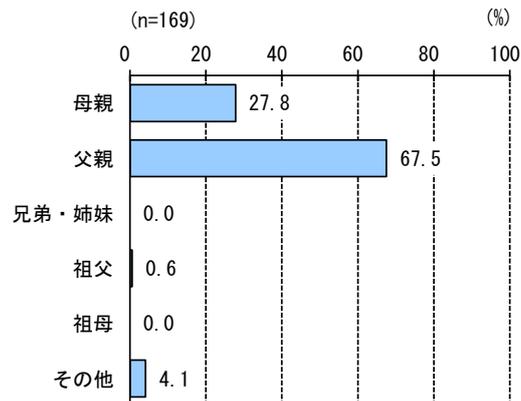
8. 生活状況や家計などについて

問26 主に家計を支えている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 主に家計を支えている方について、「父親」が67.5%で最も多く、次いで「母親」が27.8%、「祖父」が0.6%となっています。

【主に家計を支えている方】

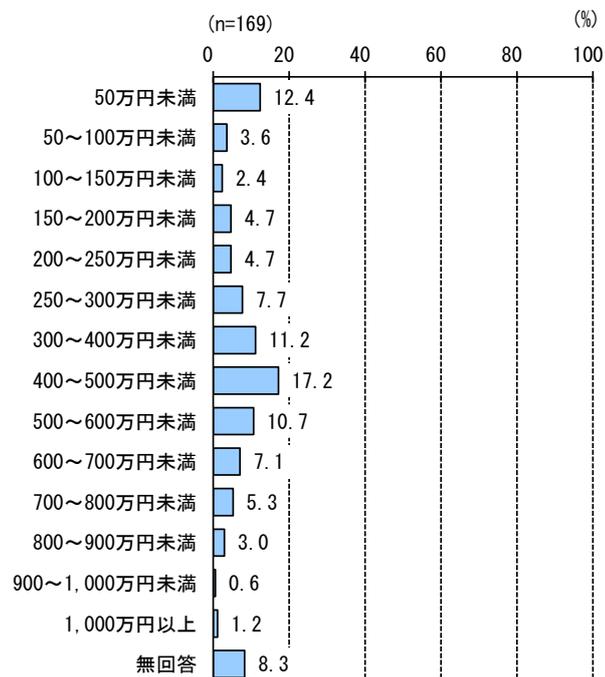


問27 同居しているご家族全員の収入（税金と社会保険料等を差し引いた残りの所得）を合わせた「世帯の収入（自由に使える手取り額）」のおおよその額はいくらですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 世帯収入の合計について、「400～500万円未満」が17.2%で最も多く、次いで「50万円未満」が12.4%、「300～400万円未満」が11.2%となっています。

【世帯収入の合計】

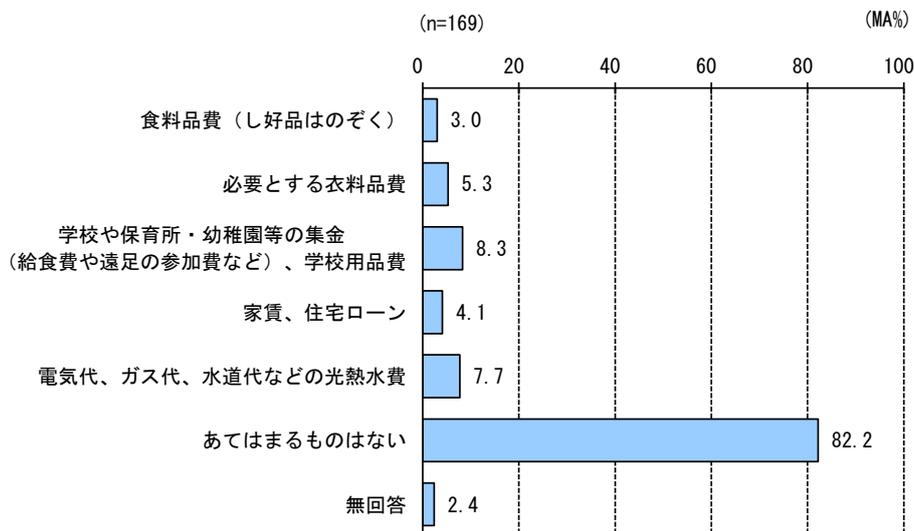


問28 過去1年間で、必要なものが買えなかったことや、支払いが遅れたり、支払いきなかつたものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 過去1年間の支払い状況について、「あてはまるものはない」が82.2%で最も多く、次いで「学校や保育所・幼稚園等の集金(給食費や遠足の参加費など)、学校用品費」が8.3%、「電気代、ガス代、水道代などの光熱水費」が7.7%となっています。

【過去1年間の支払い状況(MA)】



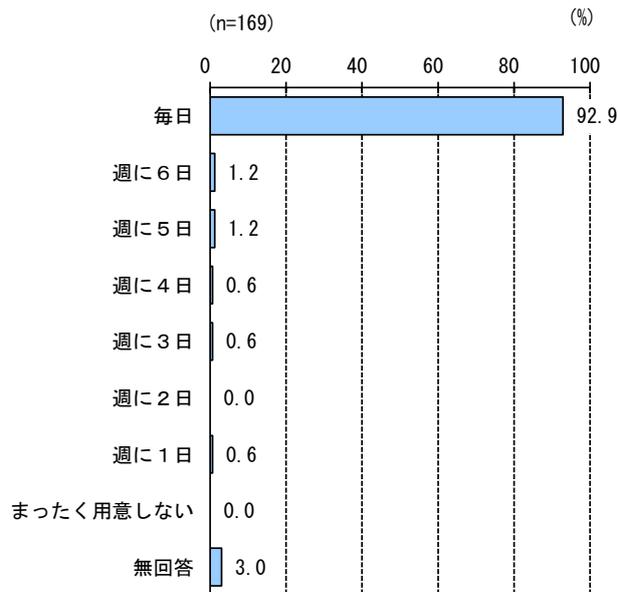
9. 子育て全般について

問29 あなたの家庭では、1週間にどれくらい、お子さんに（1）朝ごはんや（2）晩ごはんを用意しますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

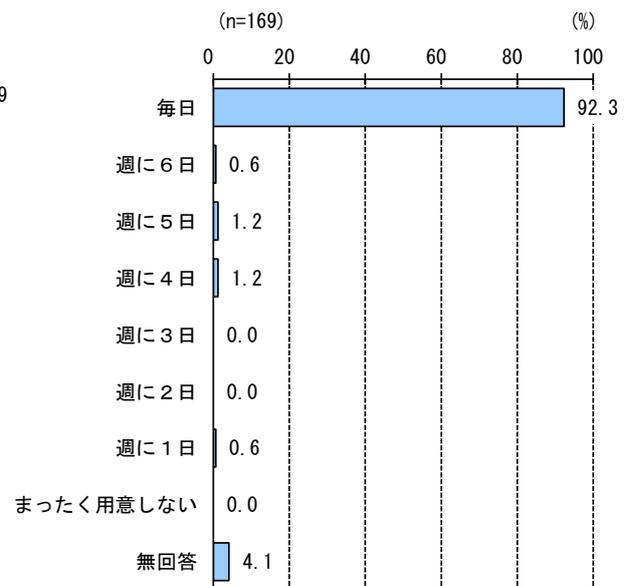
【全体】

- 朝ごはんの用意について、「毎日」が 92.9%で最も多く、次いで「週に6日」「週に5日」が 1.2%、「週に4日」「週に3日」「週に1日」が 0.6%となっています。
- 晩ごはんの用意について、「毎日」が 92.3%で最も多く、次いで「週に5日」「週に4日」が 1.2%、「週に6日」「週に1日」が 0.6%となっています。

【朝ごはんの用意】



【晩ごはんの用意】

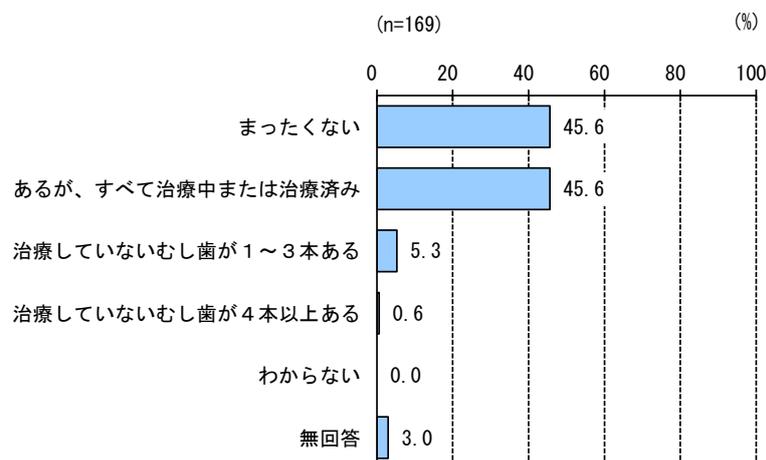


問30 お子さんはむし歯がありますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- むし歯の有無について、「まったくない」「あるが、すべて治療中または治療済み」が 45.6%で最も多く、次いで「治療していないむし歯が1～3本ある」が 5.3%、「治療していないむし歯が4本以上ある」が 0.6%となっています。

【むし歯の有無】

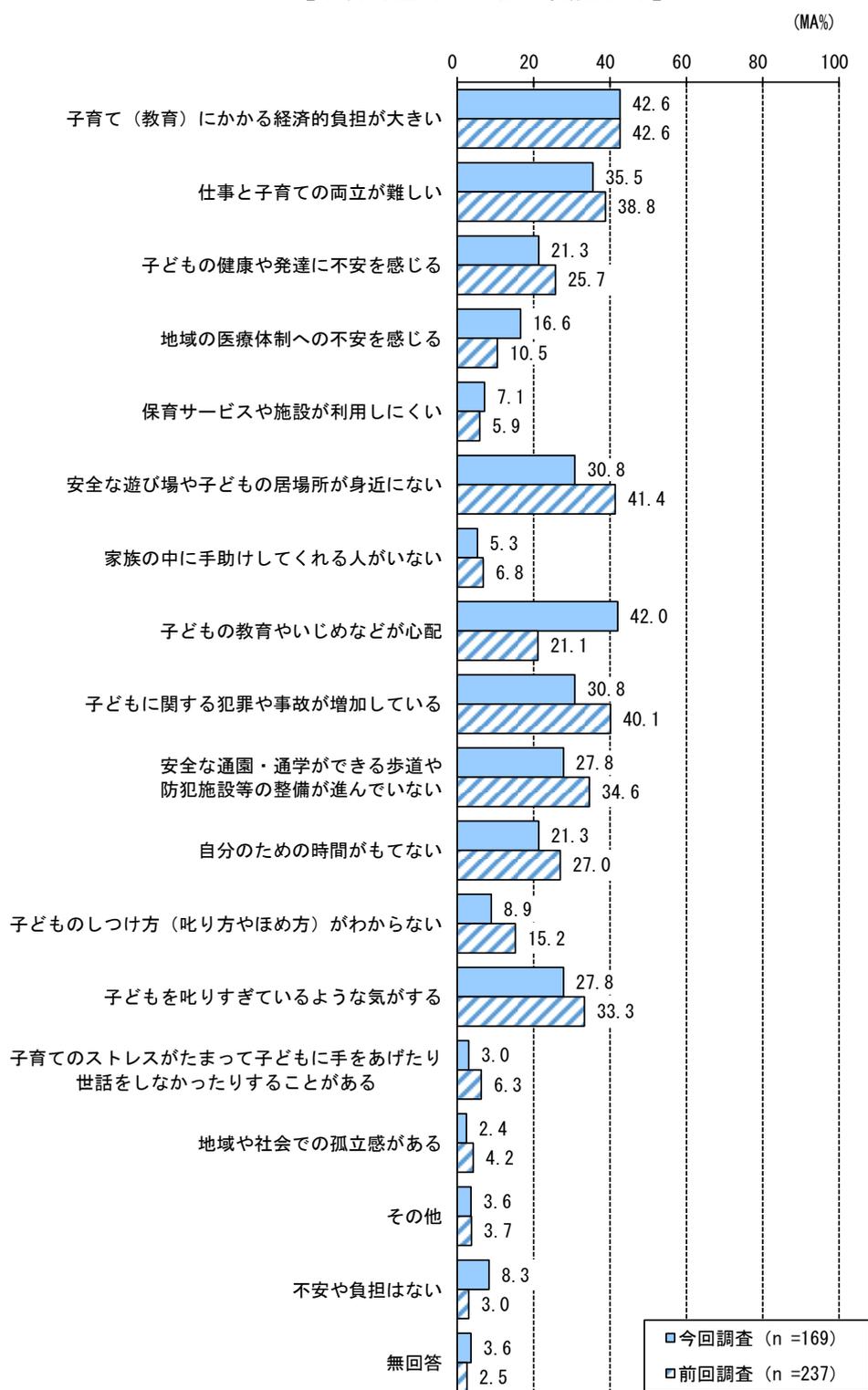


問31 子育てをするうえで、日常どのような不安や負担を感じますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 子育て上での不安や負担について、「子育て（教育）にかかる経済的負担が大きい」が 42.6% で最も多く、次いで「子どもの教育やいじめなどが心配」が 42.0%、「仕事と子育ての両立が難しい」が 35.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、「子どもの教育やいじめなどが心配」が 20.9 ポイント上昇し、「安全な遊び場や子どもの居場所が身近にない」「子どもに関する犯罪や事故が増加している」が 10 ポイント程度低下しています。

【子育て上での不安や負担 (MA)】

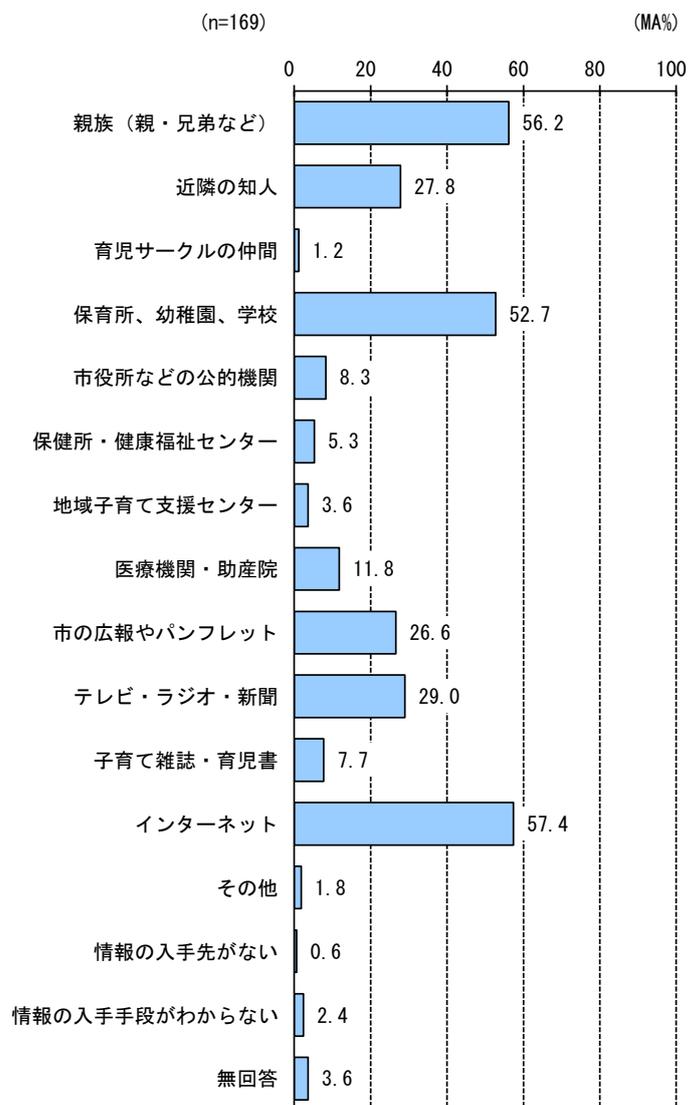


問32 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

○ 子育てに関する情報の入手先について、「インターネット」が 57.4%で最も多く、次いで「親族（親・兄弟など）」が 56.2%、「保育所、幼稚園、学校」が 52.7%となっています。

【子育てに関する情報の入手先(MA)】



問33 子育て広場などの子育てに関する事業やイベント等に参加したことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

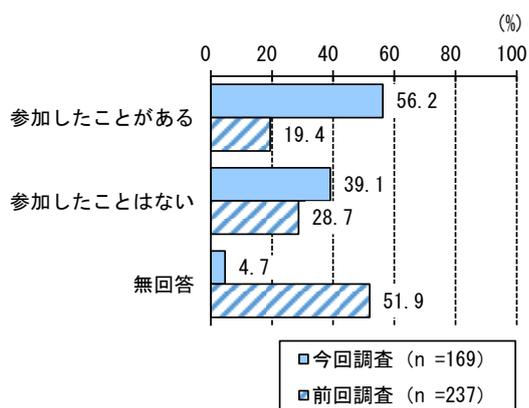
【全体】

- 子育てに関する事業やイベント等への参加有無について、「参加したことがある」が 56.2%、「参加したことはない」が 39.1%となっています。
- 前回調査と比較すると、「参加したことがある」が 36.8 ポイント上昇しています。

【子どもの学年】

- 「参加したことがある」は2年生が 68.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「参加したことはない」は2年生が 27.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

【子育てに関する事業やイベント等への参加有無】



		母数 (n)	子育てに関する事業やイベント等への参加有無		
			あ 参 加 し た こ と が	な 参 加 し た こ と は	無 回 答
全体		169	56.2	39.1	4.7
子どもの 学年	1年生	46	52.2	43.5	4.3
	2年生	48	△ 68.8	▼ 27.1	4.2
	3年生	75	50.7	44.0	5.3

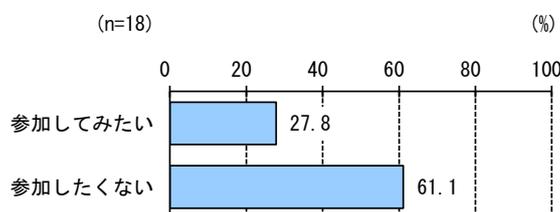
(問34は父親のみ回答。)

問34 よりよく子育てをしていくための父親同士の集まりがあれば参加してみたいですか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 父親同士の集まりへの参加意向について、「参加したくない」が 61.1%で最も多く、次いで「参加してみたい」が 27.8%となっています。

【父親同士の集まりへの参加意向】

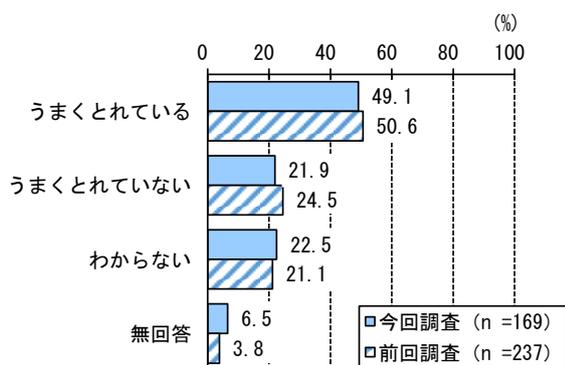


問35 ご家庭では、仕事と仕事以外の生活（家事、子育て、介護、趣味や人づきあいなど）との調和（バランス）がうまくとれていると思いますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

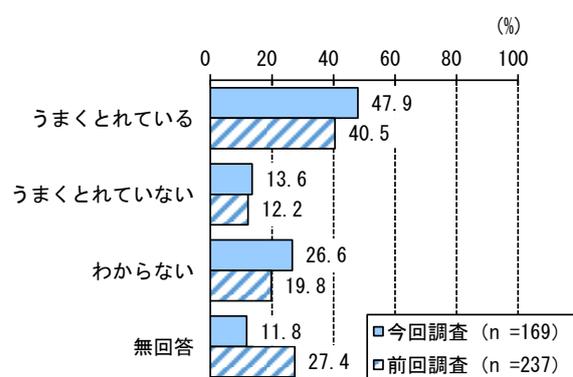
【全体】

- 仕事と生活の調和（母親）について、「うまくとれている」が49.1%で最も多く、次いで「わからない」が22.5%、「うまくとれていない」が21.9%となっています。
- 仕事と生活の調和（父親）について、「うまくとれている」が47.9%で最も多く、次いで「わからない」が26.6%、「うまくとれていない」が13.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、母親では大きな差はなく、父親では「うまくとれている」が7.4ポイント上昇しています。

【仕事と生活の調和（母親）】



【仕事と生活の調和（父親）】

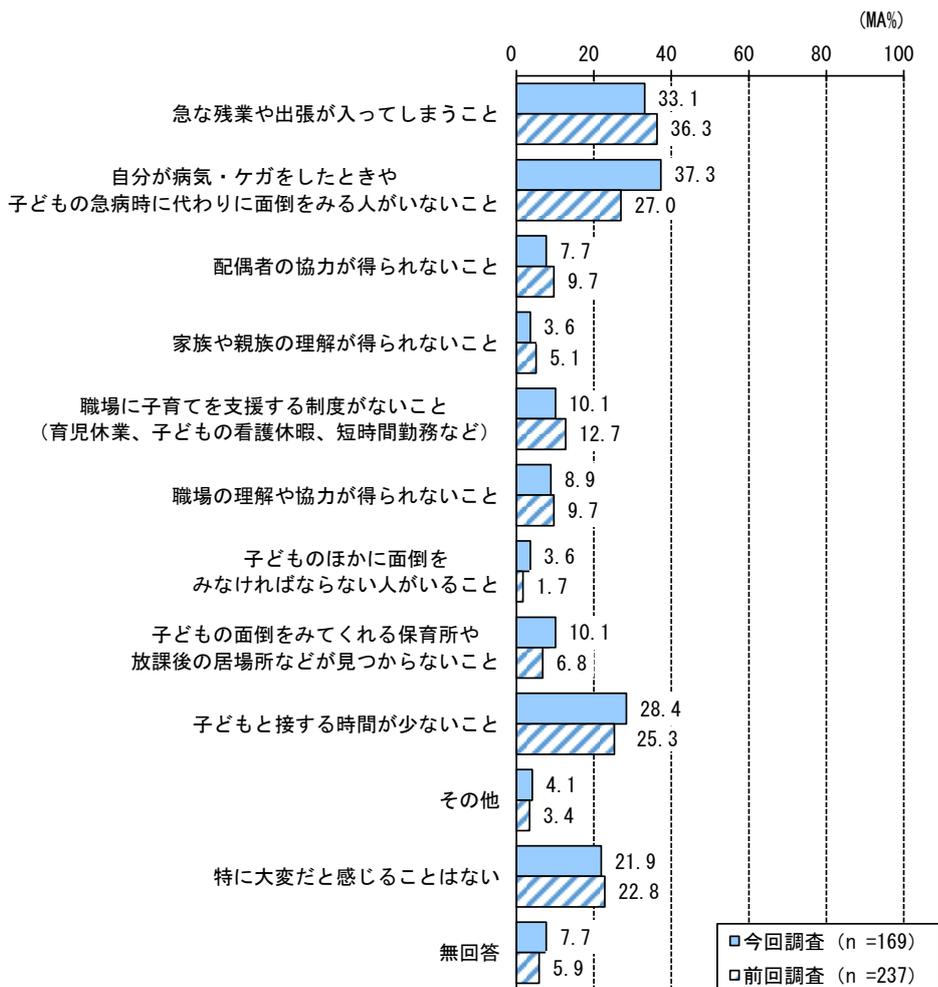


問36 仕事と子育てを両立させる上で、大変だと感じることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 仕事と子育ての両立で大変なことについて、「自分が病気・ケガをしたときや子どもの急病時に代わりに面倒をみる人がいないこと」が37.3%で最も多く、次いで「急な残業や出張が入ってしまうこと」が33.1%、「子どもと接する時間が少ないこと」が28.4%となっています。
- 前回調査と比較すると、「自分が病気・ケガをしたときや子どもの急病時に代わりに面倒をみる人がいないこと」が10.3ポイント上昇しています。

【仕事と子育ての両立で大変なこと(MA)】



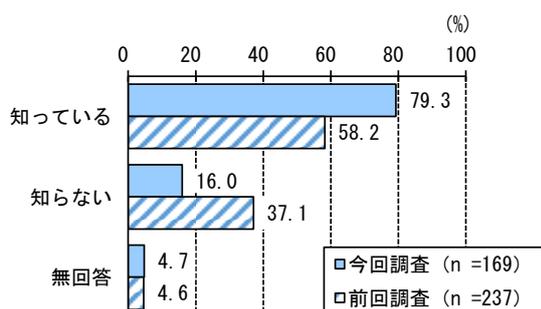
問37 「ファミリー・サポート・センターみるきい」についての認知度、利用状況、利用意向をすべてご記入ください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

A. 事業の認知度、B. 事業の利用経験、C. 事業の利用意向

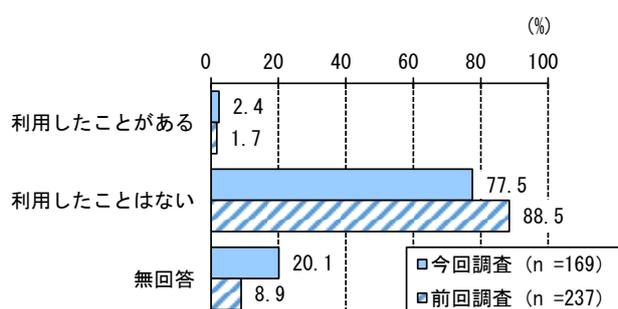
【全体】

- 認知度について、「知っている」が79.3%、「知らない」が16.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「知っている」が21.1ポイント上昇しています。
- 利用状況について、「利用したことがある」が2.4%、「利用したことはない」が77.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、「利用したことはない」が11ポイント低下しています。
- 今後の利用意向について、「今後利用したいと思う」が4.1%、「利用したいとは思わない」が84.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「今後利用したいと思う」が7.3ポイント低下しています。

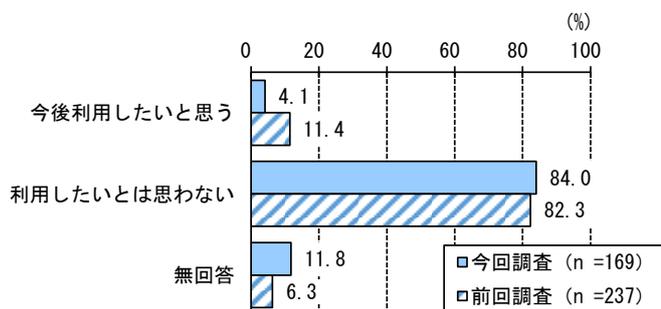
【認知度】



【利用状況】



【今後の利用意向】



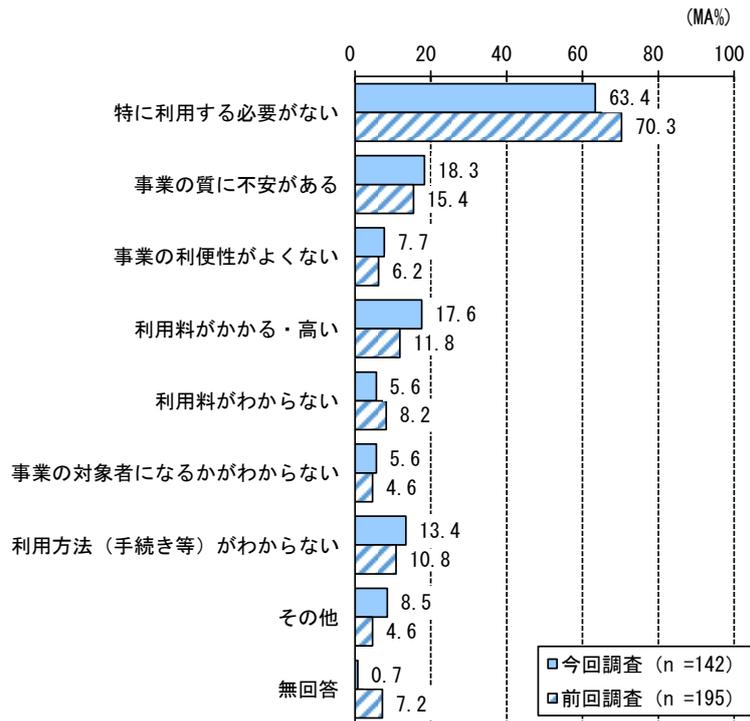
(問37-C (利用意向) で、「いいえ」と答えた方のみ回答。)

問37-1 利用したいと思わない理由をご記入ください。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 利用したくない理由について、「特に利用する必要がない」が 63.4%で最も多く、次いで「事業の質に不安がある」が 18.3%、「利用料がかかる・高い」が 17.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「事業の質に不安がある」「事業の利便性がよくない」「利用料がかかる・高い」「事業の対象者になるかがわからない」「利用方法（手続き等）がわからない」「その他」の項目が上昇しています。

【利用したくない理由(MA)】



問38 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- お住まいの地域の満足度（1点＝低い～5点＝高い）について、「3点」が43.2%で最も多く、次いで「2点」が24.3%、「1点」が9.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、「1点」「2点」が上昇しています。

【お住まいの地域の満足度】

